

子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書

平成 26 年（2014 年）3 月

丸 亀 市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査設計	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4
6. 標本誤差について	5
II. 調査対象者の基本属性	7
1. 居住地域	9
2. 対象児童の年齢	12
3. 調査票の回答者	13
III. 就学前児童調査の結果	15
1. 子どもと家族の状況について	17
2. 保護者の就労状況について	19
3. 幼稚園・保育所などの平日の利用状況	27
4. 土曜・休日の保育所などの利用希望について	36
5. 子どもの病気の際の対応について	38
6. 不定期の教育・保育サービスや一時預かり等の利用について	43
7. 地域の子育て支援事業の利用状況について	49
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	53
9. 職場の両立支援制度について	58
10. 幼児教育・保育施策について	67
11. 子育て全般について	71
IV. 小学生児童調査の結果	79
1. 子どもと家族の状況について	81
2. 子どもの一時預かり等の利用について	83
3. 子どもの放課後の過ごし方について	90
4. 子どものふだんの様子について	100
5. 子育て全般について	108
V. 自由意見のまとめ	119
VI. 資料編（調査票）	127

I . 調査の概要

1. 調査目的

「子ども・子育て支援新制度」の導入にあたって、市町村は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなっている。そこで、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査内容

(1) 就学前児童調査

- ・基本属性
- ・子どもと家族の状況について
- ・保護者の就労状況
- ・幼稚園・保育所などの平日の利用状況
- ・土曜・休日の保育所などの利用希望について
- ・子どもの病気の際の対応について
- ・不定期の教育・保育サービスや一時預かり等の利用について
- ・地域の子育て支援事業の利用状況
- ・小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ・職場の両立支援制度について
- ・幼児教育・保育施策について
- ・子育て全般について
- ・自由意見

(2) 小学生児童調査

- ・基本属性
- ・子どもと家族の状況について
- ・一時預かり等の利用について
- ・放課後の過ごし方について
- ・子どものふだんの様子について
- ・子育て全般について
- ・自由意見

3. 調査設計

- (1) 調査対象 市内に在住する就学前児童（0～5歳）及び小学校1年生から6年生の保護者
- (2) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
但し、同一世帯において子どもが重複する場合は、無作為に対象児童を1人選び該当する調査を実施
- (3) 調査方法 郵送による配布及び郵送による回収
- (4) 調査期間 平成25年10月3日～平成25年10月22日

4. 回収結果

調査対象	標本数（発送数）	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	4,950	3,233	65.3%
小学生の保護者	1,000	667	66.7%

年齢別の有効回答数

調査対象	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
就学前児童の保護者	712人	471人	497人	481人	521人	520人	31人
調査対象	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
小学生の保護者	64人	55人	89人	119人	151人	176人	13人

地区別の有効回答数

調査対象	東 中学校区	西 中学校区	南 中学校区	綾歌 中学校区	飯山 中学校区	離島 地域	無回答
就学前児童の保護者	716人	782人	845人	311人	505人	0人	74人
小学生の保護者	98人	86人	115人	132人	231人	0人	5人

5. 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。

「MA%」（Multiple Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

「3LA%」（3 Limited Answer）

＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

- (3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- (4) 本文及び図中における「前回調査」とは、平成20年度に実施した「次世代育成支援に関するニーズ調査」の結果のことである。

【前回調査の実施概要】

- 調査対象 : 就学前児童の保護者 1,800人、小学生の保護者 1,800人
- 調査方法 : 郵送による配布・回収
- 調査期間 : 平成20年11月1日～11月10日
- 回収結果 : 就学前児童の保護者 993人、有効回収率 55.2%
小学生の保護者 1,044人、有効回収率 58.0%

6. 標本誤差について

本調査は標本調査であるので、標本抽出における誤差等を考慮する必要がある。

通常、世論調査などでは信頼度 95%（同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを求めるのが一般的であり、これに基づく標本測定値の標本誤差の近似式は、次の公式で求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団数

n : 有効回答者数

P : 回答の比率（標本測定値）

【表 信頼度 95%における主要な%の信頼区間】

(単位：%)

	母集団 (N)	有効 回収者数 (n)	回答の比率 (P)				
			90 10	80 20	70 30	60 40	50
就学前全体	6,299	3,233	0.1	0.3	0.4	0.5	0.6
東中学校区	1,561	716	0.7	1.3	1.9	2.4	2.8
西中学校区	1,527	782	0.6	1.1	1.6	2.0	2.3
南中学校区	1,689	845	0.6	1.0	1.5	1.9	2.2
綾歌中学校区	534	311	1.3	2.4	3.4	4.2	4.9
飯山中学校区	977	505	0.9	1.7	2.4	3.0	3.5
小学生全体	6,721	667	1.3	2.4	3.4	4.2	5.0
東中学校区	1,587	98	8.9	16.9	23.9	30.0	35.2
西中学校区	1,631	86	10.3	19.4	27.5	34.6	40.5
南中学校区	1,735	115	7.6	14.3	20.3	25.5	29.9
綾歌中学校区	619	132	5.6	10.5	14.9	18.7	21.9
飯山中学校区	1,130	231	3.2	6.1	8.6	10.8	12.7

資料：母集団の人数は、平成 25 年 4 月 1 日現在の、住民基本台帳人口（外国人を含む）

【標本誤差の見方】

例えば、就学前児童調査のある質問で東中学校区の回答が10%であった場合（網掛け部分）、10%を中心に±0.7%つまり、真の値は9.3%から10.7%の間にあると推定してよいが、その推定が正しい確率は95%程度である。また、上記の表は、回答の比率を10%きざみで表示しているが、回答が78%のように途中である場合は、上記表から最も近い80%における数値を読み取り、この数値から類推し使用すればよい。

上記からみると、就学前児童調査の区域別結果は高い精度が得られているが、小学生調査の区域別結果は、誤差が大きい場合があることに注意する必要がある。

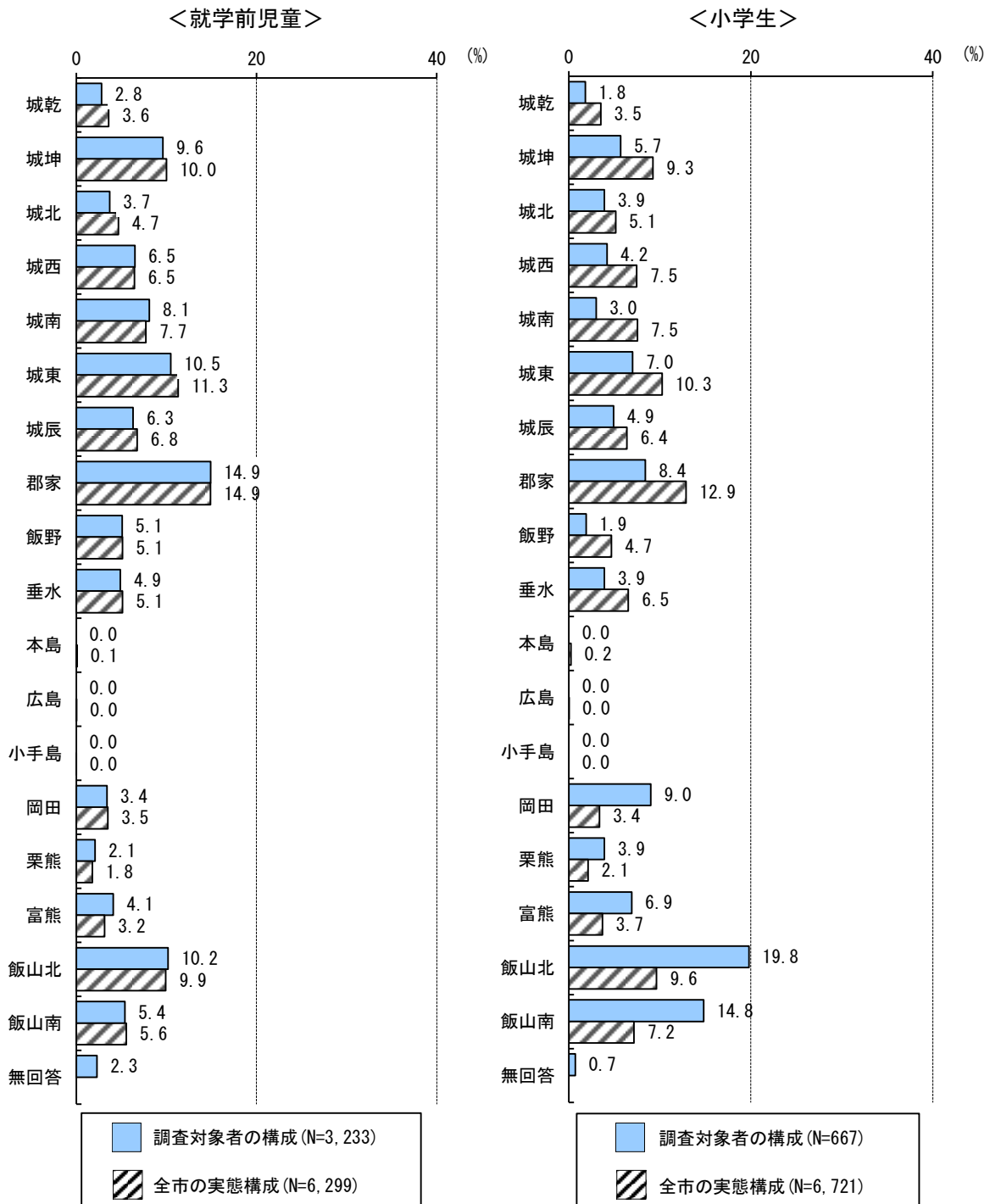
Ⅱ. 調査対象者の基本属性

1. 居住地域

回答者の小学校区は、就学前児童では「郡家」が 14.9%で最も多く、次いで「城東」「飯山北」「城坤」が1割前後が続いている。小学生児童では、「飯山北」が 19.8%で最も多く、次いで「飯山南」14.8%となっている。就学前児童、小学生児童ともに離島地域の回答はない。

本市の実際の人口構成と比べると、就学前児童では概ね同様の構成であるが、小学生では「飯山北」「飯山南」の構成比が高くなっている。

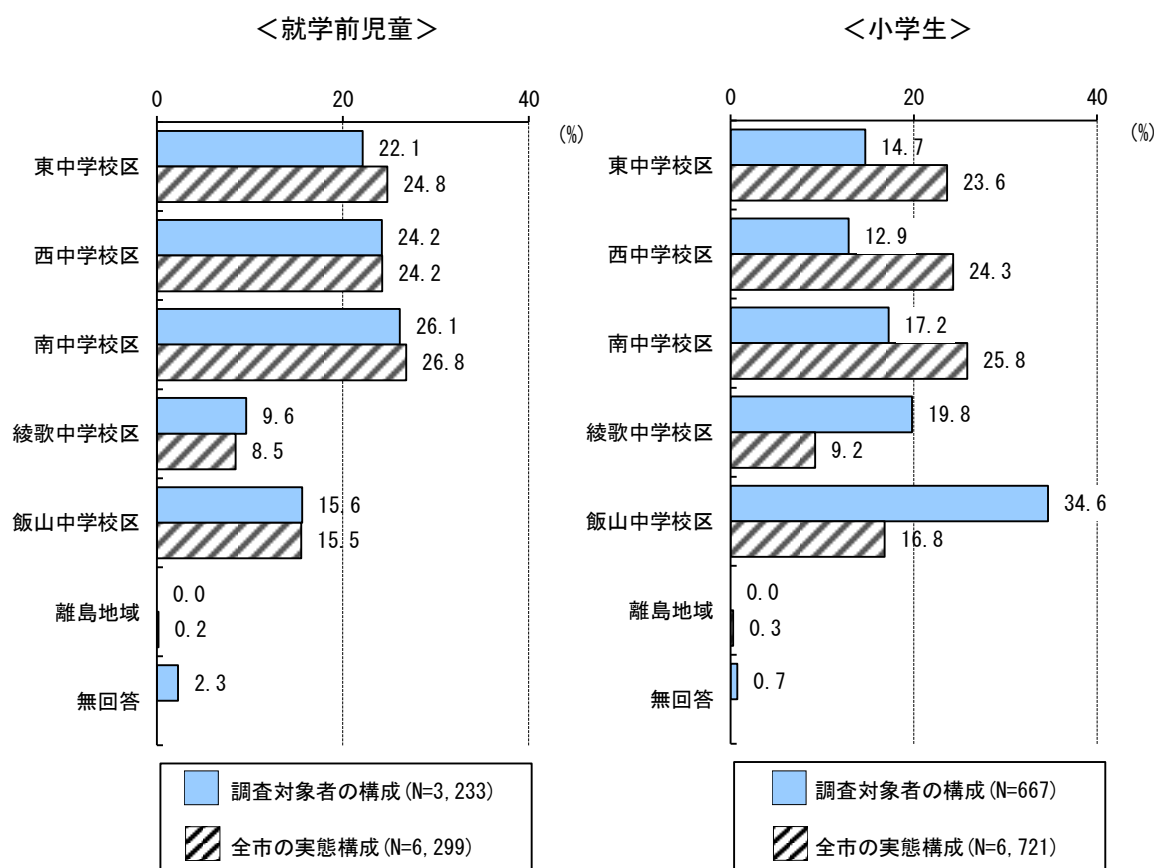
【図 居住地域（小学校区）】



区域別にみると、就学前児童では、「南中学校区」が 26.1%で最も多く、次いで「西中学校区」24.2%、「東中学校区」22.1%となっている。これは、本市の実際の人口構成とほぼ同様の構成といえる。

小学生では、「飯山中学校区」が 34.6%を占め、次いで「綾歌中学校区」19.8%、「南中学校区」17.2%となっている。実際の人口構成と比べると、「飯山中学校区」と「綾歌中学校区」の構成比が高く、「西中学校区」「東中学校区」「南中学校区」で低くなっている。

【図 区域別（中学校区） 居住地域】

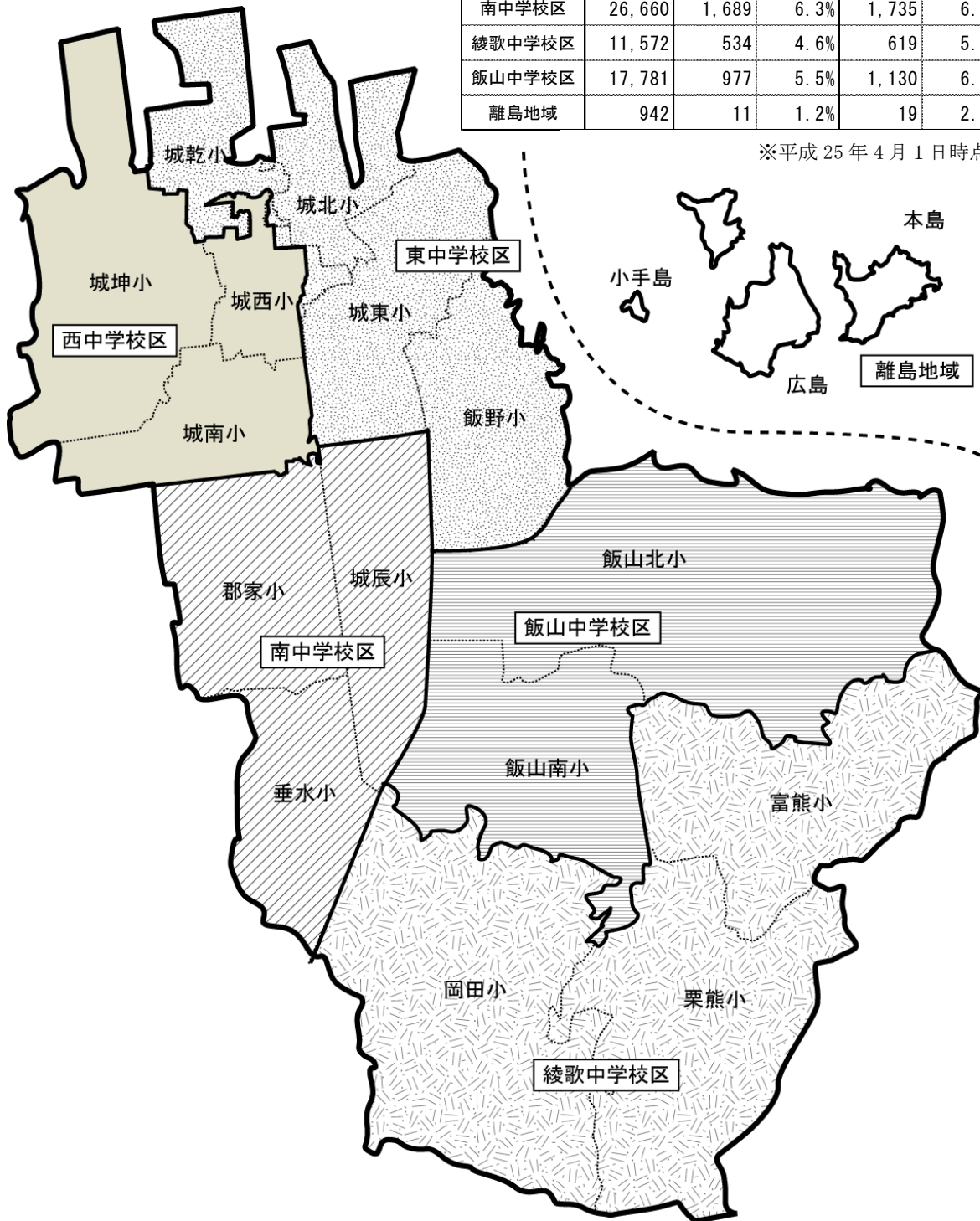


《参考》区域（中学校区）・小学校区の概略図

【人口等の実態】

	総人口	0～5歳		6～11歳	
		人口	構成比	人口	構成比
全 市	113,618	6,299	5.5%	6,721	5.9%
東中学校区	28,864	1,561	5.4%	1,587	5.5%
西中学校区	27,799	1,527	5.5%	1,631	5.9%
南中学校区	26,660	1,689	6.3%	1,735	6.5%
綾歌中学校区	11,572	534	4.6%	619	5.3%
飯山中学校区	17,781	977	5.5%	1,130	6.4%
離島地域	942	11	1.2%	19	2.0%

※平成 25 年 4 月 1 日時点



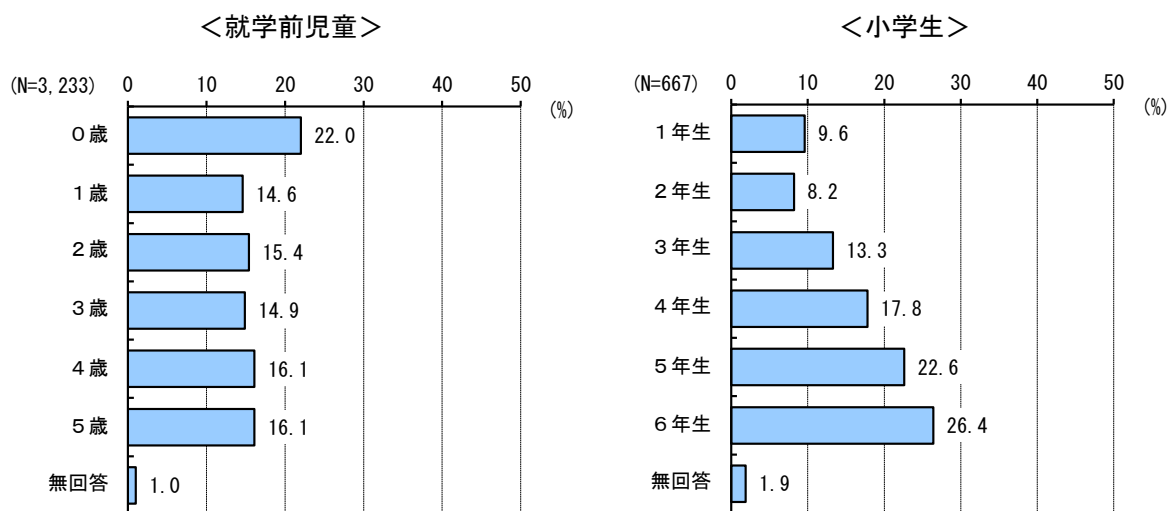
2. 対象児童の年齢

対象児童の年齢は、就学前児童では0歳が22.0%で最も多く、その他の年齢は、15%前後となっている。

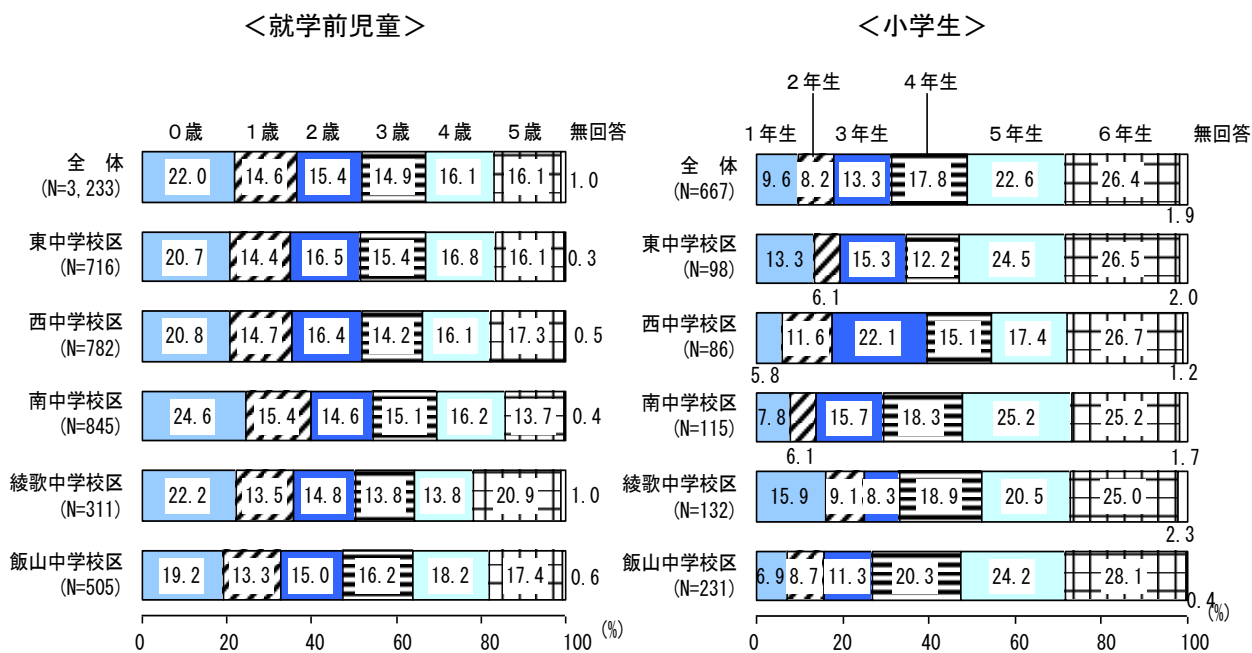
小学生では、「6年生」が26.4%、「5年生」が22.6%となっており、あわせると約半数を占めている。

区域別にみると下図のとおりであり、区域によって若干年齢構成に偏りがある。

【図 調査対象児童の年齢・学年】



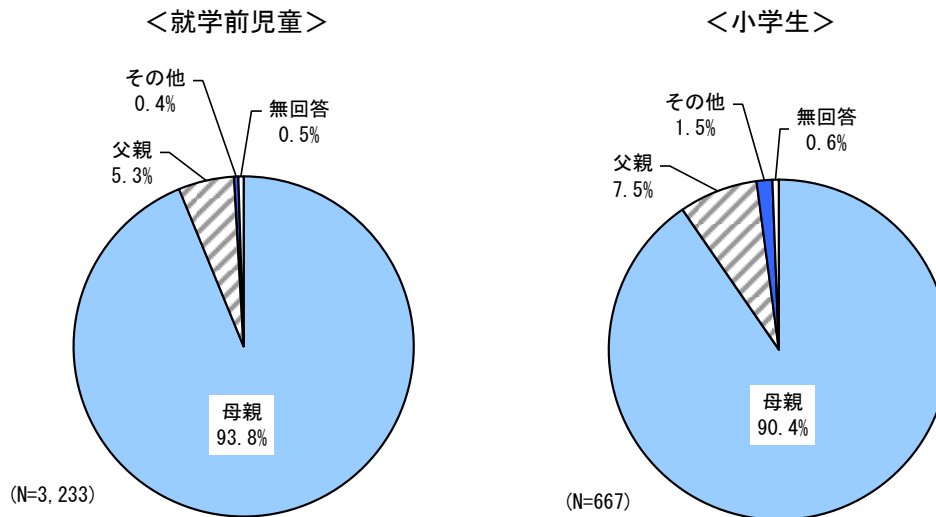
【図 区域別 対象児童の年齢・学年】



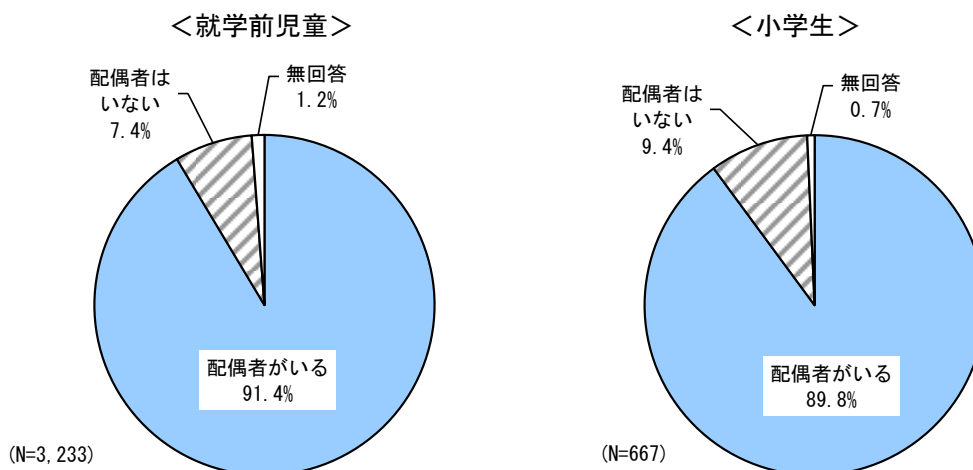
3. 調査票の回答者

調査票の回答者は、「母親」が、就学前児童で93.8%、小学生で90.4%と多数を占めている。回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が、就学前児童で91.4%、小学生89.8%と多数を占めている。

【図 調査票の回答者】



【図 回答者の配偶関係】



Ⅲ. 就学前児童調査の結果

1. 子どもと家族の状況について

(1) 子育ての主体者

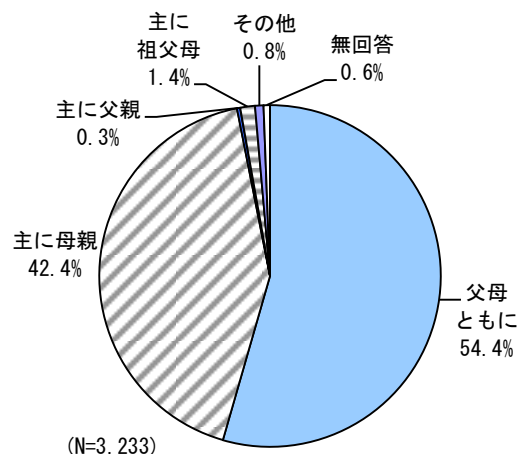
問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

【図 子育ての主体者】

児童の子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が54.4%で最も多く、次いで「主に母親」の42.4%となっている。

年齢別にみると、どの年齢でも「父母ともに」が最も多いことに違いはないが、0歳では「主に母親」の割合が49.0%と比較的高くなっている。

父母の就労タイプ別にみると、母親が就労している場合は「父母ともに」は6割を超えるが、専業主婦(夫)の場合は「父母ともに」(50.8%)が「主に母親」(48.1%)と同程度となっている。



【表 年齢別・父母の就労タイプ別 子育ての主体者】

(単位：Nは人、他は%)

		全体 (N)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全 体		3,233	54.4	42.4	0.3	1.4	0.8	0.6
年 齢	0歳	712	49.3	49.0	0.3	0.6	0.8	0.0
	1歳	471	54.1	43.1	0.4	2.1	0.2	0.0
	2歳	497	55.7	41.4	0.2	2.0	0.6	0.0
	3歳	481	60.7	37.2	0.8	0.6	0.6	0.0
	4歳	521	55.3	42.0	0.0	1.3	1.2	0.2
	5歳	520	55.0	40.8	0.4	2.1	1.5	0.2
就 労 父 母 の タイ プ	ひとり親	200	8.5	83.5	2.0	4.0	2.0	0.0
	フルタイム×フルタイム	927	67.2	29.3	0.2	2.2	1.1	0.0
	フルタイム×パートタイム	755	60.8	38.3	0.0	0.4	0.4	0.1
	専業主婦(夫)	1,115	50.8	48.1	0.2	0.4	0.4	0.1
	その他	20	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

※「父母の就労タイプ」についてはP20参照。

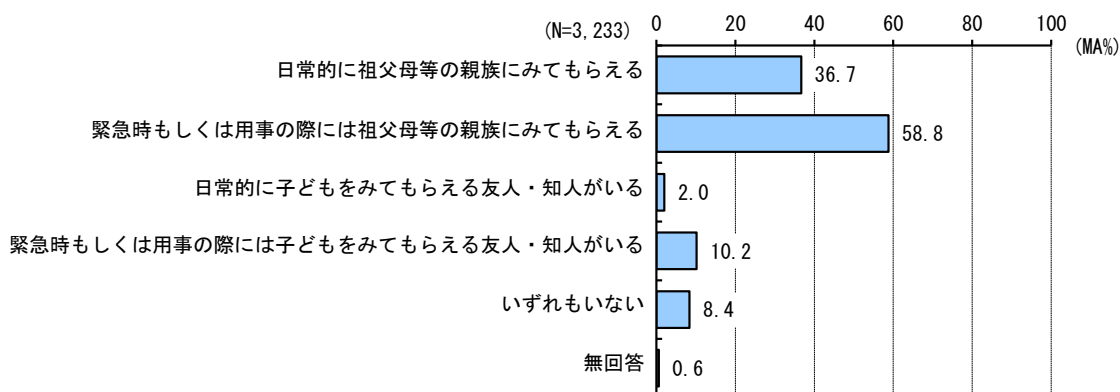
(2) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人

問6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

日頃子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.8%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」36.7%となっている。一方、「いずれもない」は8.4%と少数である。

区域別にみると、どの区域でも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多いが、綾歌中学校区で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっている。

【図 日頃子どもをみてもらえる親族・知人 (MA)】



【表 年齢別・父母の就労タイプ別 日頃子どもをみてもらえる親族・知人 (MA)】

(単位: Nは人、他は%)

	全 体 (N)	日頃子どもをみてもらえる親族・知人 (MA)					い ず れ も い な い	無 回 答
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない		
全 体	3,233	36.7	58.8	2.0	10.2	8.4	0.6	
区 域	東中学校区	716	36.2	56.1	2.0	10.8	9.6	0.0
	西中学校区	782	32.1	60.7	2.4	12.9	9.3	0.1
	南中学校区	845	37.0	59.1	2.2	9.2	9.0	0.0
	綾歌中学校区	311	45.3	57.9	1.9	9.6	4.5	0.3
	飯山中学校区	505	40.6	59.8	1.6	8.5	5.7	0.0
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	939	44.9	54.2	0.6	4.4	6.0	0.7
	フルタイム×フルタイム	784	30.7	64.4	2.7	12.8	7.4	0.6
	フルタイム×パートタイム	1,166	30.3	61.7	2.7	13.2	11.1	0.4
	専業主婦(夫)	28	32.1	57.1	7.1	17.9	7.1	3.6
	その他	246	52.0	44.3	1.6	9.8	9.3	0.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

2. 保護者の就労状況について

(1) 父母の就労状況

問7 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、おうかがいします。

母親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

問8 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、おうかがいします。

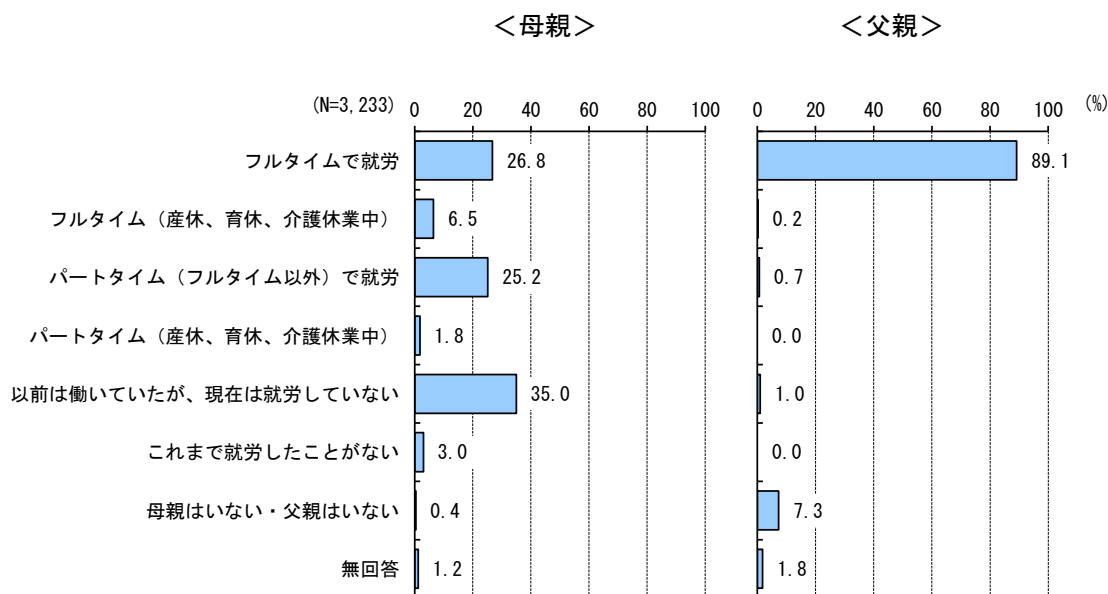
父親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

母親の就労状況については、「以前は働いていたが、現在は就労していない」が35.0%と最も多く、次いで「フルタイムで就労」26.8%、「パートタイム（フルタイム以外）で就労」25.2%となっており、何らかの形で就労している母親は約半数を占めている。

一方、父親の就労状況については、「フルタイムで就労」が89.1%と多数を占めている。

年齢別にみると、母親では、2歳以下は「以前は働いていたが、現在は就労していない」が最も多く、0歳は51.4%である。一方、3歳と5歳は「フルタイムで就労」が3割台で最も多いが、「パートタイム（フルタイム以外）で就労」も同程度となっている。

【図 父母の就労状況】



※「フルタイム」とは、就労時間が1週5日程度・1日8時間程度の方

※「パートタイム」の表記にはアルバイト等を含むフルタイム以外で就労している方で、就労時間がフルタイムより短い方

【表 年齢別 母親の就労状況】

(単位: Nは人、他は%)

	全体 (N)	フル タイム	業 中 休、 育 休、 介 護 休	フル タイム (産 休 外)	パ ー ト タ イ ム (フ 以外)	業 中 休、 育 休、 介 護 休	パ ー ト タ イ ム (産 休 外)	が、 以前 は働 いて いた が、 現在 は就 労し てい ない	以前 は働 いて いた が、 現在 は就 労し てい ない	こ れ ま で 就 労 し た こ と が な い	母 親 は い な い	無 回 答
全 体	3,233	26.8	6.5	25.2	1.8	35.0	3.0	0.4	1.2			
年 齢	0歳	712	11.4	19.4	10.5	4.2	51.4	1.8	0.3	1.0		
	1歳	471	31.8	6.6	20.0	1.7	36.5	2.8	0.2	0.4		
	2歳	497	28.8	3.4	24.1	1.2	36.0	3.6	0.6	2.2		
	3歳	481	31.0	2.3	30.6	2.1	27.4	4.6	0.4	1.7		
	4歳	521	28.8	1.5	36.5	0.4	29.6	2.3	0.0	1.0		
	5歳	520	35.8	1.2	34.4	0.4	22.7	3.7	1.2	0.8		

【表 年齢別 父親の就労状況】

(単位: Nは人、他は%)

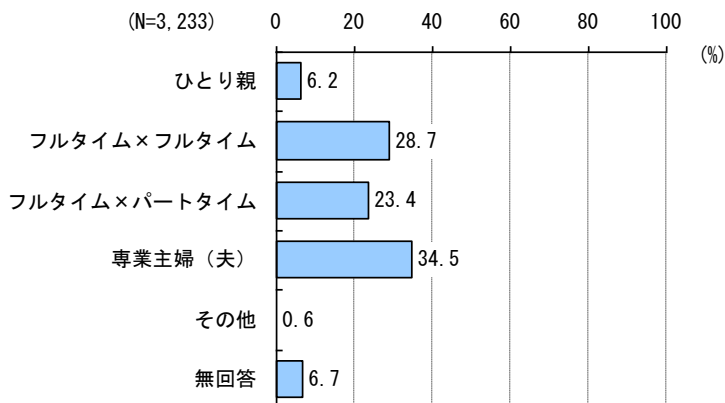
	全体 (N)	フル タイム	業 中 休、 育 休、 介 護 休	フル タイム (産 休 外)	パ ー ト タ イ ム (フ 以外)	業 中 休、 育 休、 介 護 休	パ ー ト タ イ ム (産 休 外)	が、 以前 は働 いて いた が、 現在 は就 労し てい ない	以前 は働 いて いた が、 現在 は就 労し てい ない	こ れ ま で 就 労 し た こ と が な い	父 親 は い な い	無 回 答
全 体	3,233	89.1	0.2	0.7	0.0	1.0	0.0	7.3	1.8			
年 齢	0歳	712	91.6	0.4	1.1	0.0	1.3	0.0	4.6	1.0		
	1歳	471	90.9	0.2	0.0	0.0	2.1	0.0	5.9	0.8		
	2歳	497	90.7	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0	5.4	2.4		
	3歳	481	89.2	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0	7.5	2.5		
	4歳	521	86.8	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	10.0	2.5		
	5歳	520	84.8	0.2	1.3	0.0	0.8	0.0	11.2	1.7		

※一番多い項目に網掛けをしている。

＜参考＞

父母の就労状況及び回答者の配偶関係（P13 参照）から、「父母の就労タイプ」を設定し、父母の就労状況が影響を及ぼすと考えられる質問の分析軸とした。

【図 父母の就労タイプ】



(2) 父母の就労時間

問7で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方におうかがいします。

問7-1 家を出る時間と帰宅時間を()内に数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(時間は必ず24時間制でご記入ください。(例)午前7時 ⇒ 7時、午後6時 ⇒ 18時)

問8で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方におうかがいします。

問8-1 家を出る時間と帰宅時間を()内に数字でご記入ください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(時間は必ず24時間制でご記入ください。)

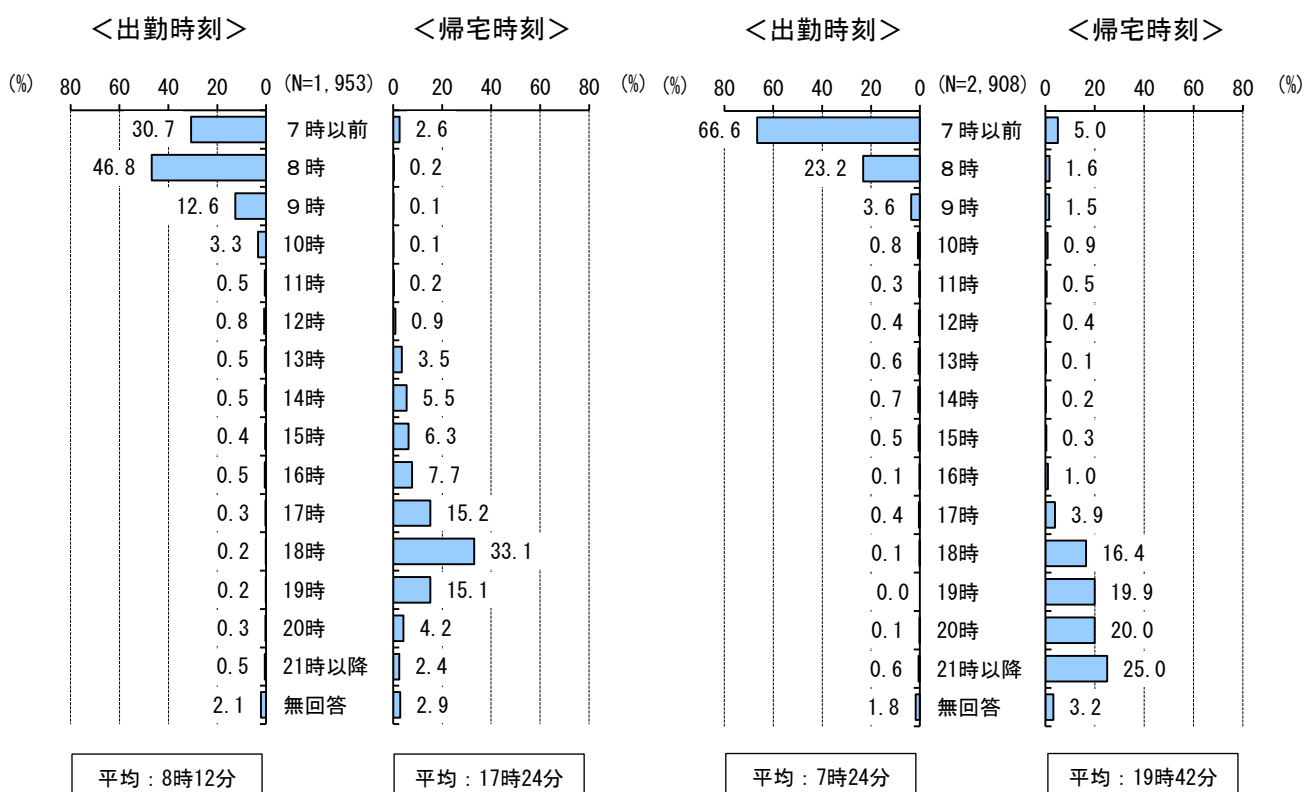
就労している母親の出勤時刻(家を出る時刻)は、「8時」が46.8%と最も多く、次いで「7時以前」30.7%、「9時」12.6%の順となり、平均時刻は8時12分である。帰宅時刻は「18時」が33.1%で最も多く、次いで「17時」15.2%、「19時」15.1%の順となっており、平均時刻は17時24分となっている。

就労している父親の出勤時刻は、「7時以前」が66.6%と最も多く、次いで「8時」23.2%が続き、平均時刻は7時24分となっている。帰宅時間は、「21時以降」が25.0%で最も多く、次いで「20時」20.0%、「19時」19.9%、「18時」16.4%の順であり、平均時刻は19時42分となっている。

父親の方が母親より平均50分早く出勤し、平均1時間18分遅く帰宅していることになる。

【図 母親の就労時間】

【図 父親の就労時間】

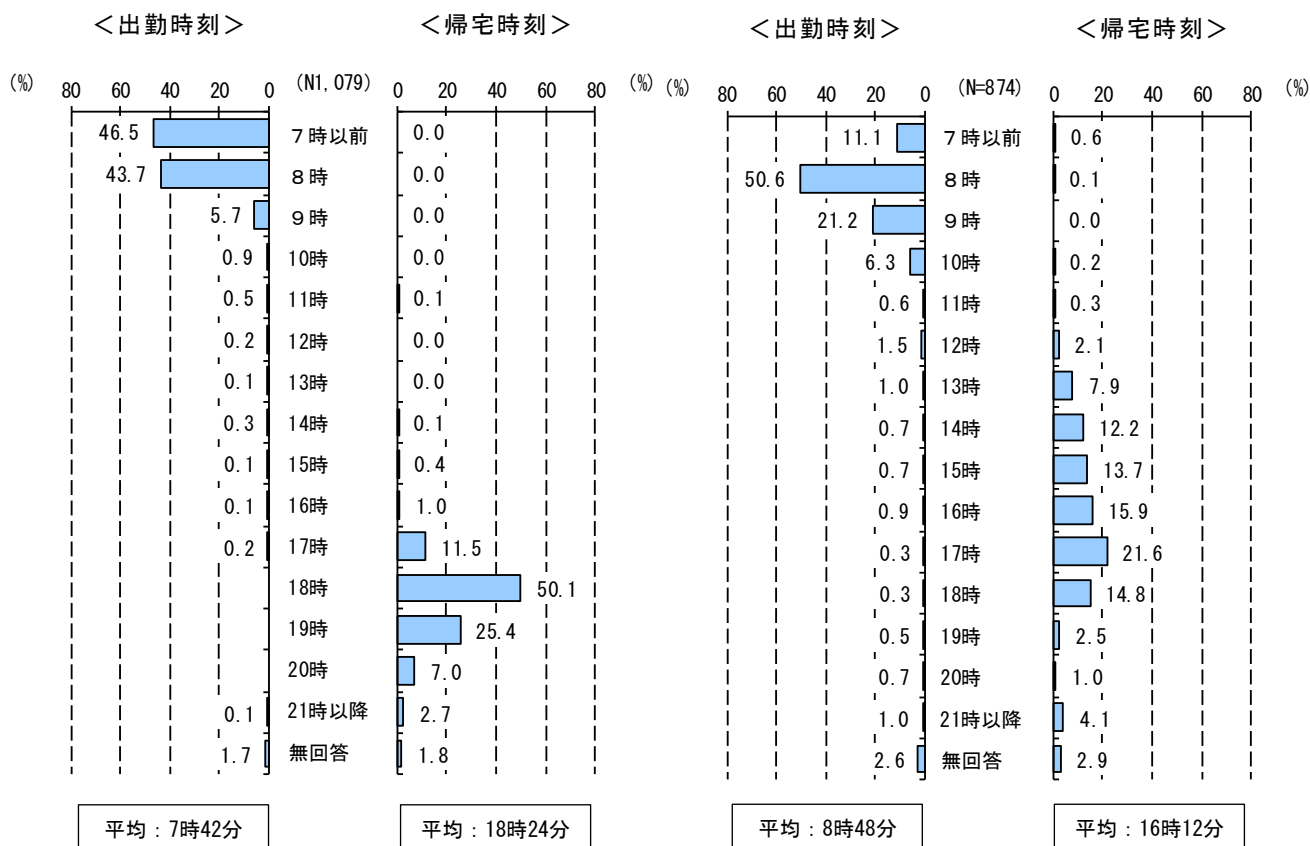


母親の就労形態別にみると、“フルタイム”では、出勤時刻は「7時以前」と「8時」、帰宅時刻は「18時」が多くなっている。“パートタイム”では、家を出る時刻は「8時」に比較的集中しているが、帰宅時刻は「14時」から「18時」に分散している。

【図 母親の就労形態別 就労時間】

【フルタイム（休業中を含む）】

【パートタイム（休業中を含む）】



※父親は「フルタイム」に集中しているため、就労形態別を割愛する

(3) フルタイムへの転換希望

問7で「3.～4.」(パートタイムで就労)に○をつけた方におうかがいします。

問7-2 フルタイムで働きたいと思えますか。(○は1つ)

問8で「3.～4.」(パートタイムで就労)に○をつけた方におうかがいします。

問8-2 フルタイムで働きたいと思えますか。(○は1つ)

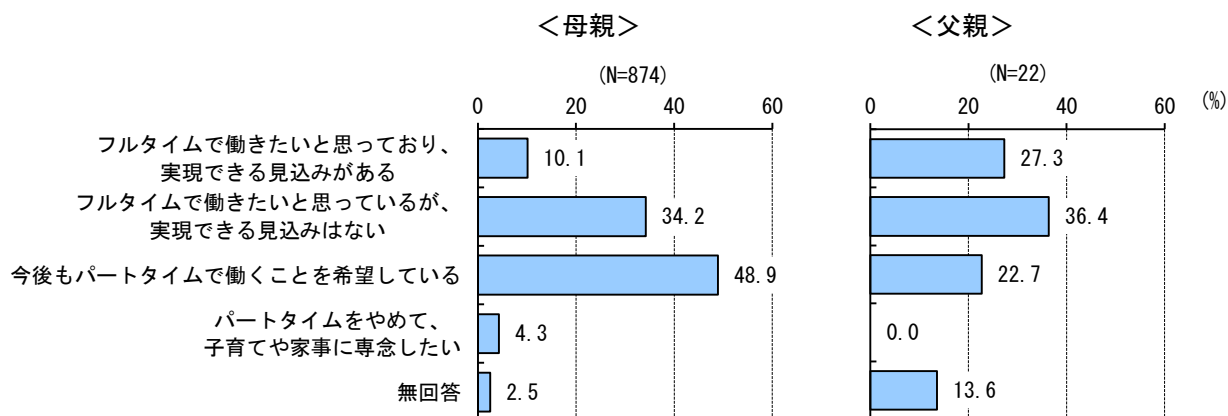
パートタイムで就労している父母のフルタイムへの転換希望については、母親では「今後もパートタイムで働くことを希望している」が48.9%とほぼ半数を占め、次いで「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」34.2%、「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」10.1%となっている。

父親では、「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」が36.4%で最も多く、次いで「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」27.3%となっている。

フルタイムへの転換希望があるのは、母親で44.3%、父親で63.7%あるが、このうち実現できる見込みがあるのは母親で約2割(転換希望がある人を100%とする比率)、父親で約4割(同)に過ぎない。

年齢別にみると、母親では、すべての年齢で「今後もパートタイムで働くことを希望している」が最も多く、特に2歳と3歳では5割を超えている。

【図 フルタイムへの転換希望】



【表 年齢別 母親のフルタイムへの転換希望】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	るおきフル 見りたイル 込み実とタイム があ現思つで るきて働	いきいきフル 見るるたいタイム 込み実思つで は現つで働	をイ今 希ム後 しで働 てくパー いとトタ	たややパー い家めト 事に、タイ に専子 念育 してを	無 回 答
全 体		874	10.1	34.2	48.9	4.3	2.5
年 齢	0歳	105	8.6	32.4	46.7	7.6	4.8
	1歳	102	10.8	35.3	49.0	3.9	1.0
	2歳	126	8.7	35.7	51.6	3.2	0.8
	3歳	157	5.7	35.7	53.5	3.2	1.9
	4歳	192	12.0	33.9	47.4	4.2	2.6
	5歳	181	13.3	32.6	45.3	5.0	3.9

【表 年齢別 父親のフルタイムへの転換希望】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	込みたフル み、いイル があ実とタイム るで現思つで るお働	込みたフル み、いイル は実とタイム な現思つで きで働	望ム今 しで働 てくパー いとトタ を希イ	事めパー にて、ト に専子 念育 したいや を家や	無 回 答
全 体		22	27.3	36.4	22.7	0.0	13.6
年 齢	0歳	8	12.5	50.0	25.0	0.0	12.5
	1歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	3歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	5歳	7	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3

※一番多い項目に網掛けをしている。

※Nが10人以下の場合、誤差が大きいため網掛けを省略している。(以下同様)

(4) 非就労者の就労希望

問7で「5.～6.」(非就労)に○をつけた方におうかがいします。

問7-3 今後、働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、()内に数字でご記入ください。

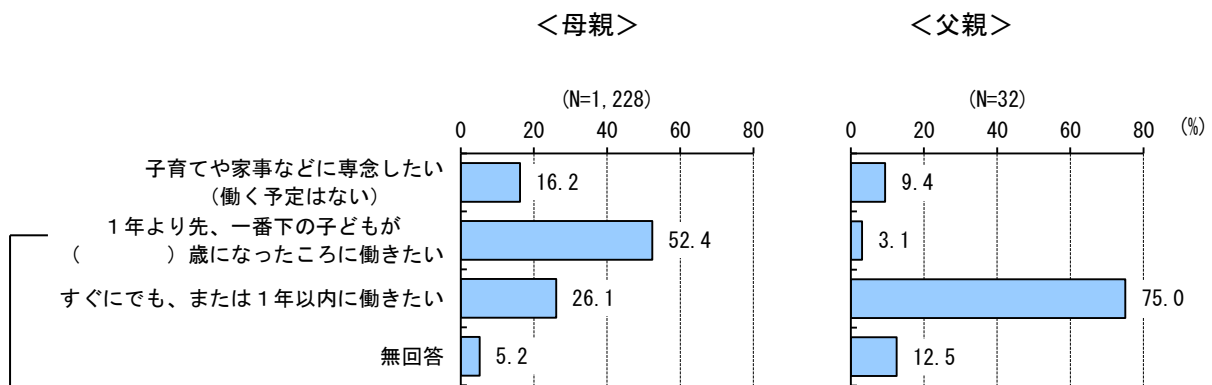
問8で「5.～6.」(非就労)に○をつけた方におうかがいします。

問8-3 今後、働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、()内に数字でご記入ください。

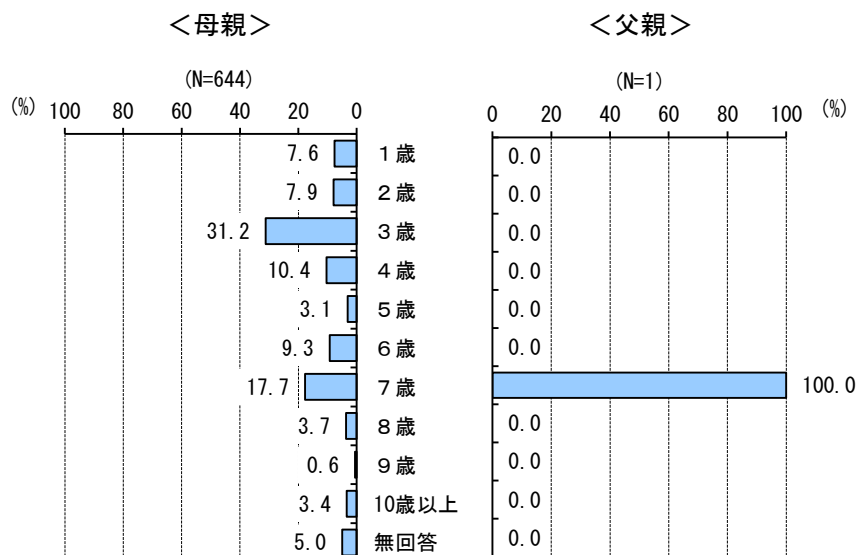
就労していない父母の就労希望については、母親では「1年より先、一番下の子どもが()歳になったときに働きたい」が52.4%と半数を超えており、具体的な子どもの年齢については「3歳」31.2%、「7歳」17.7%が多い。

父親では、「すぐにでも、または1年以内に働きたい」が75.0%で最も多くなっている。

【図 非就労者の就労希望】



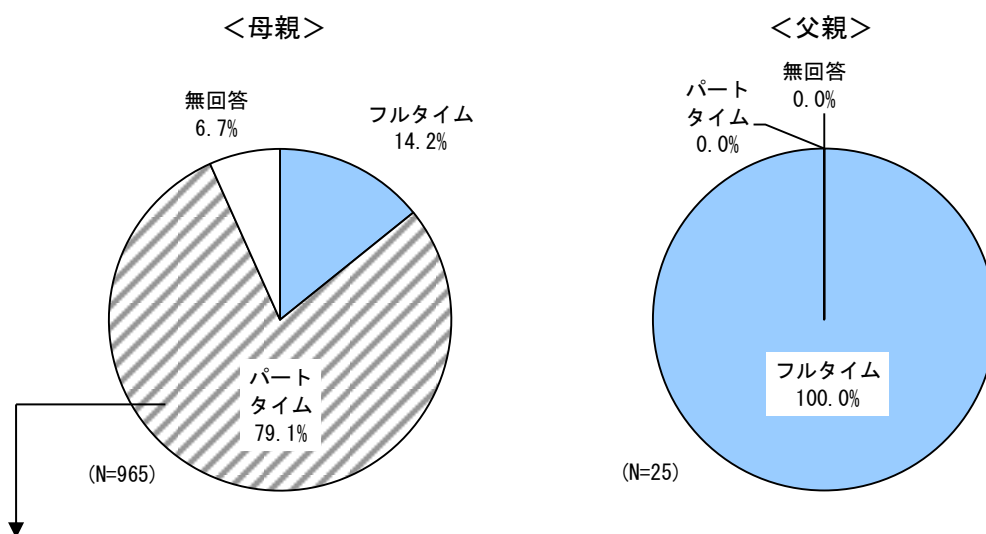
【図 働きたいと思う時の子どもの年齢】



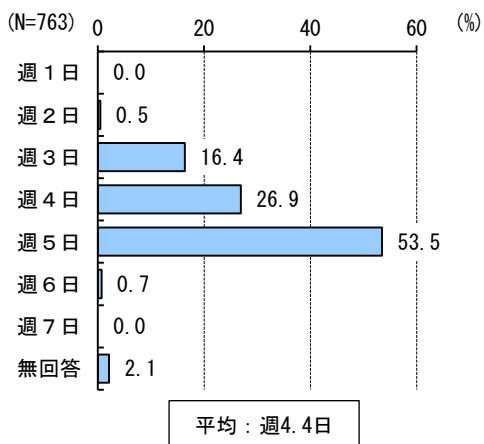
就労を希望している場合の形態については、母親では「パートタイム」が79.1%で、父親では「フルタイム」が100.0%で、それぞれ最も多くなっている。

パートタイムを希望する母親の場合、1週当たりの日数では「週5日」が53.5%と半数を超え、次いで「週4日」26.9%、「週3日」16.4%となっている。就労時間では、「5時間」が40.0%で最も多く、次いで「4時間」27.4%、「6時間」22.1%となっている。1か月当たりの就労時間を算出すると、「月64時間以上120時間未満」が57.6%を占めており、平均時間は88時間54分となっている。

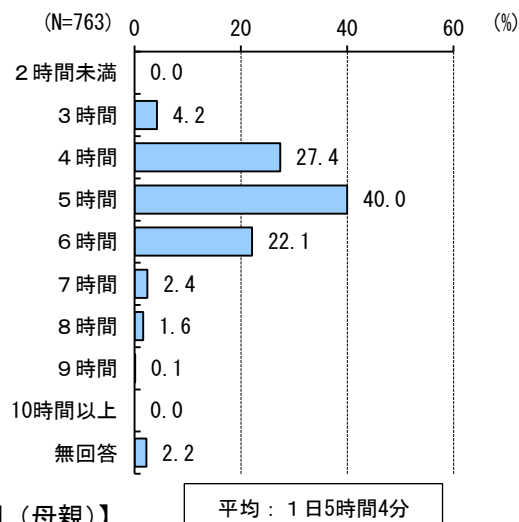
【図 希望する働き方】



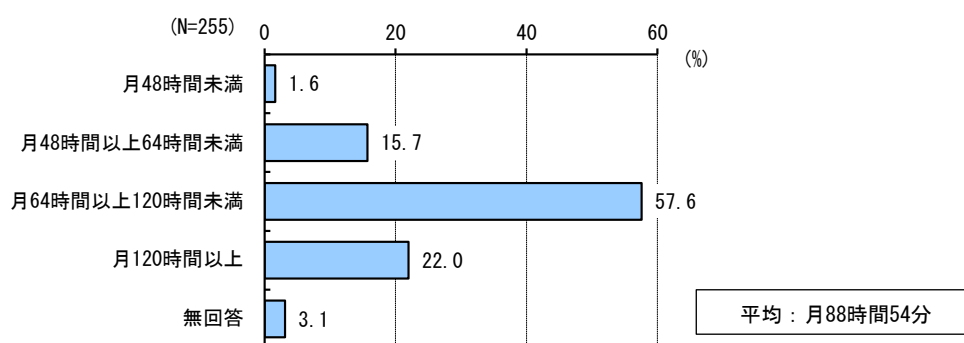
【図 パートタイムで希望する就労日数 (母親)】



【図 パートタイムで希望する就労時間 (母親)】



【図 パートタイムで希望する1か月の就労時間 (母親)】



3. 幼稚園・保育所などの平日の利用状況

(1) 定期的な教育・保育サービスの利用状況

問9 あて名のお子さんは、普段、幼稚園や保育所（園）などの教育・保育サービスを利用されていますか。当てはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

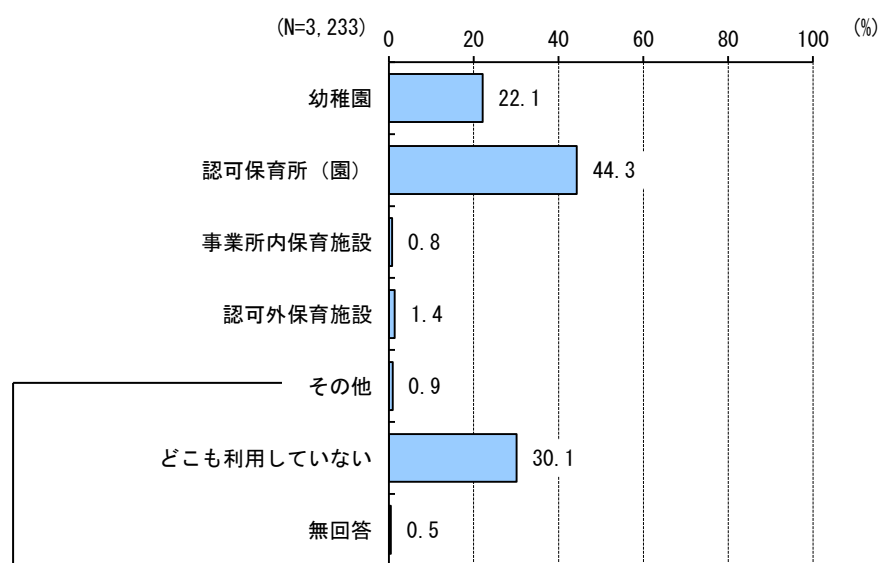
平日に定期的に利用している教育・保育サービスについては、「認可保育所（園）」が44.3%で最も多く、次いで「どこも利用していない」30.1%、「幼稚園」22.1%の順となっている。

年齢別にみると、2歳以上は「認可保育所（園）」が最も多く5割を超えている。

区域別にみると、どの区域も「認可保育所（園）」が最も多いが、南中学校区は37.0%とやや少なくなっている。

父母の就労タイプ別にみると、「専業主婦（夫）」では「どこも利用していない」が55.0%で最も多くなっている。

【図 定期的な教育・保育サービスの利用状況】



【その他の内訳】

- ・子育て支援センター 18件
- ・一時保育 4件
- ・待機中 2件
- ・養護学校幼稚部、私立幼稚園体験入園中、
11月から保育所入所予定 各1件

【表 年齢別・区域別・父母の就労タイプ別 定期的な教育・保育サービスの利用状況】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	幼稚園	認可保育所 (園)	事業所内 保育施設	認可外 保育施設	その他	どこも 利用してい ない	無回答
全 体		3,233	22.1	44.3	0.8	1.4	0.9	30.1	0.5
年 齢	0歳	712	0.3	17.8	1.1	0.7	1.1	78.1	0.8
	1歳	471	0.4	44.8	2.3	3.0	1.9	46.9	0.6
	2歳	497	2.0	58.6	0.4	1.2	2.2	35.6	0.0
	3歳	481	46.6	51.1	0.2	1.0	0.0	0.8	0.2
	4歳	521	44.7	52.8	0.0	1.3	0.0	0.8	0.4
	5歳	520	45.8	51.2	0.6	1.3	0.0	0.8	0.4
区 域	東中学校区	716	22.1	46.4	0.7	0.6	0.8	29.3	0.1
	西中学校区	782	24.3	46.5	0.6	0.9	0.4	26.6	0.6
	南中学校区	845	23.3	37.0	1.1	3.1	1.7	33.1	0.7
	綾歌中学校区	311	18.6	48.9	0.6	0.3	0.3	31.2	0.0
	飯山中学校区	505	21.2	47.7	0.6	1.0	0.6	28.5	0.4
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	200	15.0	70.0	0.5	1.5	0.0	12.5	0.5
	フルタイム×フルタイム	927	7.3	68.3	1.7	1.3	0.4	20.7	0.2
	フルタイム×パートタイム	755	22.6	65.2	0.8	2.1	0.1	8.9	0.3
	専業主婦(夫)	1,115	34.8	6.9	0.1	0.5	2.0	55.0	0.7
	その他	20	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

【定期的に利用している教育・保育サービスの利用率の時系列比較】

(回答者全体を100%とした利用率)

	前回調査 (H20)	今回調査 (H25)	増減
教育・保育サービスを利用している割合	60.5%	69.4%	8.9%
幼稚園	18.7%	22.1%	3.4%
幼稚園の預かり保育	5.3%		
認可保育所	37.7%	44.3%	6.6%
認定こども園	0.0%	-	-
家庭的な保育	0.2%	-	-
事業所内保育施設	0.3%	0.8%	0.5%
認可外保育施設	2.1%	1.4%	▲ 0.7%
ファミリー・サポート・センター	0.1%	0.1%	0.0%

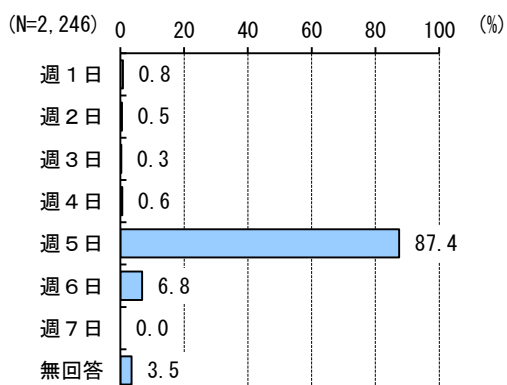
(2) 利用している平日の定期的な教育・保育サービスの頻度

問9で「1. ～ 5.」(サービス利用者)に○をつけた方におうかがいします。

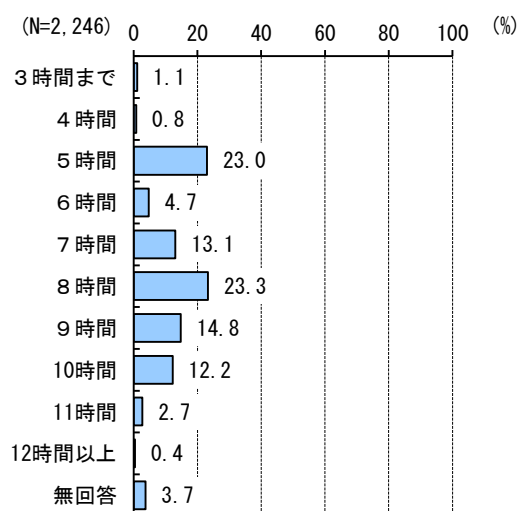
問9-1 上記のサービスについて、どのくらい利用していますか。()内に数字でご記入ください。(時間は必ず24時間制でご記入ください。)

定期的な教育・保育サービスの利用日数については、「週5日」が87.4%で最も多く、次いで「週6日」6.8%となっている。利用時間については、「8時間」と「5時間」が多く、それぞれ23.3%、23.0%となっている。利用時間帯については、利用開始時刻は「9時」が46.8%で最も多く、次いで「8時」となっている。終了時刻は、「14時」24.4%と「17時」23.6%、「16時」21.5%が2割を超えて多くなっている。

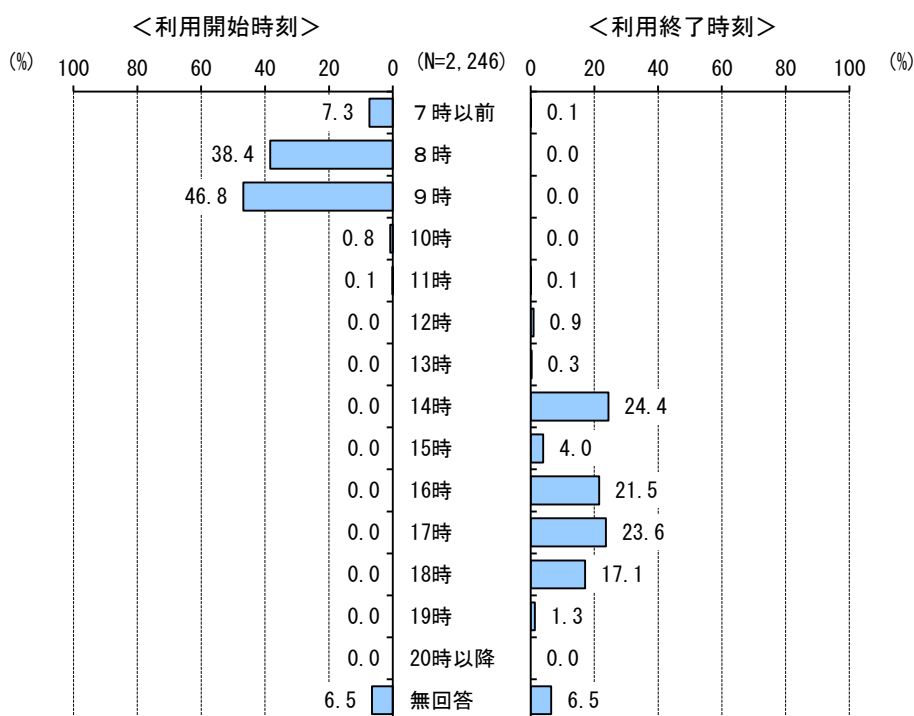
【図 定期的な教育・保育サービスの利用日数】



【図 定期的な教育・保育サービスの利用時間】



【図 定期的な教育・保育サービスの利用時間帯】



【表 利用している事業別 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況】

(単位:Nは人、他は%)

< 1週当たりの利用日数 >

	全 体 (N)	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無回答	平 均 (日)
全 体	2,246	0.8	0.5	0.3	0.6	87.4	6.8	-	3.5	5.0
幼稚園	716	0.3	0.1	-	0.3	95.7	0.6	-	3.1	5.0
認可保育所(園)	1,432	0.6	0.4	0.2	0.2	85.3	10.0	-	3.2	5.1
事業所内保育施設	25	-	4.0	4.0	8.0	72.0	12.0	-	-	4.8
認可外保育施設	44	-	-	-	4.5	84.1	4.5	-	6.8	5.0
その他	29	27.6	13.8	10.3	13.8	6.9	3.4	-	24.1	2.6

< 1日当たり利用時間 >

	全 体 (N)	2時間 まで	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間 以上	無回答	平 均 (時間)
全 体	2,246	0.7	0.4	0.8	23.0	4.7	13.1	23.3	14.8	12.2	2.7	0.4	3.7	7時間30分
幼稚園	716	0.3	0.1	0.7	71.1	12.4	5.0	2.5	1.4	1.5	0.1	0.1	4.6	5時間30分
認可保育所(園)	1,432	0.1	0.3	0.6	0.2	0.8	17.4	33.8	21.7	17.2	4.1	0.6	3.1	8時間30分
事業所内保育施設	25	-	-	-	-	-	12.0	44.0	16.0	24.0	4.0	-	-	8時間36分
認可外保育施設	44	-	-	-	9.1	11.4	11.4	22.7	18.2	18.2	2.3	-	6.8	8時間
その他	29	41.4	13.8	20.7	3.4	-	6.9	-	-	3.4	-	-	10.3	3時間24分

< 利用開始時刻 >

	全 体 (N)	7時以前	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時 以降	無回答	平 均 (時)
全 体	2,246	7.3	38.4	46.8	0.8	0.1	-	-	-	-	-	-	6.5	8時30分
幼稚園	716	0.6	14.8	76.7	0.3	-	-	-	-	-	-	-	7.7	8時48分
認可保育所(園)	1,432	10.7	49.7	33.7	0.1	-	0.1	-	-	-	-	-	5.7	8時18分
事業所内保育施設	25	8.0	68.0	20.0	-	-	-	-	-	4.0	-	-	-	8時24分
認可外保育施設	44	9.1	54.5	25.0	2.3	-	-	-	-	-	-	-	9.1	8時12分
その他	29	-	10.3	17.2	41.4	6.9	-	-	3.4	-	-	-	20.7	9時48分

< 利用終了時刻 >

	全 体 (N)	10時 以前	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答	平 均 (時)
全 体	2,246	0.1	0.1	0.9	0.3	24.4	4.0	21.5	23.6	17.1	1.3	-	6.5	16時
幼稚園	716	-	-	0.3	0.3	74.0	10.9	1.7	2.1	3.1	-	-	7.7	14時16分
認可保育所(園)	1,432	0.1	0.1	0.6	0.2	0.6	0.5	31.6	34.7	23.8	2.1	-	5.7	16時54分
事業所内保育施設	25	-	-	-	-	-	-	16.0	36.0	44.0	-	4.0	-	17時36分
認可外保育施設	44	2.3	-	-	-	13.6	4.5	27.3	20.5	22.7	-	-	9.1	16時06分
その他	29	-	3.4	34.5	6.9	13.8	10.3	6.9	-	3.4	-	-	20.7	13時24分

※一番多い項目に網掛けをしている。

(3) 利用したい平日の定期的な教育・保育サービス

すべての方におうかがいします。

問10 現在、利用している、利用していないに関わらず、あて名のお子さんについて、小学生になるまでの間で、平日に「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。

(○はいくつでも。そのうち、最も利用したいものには◎を1つ)

※これらのサービス利用には、一定の利用料が発生します。

※不定期の利用、一時的な利用は除きます。

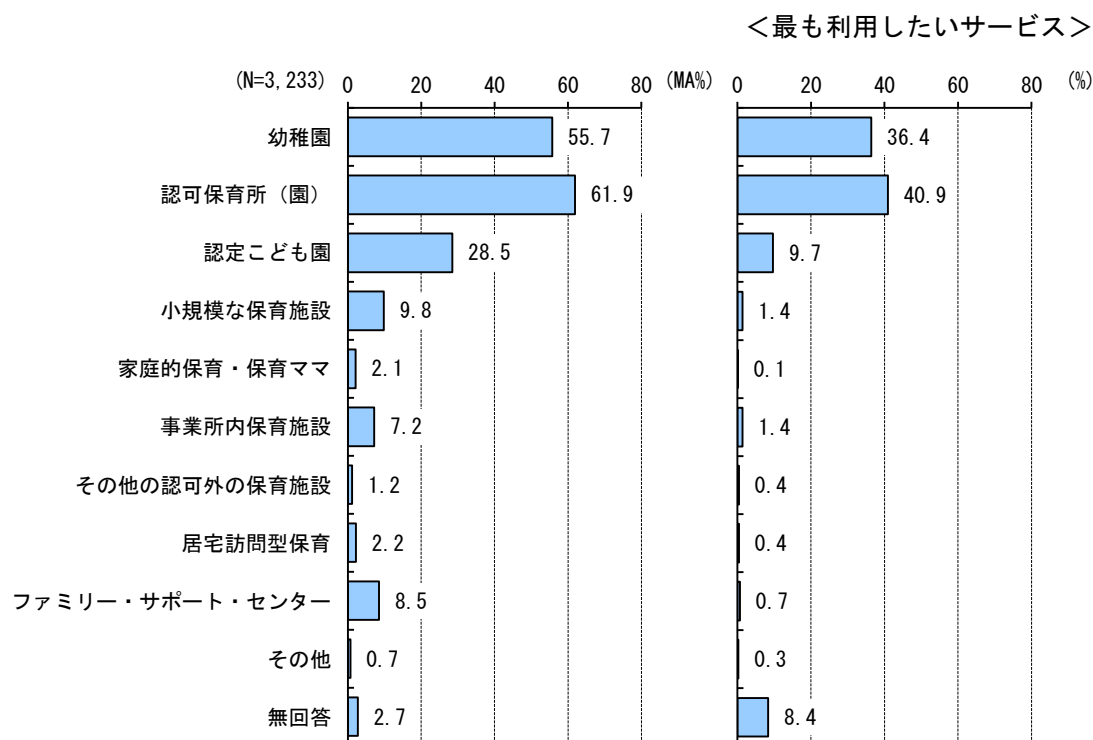
平日に定期的に利用したい教育・保育サービスについては、「認可保育所（園）」61.9%と「幼稚園」55.7%がともに半数を超えている。次いで「認定こども園」28.5%となっており、「小規模な保育施設」「ファミリー・サポート・センター」「事業所内保育施設」は1割弱と少ない。

最も利用したいサービスについても、「認可保育所（園）」40.9%と「幼稚園」36.4%が多くなっている。

年齢別にみると、0歳と1歳では「認可保育所（園）」が多いが、2歳以上では「幼稚園」と「認可保育所（園）」がほぼ同率となっている。

区域別にみると、東中学校区と綾歌中学校区と飯山中学校区では「認可保育所（園）」の割合が高いが、西中学校区と南中学校区では「幼稚園」と「認可保育所（園）」がほぼ同率になっている。

【図 利用したい平日の定期的な教育・保育サービス】



【表 年齢別・区域別 最も利用したい平日の定期的な教育・保育サービス】

(単位: Nは人、他は%)

		全 体 (N)	幼 稚 園	認 可 保 育 所 (園)	認 定 こ ど も 園	小 規 模 な 保 育 施 設	家 庭 的 保 育 ・ 保 育 マ マ	事 業 所 内 保 育 施 設	そ の 他 の 認 可 外 の 保 育 施 設	居 宅 訪 問 型 保 育	フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全 体		3,233	36.4	40.9	9.7	1.4	0.1	1.4	0.4	0.4	0.7	0.3	8.4
年 齢	0歳	712	31.7	44.8	9.6	1.4	0.0	2.7	0.6	0.3	0.7	0.3	8.0
	1歳	471	35.5	42.5	8.9	1.5	0.0	0.8	1.1	0.6	0.2	0.0	8.9
	2歳	497	39.4	40.0	11.3	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	3歳	481	37.8	38.5	11.2	1.5	0.2	0.6	0.0	0.4	0.8	0.2	8.7
	4歳	521	37.8	39.9	9.2	0.2	0.4	1.0	0.2	0.4	1.3	0.4	9.2
	5歳	520	38.3	38.3	7.9	1.7	0.2	1.0	0.4	0.6	1.0	0.6	10.2
区 域	東中学校区	716	35.2	40.2	10.2	1.1	0.4	2.2	0.0	0.4	1.4	0.1	8.7
	西中学校区	782	38.4	40.4	8.8	1.2	0.0	0.9	0.6	0.6	0.8	0.4	7.9
	南中学校区	845	38.8	38.0	10.7	1.9	0.1	1.1	0.7	0.1	0.1	0.4	8.2
	綾歌中学校区	311	28.3	47.3	8.7	2.3	0.0	2.3	0.0	0.3	0.6	0.0	10.3
	飯山中学校区	505	36.0	43.6	9.7	1.0	0.0	1.2	0.2	0.2	0.6	0.4	7.1
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	200	15.0	53.5	8.0	3.0	0.0	2.5	0.0	1.5	1.0	0.0	15.5
	フルタイム×フルタイム	927	15.6	59.4	10.9	1.9	0.0	2.2	0.4	0.1	0.8	0.4	8.2
	フルタイム×パートタイム	755	27.3	48.9	10.6	1.1	0.1	0.7	0.5	0.4	0.5	0.4	9.5
	専業主婦(夫)	1,115	64.2	18.4	8.4	0.8	0.3	1.1	0.3	0.3	0.4	0.1	5.7
	その他	20	25.0	50.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	5.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

(4) 利用したい平日の定期的な教育・保育サービスの頻度（利用日数・利用時間）

問10の平日の定期的な教育・保育サービスの利用希望がある方におうかがいます。

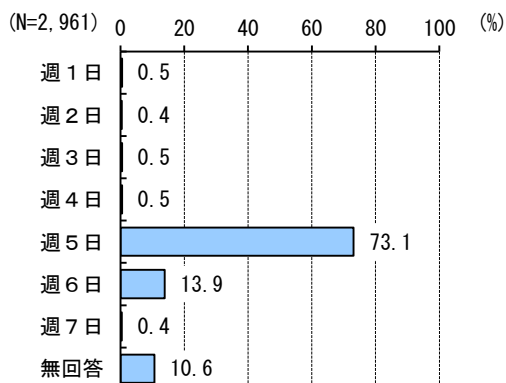
問10-1 問10で◎をつけた最も利用したいサービスは、どのくらい利用したいですか。() 内に数字でご記入ください。(時間は必ず24時間制でご記入ください。)

平日に定期的に利用したい教育・保育サービスの希望する利用日数については、「週5日」が73.1%で最も多く、次いで「週6日」13.9%となっている。

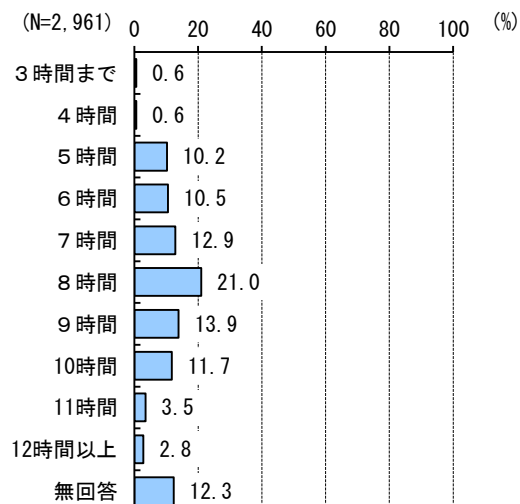
1日当たりの利用希望時間については、「8時間」が21.0%で最も多いものの、「5時間」から「10時間」まで分散している。平均は7時間54分となっている。

希望する利用時間帯については、開始時刻は「9時」と「8時」が4割弱と多くなっている。終了時刻は、「17時」が21.4%で最も多いものの、「14時」から「18時」まで希望が分散している。

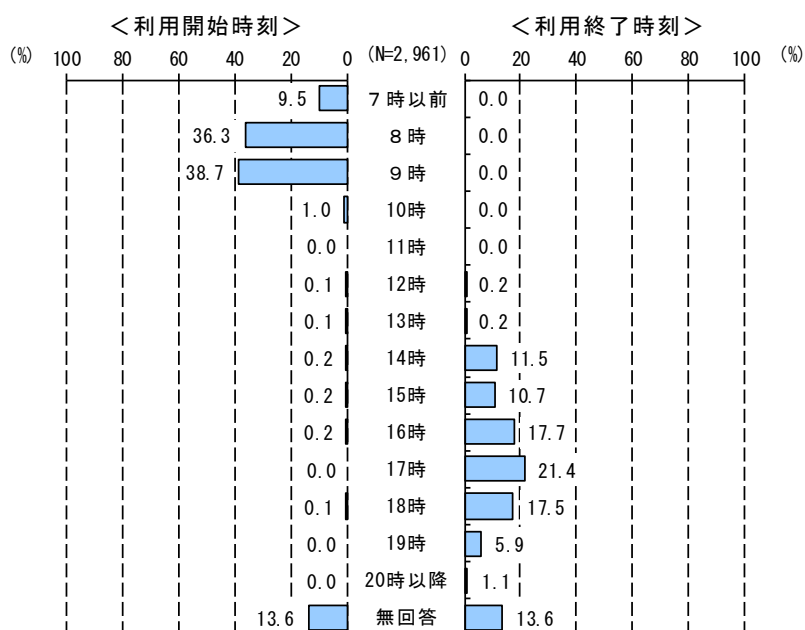
【図 定期的な教育・保育サービスの希望日数】



【図 定期的な教育・保育サービスの希望時間】



【図 定期的な教育・保育サービスの希望時間帯】



Ⅲ. 就学前児童調査の結果

【表 事業別 平日の定期的な教育・保育サービスの利用希望状況】

< 1週当たりの利用希望日数 >

(単位: Nは人、他は%)

	全 体 (N)	週 1日	週 2日	週 3日	週 4日	週 5日	週 6日	週 7日	無回答	平 均 (日)
全 体	2,961	0.5	0.4	0.5	0.5	73.1	13.9	0.4	10.6	5.1
幼稚園	1,176	-	0.1	0.2	0.7	79.9	6.0	0.2	12.9	5.1
認可保育所(園)	1,322	0.2	0.1	0.2	0.3	68.5	20.2	0.8	9.7	5.2
認定こども園	312	1.0	0.6	1.3	0.6	74.0	17.9	-	4.5	5.1
小規模な保育施設	45	-	2.2	4.4	-	80.0	11.1	-	2.2	5.0
家庭的保育・保育ママ	4	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	25.0	4.3
事業所内保育施設	46	-	-	2.2	2.2	69.6	19.6	-	6.5	5.1
その他の認可外の保育施設	12	-	-	-	-	75.0	8.3	-	16.7	5.1
居宅訪問型保育	12	25.0	16.7	25.0	-	8.3	-	-	25.0	2.3
ファミリー・サポート・センター	22	18.2	18.2	4.5	4.5	22.7	-	-	31.8	2.9
その他	10	10.0	10.0	-	-	30.0	10.0	-	40.0	4.0

< 1日当たりの利用希望時間 >

	全 体 (N)	2時間 まで	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間 以上	無回答	平 均 (時間)
全 体	2,961	0.4	0.3	0.6	10.2	10.5	12.9	21.0	13.9	11.7	3.5	2.8	12.3	7時間54分
幼稚園	1,176	-	0.1	0.9	23.5	22.4	16.7	11.1	5.2	3.7	0.9	0.5	15.0	6時間36分
認可保育所(園)	1,322	0.1	-	0.1	0.5	1.4	10.6	29.2	20.7	17.1	5.3	4.2	11.0	8時間48分
認定こども園	312	0.3	-	-	3.2	6.7	12.2	24.7	19.6	17.6	4.5	5.1	6.1	8時間36分
小規模な保育施設	45	-	-	-	4.4	6.7	6.7	26.7	15.6	17.8	11.1	6.7	4.4	8時間48分
家庭的保育・保育ママ	4	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	4時間18分
事業所内保育施設	46	2.2	-	2.2	8.7	4.3	2.2	17.4	19.6	17.4	8.7	6.5	10.9	8時間30分
その他の認可外の保育施設	12	-	-	-	16.7	-	8.3	25.0	8.3	25.0	-	-	16.7	8時間
居宅訪問型保育	12	25.0	16.7	-	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	25.0	4時間12分
ファミリー・サポート・センター	22	18.2	18.2	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	-	-	-	-	31.8	3時間54分
その他	10	-	10.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0	-	10.0	-	-	30.0	6時間18分

< 利用希望開始時刻 >

	全 体 (N)	7時 以前	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時 以降	無回答	平 均 (時)
全 体	2,961	9.5	36.3	38.7	1.0	-	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	13.6	8時24分
幼稚園	1,176	2.3	24.1	55.4	1.0	-	-	-	-	0.1	-	-	17.1	8時42分
認可保育所(園)	1,322	14.3	46.0	27.0	0.4	-	0.1	-	-	0.2	0.1	-	12.0	8時12分
認定こども園	312	14.1	43.3	33.3	2.2	-	-	-	0.3	0.6	-	-	6.1	8時18分
小規模な保育施設	45	20.0	42.2	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	8時6分
家庭的保育・保育ママ	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	8時30分
事業所内保育施設	46	23.9	43.5	17.4	2.2	-	-	2.2	-	2.2	-	-	8.7	8時18分
その他の認可外の保育施設	12	8.3	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	8時12分
居宅訪問型保育	12	-	8.3	-	-	8.3	8.3	-	-	-	8.3	33.3	33.3	15時18分
ファミリー・サポート・センター	22	-	4.5	13.6	13.6	-	-	4.5	13.6	-	13.6	4.5	31.8	12時18分
その他	10	-	10.0	20.0	10.0	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	10時42分

< 利用希望終了時刻 >

	全 体 (N)	10時 以前	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時 以降	無回答	平 均 (時)
全 体	2,961	-	-	0.2	0.2	11.5	10.7	17.7	21.4	17.5	5.9	1.1	13.6	16時30分
幼稚園	1,176	-	-	0.3	0.5	27.5	22.5	14.5	10.1	6.0	1.2	0.3	17.1	16時24分
認可保育所(園)	1,322	-	-	-	-	0.5	1.0	21.1	29.7	25.2	9.4	1.2	12.0	17時18分
認定こども園	312	-	-	0.3	-	2.6	8.3	19.2	29.5	24.0	8.7	1.3	6.1	17時
小規模な保育施設	45	-	-	-	-	2.2	11.1	6.7	26.7	37.8	6.7	4.4	4.4	17時18分
家庭的保育・保育ママ	4	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	50.0	18時
事業所内保育施設	46	-	-	-	2.2	-	4.3	17.4	15.2	37.0	10.9	4.3	8.7	17時24分
その他の認可外の保育施設	12	-	-	-	-	16.7	-	16.7	25.0	25.0	-	-	16.7	16時30分
居宅訪問型保育	12	-	-	-	-	-	8.3	8.3	8.3	8.3	-	33.3	33.3	19時18分
ファミリー・サポート・センター	22	-	-	9.1	-	-	18.2	4.5	18.2	4.5	9.1	4.5	31.8	16時18分
その他	10	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	-	-	40.0	16時42分

※一番多い項目に網掛けをしている。

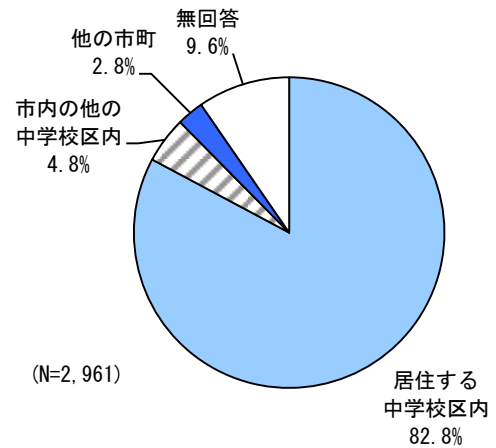
(5) 利用したい教育・保育サービスの実施場所

問10-2 問10で◎をつけた最も利用したいサービスは、どこにあるものを希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

【図 利用したい教育・保育サービスの実施場所】

平日に定期的に利用したい教育・保育サービスの実施場所は、「居住する中学校区内」が 82.8%と多数を占め、「他の市町」は2.8%と少数となっている。

最も利用したい教育・保育サービス別にみると、「事業所内保育施設」では「他の市町」が 32.6%みられる。



【表 区域別 利用したい教育・保育サービスの実施場所】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	中居 学住 校す 区内	中市 学内 校の 区他 内の	他 の 市 町	無 回 答
全 体		2,961	82.8	4.8	2.8	9.6
区 域	東中学校区	654	80.3	5.0	3.7	11.0
	西中学校区	720	84.9	4.7	1.8	8.6
	南中学校区	776	82.6	5.8	2.8	8.8
	綾歌中学校区	279	87.1	2.9	2.9	7.2
	飯山中学校区	469	82.1	3.6	2.8	11.5
教 育 最 も 利 用 サ シ タ い ビ ス	幼稚園	1,176	80.0	4.3	4.3	11.4
	認可保育所(園)	1,322	84.8	5.0	1.0	9.2
	認定こども園	312	93.3	3.5	0.6	2.6
	小規模な保育施設	45	88.9	4.4	2.2	4.4
	家庭的保育・保育ママ	4	75.0	0.0	0.0	25.0
	事業所内保育施設	46	45.7	15.2	32.6	6.5
	その他の認可外の保育施設	12	58.3	25.0	0.0	16.7
	居宅訪問型保育	12	66.7	0.0	8.3	25.0
	ファミリー・サポート・センター	22	63.6	9.1	0.0	27.3
その他	10	70.0	0.0	0.0	30.0	

※全体平均より 10%以上高い項目に網掛けをしている

4. 土曜・休日の保育所などの利用希望について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な保育サービスの利用意向

問11 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保護者の就労等により定期的な保育サービスを利用する必要がありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は（ ）内に数字でご記入ください。

（時間は必ず24時間制でご記入ください。）

※これらのサービス利用には、一定の利用料が発生します。

土曜日の定期的な保育サービスの利用意向については、「利用する必要はない」が59.1%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」22.6%、「ほぼ毎週利用したい」13.4%となっている。

日曜日・祝日の定期的な保育サービスの利用意向については、「利用する必要はない」が77.4%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」14.2%となっている。

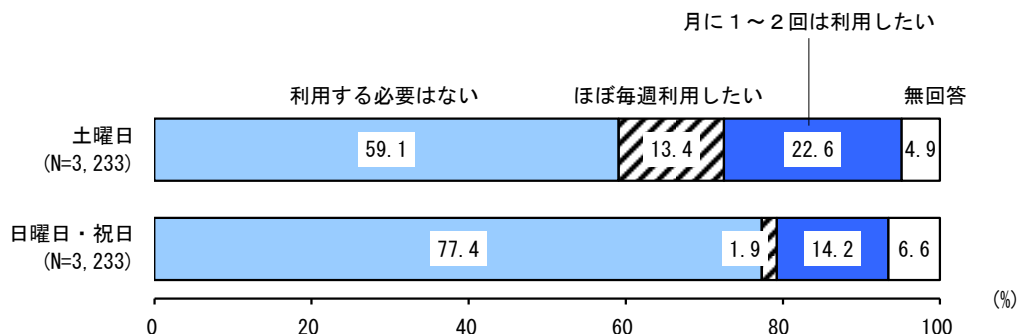
区域別にみると、土曜日・日曜日ともに、どの区域でも「利用する必要はない」が最も多いことに違いはみられない。割合に着目すると、土曜日については、西中学校区と綾歌中学校区、飯山中学校区では「利用する必要はない」が6割以上と高くなっている。

日曜日・祝日については、綾歌中学校区では「利用する必要はない」が80.7%と高くなっている。

希望する時間帯については、土曜日は、開始時刻は「8時」が49.5%で最も多く、次いで「9時」32.5%、「7時以前」14.2%となっており、平均は8時18分である。終了時刻は、「17時」28.9%、「18時」27.0%、「16時」16.8%の順で、平均は16時36分となっている。

日曜日・祝日についても、土曜日とほぼ同様となっている。

【図 土曜日、日曜日・祝日の定期的な保育サービスの利用意向】



【表 区域別・父母の就タイプ別 土曜日、日曜日・祝日の定期的な保育サービスの利用意向】

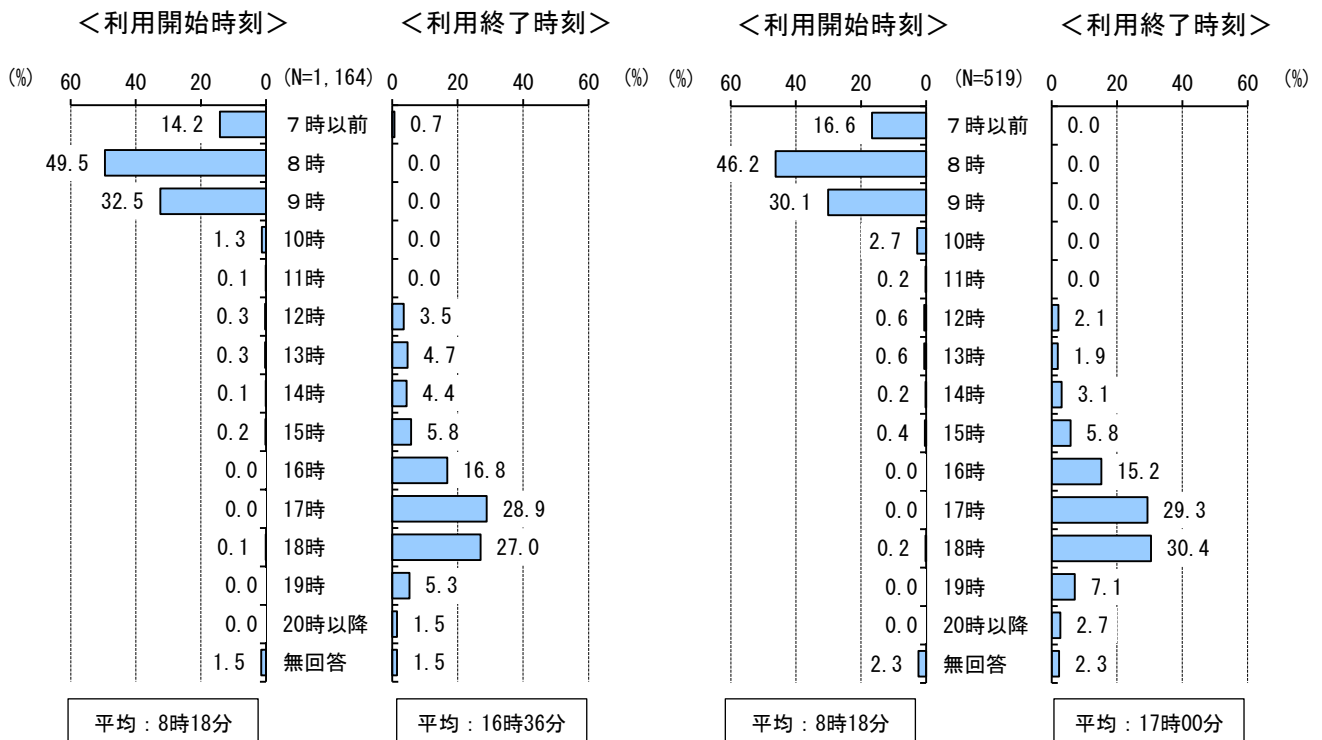
(単位:Nは人、他は%)

	全 体 (N)	土曜日				日曜日・祝日				
		は 利 用 す る 必 要	し ほ ぼ 毎 週 利 用	は 月 に 利 用 し た 回 数	無 回 答	は 利 用 す る 必 要	し ほ ぼ 毎 週 利 用	は 月 に 利 用 し た 回 数	無 回 答	
全 体	3,233	59.1	13.4	22.6	4.9	77.4	1.9	14.2	6.6	
区 域	東中学校区	716	59.2	12.6	22.8	5.4	75.6	1.8	14.4	8.2
	西中学校区	782	61.4	13.3	19.8	5.5	80.3	1.7	11.0	7.0
	南中学校区	845	55.9	14.3	25.1	4.7	75.0	2.4	16.4	6.2
	綾歌中学校区	311	61.1	13.2	22.2	3.5	80.7	0.6	13.8	4.8
	飯山中学校区	505	60.8	13.5	22.2	3.6	78.0	2.2	14.7	5.1
就 労 父 母 の 就 タ イ プ	ひとり親	200	39.5	25.0	31.5	4.0	64.0	5.0	25.0	6.0
	フルタイム×フルタイム	927	47.7	19.4	30.3	2.6	71.5	2.2	21.1	5.2
	フルタイム×パートタイム	755	54.7	16.2	26.0	3.2	79.3	1.6	14.2	4.9
	専業主婦(夫)	1115	75.9	4.5	12.4	7.3	84.5	0.9	6.5	8.2
	その他	20	55.0	10.0	35.0	0.0	70.0	0.0	20.0	10.0

※一番多い項目に網掛けをしている

【図 土曜日の保育サービスの希望時間帯】

【図 日曜日・祝日の保育サービスの希望時間帯】



5. 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気等で教育・保育サービスが利用できなかったこと

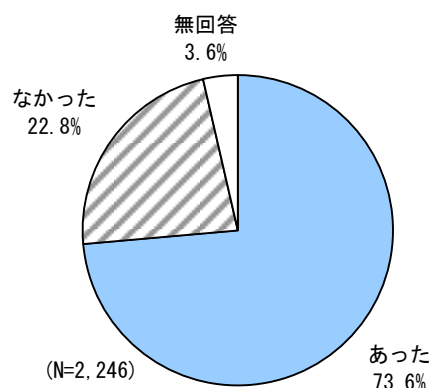
問12は、平日の教育・保育サービスを利用している方（問9で「1.～5.」に○をつけた方）におうかがいします。利用していない方（問9で「6.」に○をつけた方）は、問13にお進みください。

問12 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかったことはありましたか。（○は1つ）

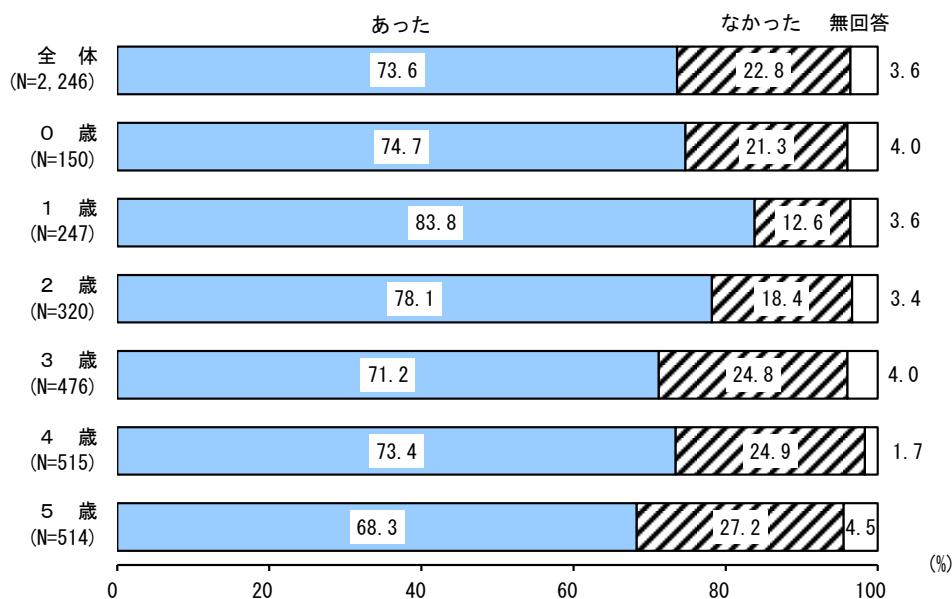
【図 病気等で教育・保育サービスが利用できなかったこと】

病気等で普段利用している教育・保育サービスが利用できなかったことについては、「あった」が73.6%と約4分の3を占めている。

年齢別にみると、どの年齢でも「あった」が多数を占めているが、特に1歳で「あった」の割合が83.8%と高くなっている。



【図 年齢別 病気等で教育・保育サービスが利用できなかったこと】



(2) 病気等で教育・保育サービスが利用できなかったときの対処方法

問12で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

問12-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった場合に、この1年間にどのように対処しましたか。あてはまる番号に○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

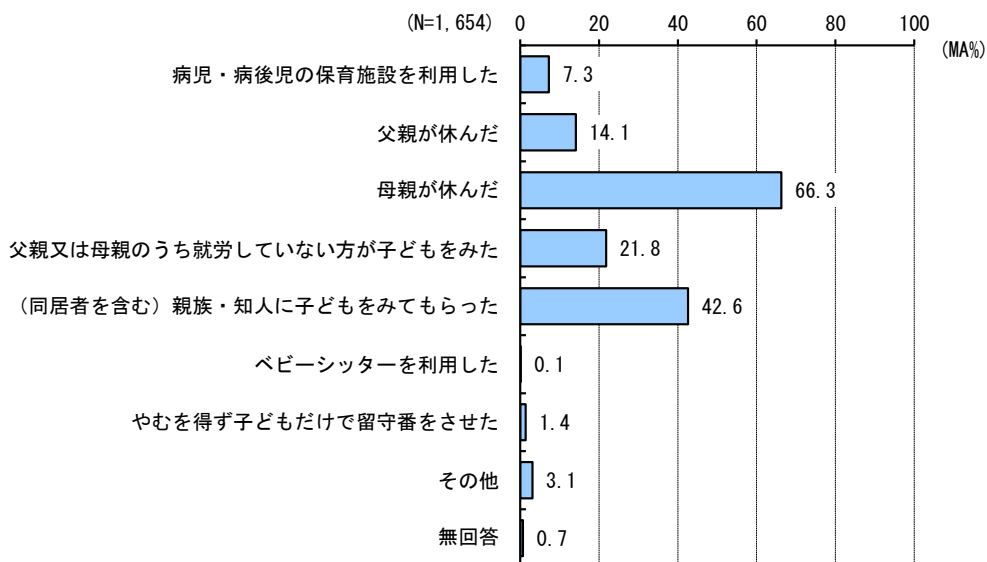
病気等でふだん利用している教育・保育サービスが利用できなかったときの対処方法については、「母親が休んだ」が66.3%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」42.6%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」21.8%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢で「母親が休んだ」が最も多く、2歳以下では約8割となっている。「父親が休んだ」はどの年齢も2割以下である。また1歳と2歳では「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が5割を超えている。

区域別にみると、すべての区域で「母親が休んだ」が最も多く、区域による違いはほとんどみられない。

父母の就労タイプ別にみると、“フルタイム×パートタイム”では「母親が休んだ」が多く8割を超えている。“フルタイム×フルタイム”では「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が多く6割となっている。

【図 病気等で教育・保育サービスが利用できなかったときの対処方法(MA)】



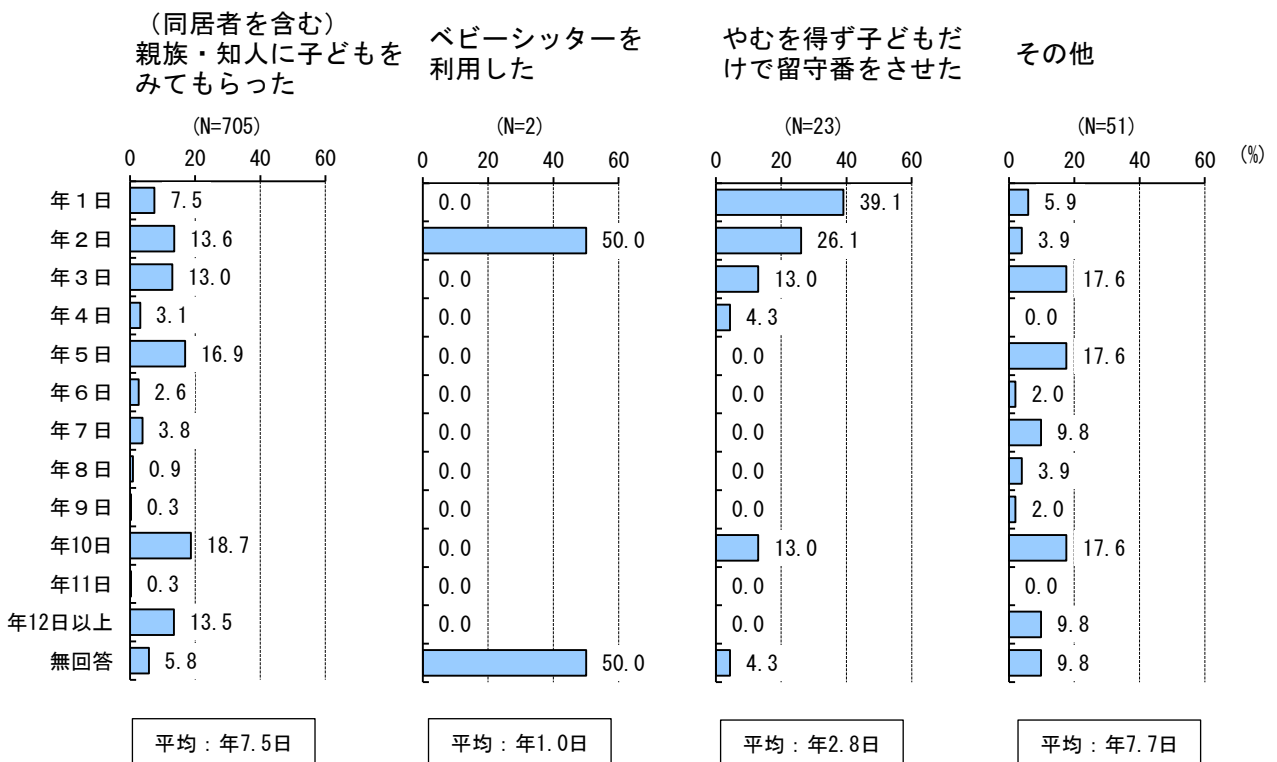
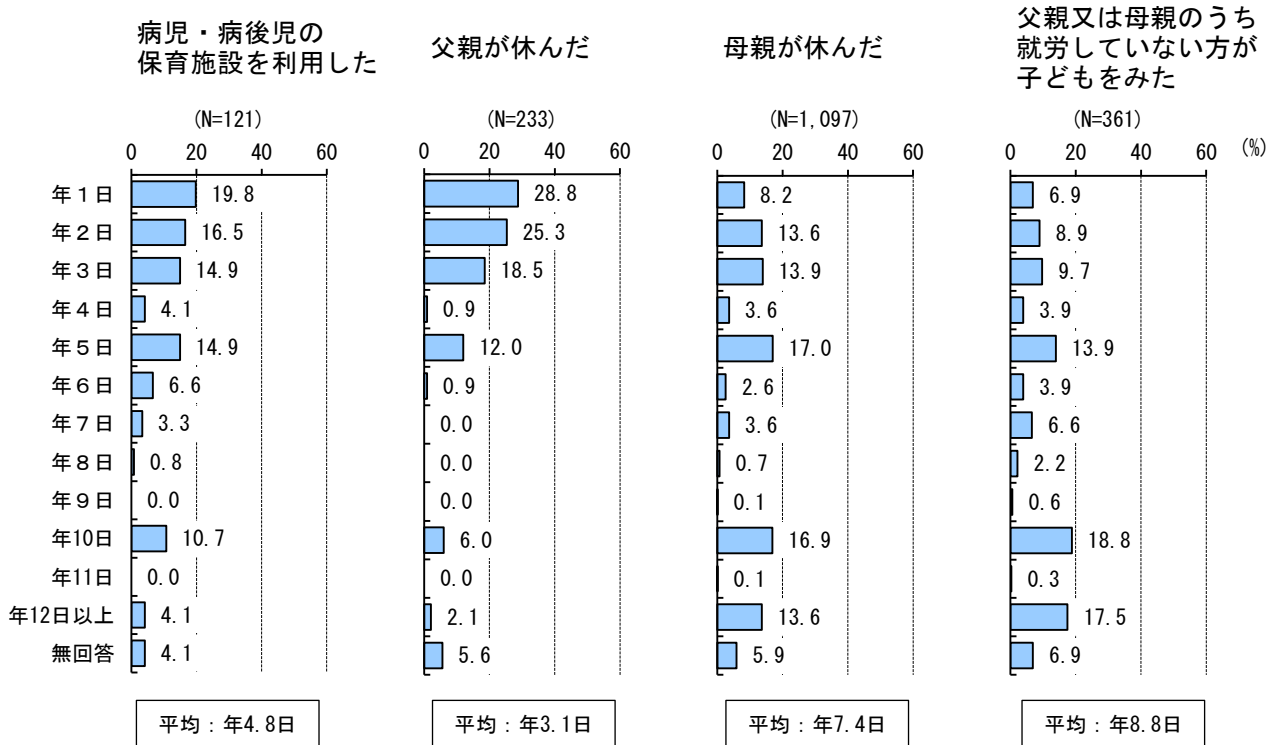
【表 年齢別・父母の就労タイプ別
病気等で教育・保育サービスが利用できなかったときの対処方法(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

		全 体 (N)	育病 施設 児・病 後児 を利 用し た保	父 親 が 休 ん だ	母 親 が 休 ん だ	方 が 就 労 し て は 母 親 の う を み て も ら つ た	親 族 ・ 知 人 に 子 も を ま か し て お か し て く れ た	ベ ビ ー シ ッ タ ー を 利 用 し た	せ た け で 留 守 番 を さ さ む	そ の 他	無 回 答
全 体		1654	7.3	14.1	66.3	21.8	42.6	0.1	1.4	3.1	0.7
年 齢	0歳	112	10.7	15.2	80.4	13.4	43.8	0.0	0.0	0.9	0.0
	1歳	207	14.5	19.8	79.2	11.6	52.2	0.0	0.0	1.4	1.0
	2歳	250	8.0	17.2	78.8	10.0	53.6	0.4	1.2	2.4	0.8
	3歳	339	6.2	14.2	58.1	27.7	39.2	0.0	0.6	5.3	0.6
	4歳	378	6.6	9.3	59.3	28.0	37.3	0.3	1.9	3.2	0.5
	5歳	351	3.1	13.7	60.7	26.5	38.5	0.0	3.1	2.8	1.1
区 域	東中学校区	374	5.9	13.4	64.4	23.8	36.9	0.0	0.5	3.7	0.8
	西中学校区	422	11.8	13.3	65.6	20.9	41.0	0.2	1.7	1.9	0.5
	南中学校区	398	7.5	15.6	64.6	22.9	45.2	0.3	1.8	3.5	0.5
	綾歌中学校区	154	3.9	17.5	72.7	19.5	46.1	0.0	1.3	3.2	0.0
	飯山中学校区	279	3.6	12.5	67.4	21.5	47.7	0.0	1.8	3.6	1.8
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	129	14.0	3.1	68.2	6.2	50.4	0.0	1.6	3.1	0.0
	フルタイム×フルタイム	615	9.3	25.9	77.4	6.0	60.3	0.2	1.5	4.1	0.5
	フルタイム×パートタイム	522	6.9	9.6	83.9	9.8	40.6	0.2	1.9	1.5	0.4
	専業主婦(夫)	280	0.7	3.6	11.4	84.3	8.2	0.0	0.7	2.1	2.1
	その他	7	0.0	42.9	71.4	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

【図 病気等で教育・保育サービスが利用できなかったときの対処の日数】



(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問12-1で「2.～8.」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

問12-2 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。

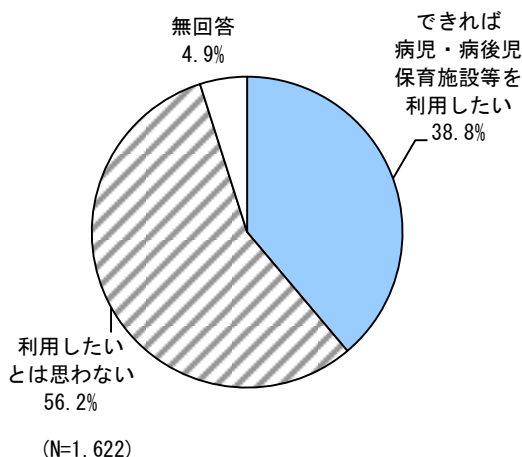
※病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

【図 病児・病後児のための保育施設等の利用希望】

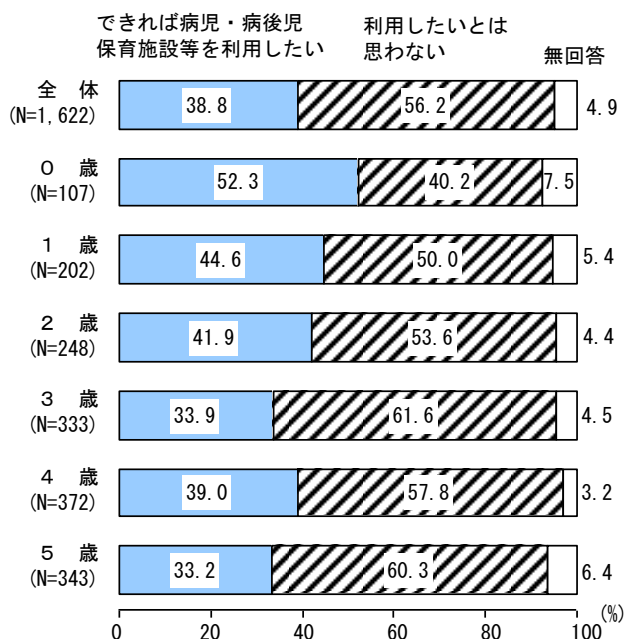
病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が38.8%、「利用したいとは思わない」が56.2%となっている。

年齢別にみると、概ね年齢が小さいほど「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が多くなっており、0歳児では52.3%と半数を超えている。

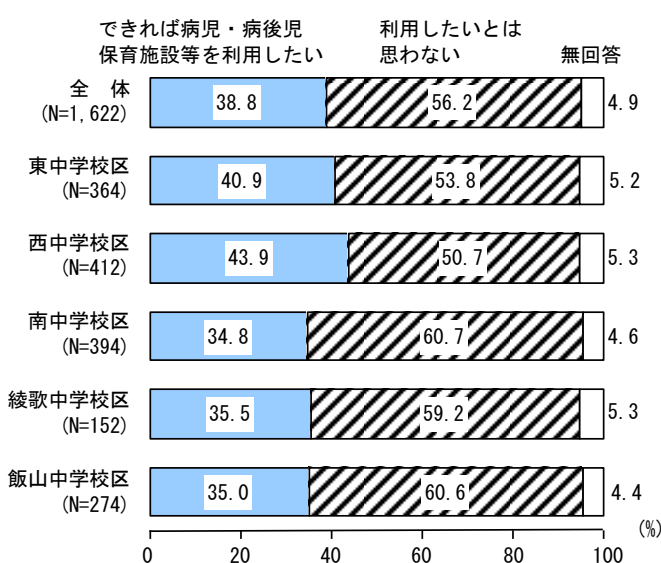
区域別にみると、西中学校区と東中学校区で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が若干高くなっている。



【図 年齢別 病児・病後児のための保育施設等の利用希望】



【図 区域別 病児・病後児のための保育施設等の利用希望】



6. 不定期の教育・保育サービスや一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している教育・保育サービス

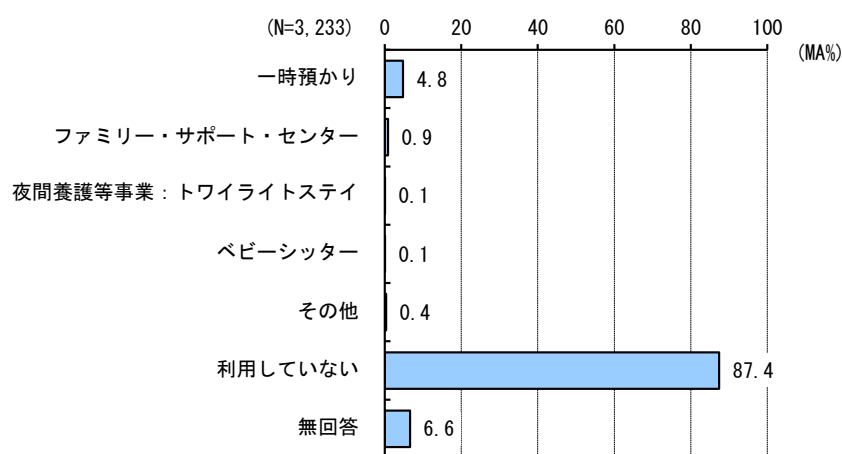
問13 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で「不定期に」利用しているサービスはありますか。当てはまる番号に○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。
 ※「あて名のお子さんの病気のための利用」については除きます。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスについては、「利用していない」が87.4%と多数を占めている。利用している事業としては、「一時預かり」が最も多いが、それでも4.8%と少ない。

年齢別にみると、どの年齢も「利用していない」が圧倒的に多くなっているが、「一時預かり」は1歳～4歳で5%を超えており、比較的多くなっている。

区域別にみても、どの区域でも「利用していない」が圧倒的に多くなっている。

【図 不定期に利用している教育・保育サービス (MA)】



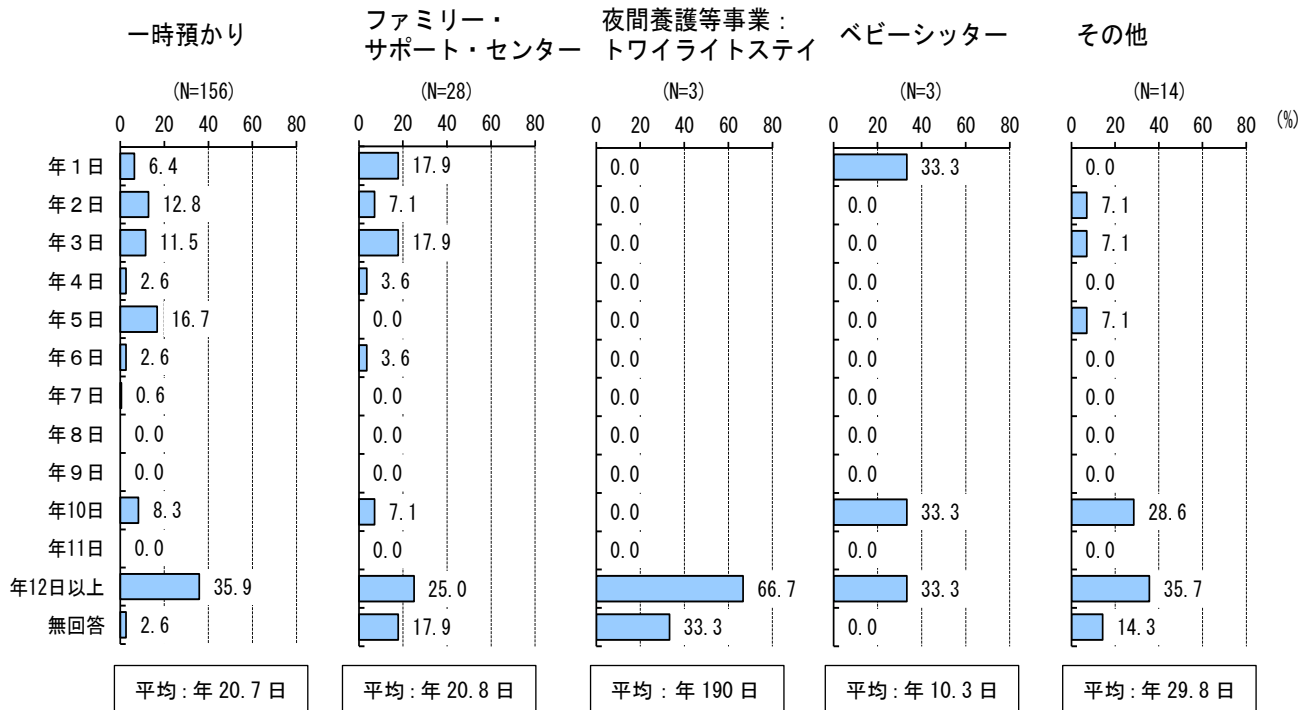
【表 年齢別・区域別 不定期的に利用している教育・保育サービス(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

		全体(N)	一時預かり	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業 イトワイライトステ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体		3,233	4.8	0.9	0.1	0.1	0.4	87.4	6.6
年齢	0歳	712	2.5	0.7	0.0	0.0	0.3	92.1	4.4
	1歳	471	5.9	1.3	0.0	0.2	0.2	85.4	7.2
	2歳	497	7.4	1.0	0.2	0.0	0.2	84.7	7.0
	3歳	481	5.6	0.6	0.2	0.0	0.4	85.9	7.3
	4歳	521	5.2	1.0	0.2	0.0	0.4	87.3	6.3
	5歳	520	3.5	0.6	0.0	0.4	1.0	87.5	7.5
区域	東中学校区	716	4.2	1.0	0.0	0.3	0.6	87.6	6.7
	西中学校区	782	5.9	0.8	0.1	0.1	0.5	87.3	5.5
	南中学校区	845	6.3	0.7	0.1	0.0	0.5	85.6	7.0
	綾歌中学校区	311	3.2	0.6	0.0	0.0	0.3	90.4	5.8
	飯山中学校区	505	2.6	1.0	0.0	0.0	0.0	89.5	7.3

※一番多い項目に網掛けをしている。

【図 不定期的に利用している教育・保育サービスの利用日数】



(2) 利用したい不定期の教育・保育サービス

問14 あて名のお子さんについて、現在、利用しているかどうかに関わらず、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で「不定期に」利用したいサービスはありますか。当てはまる番号に○
をつけ、1年間の希望日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。

※「あて名のお子さんの病気のための利用」については除きます。

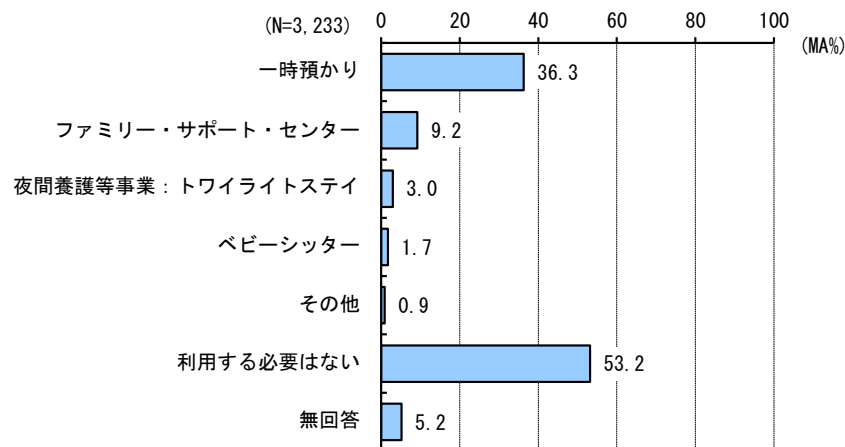
※これらのサービス利用には、一定の利用料が発生します。

不定期の教育・保育サービスの利用意向については、「利用する必要はない」が53.2%と約半数を占めている。利用したいサービスでは「一時預かり」が36.3%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」9.2%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」3.0%となっている。前項の不定期のサービスの利用状況と比べると、利用意向の方が高く、今後サービス需要が増加する可能性がある。

年齢別にみると、どの年齢も「利用する必要はない」が最も多いことに違いはみられないが、「一時預かり」や「ファミリー・サポート・センター」については、0歳及び1歳で他の年齢よりニーズが高くなっている。

区域別にみると、どの区域も「利用する必要はない」が最も多く、区域による違いは少ない。

【図 利用したい不定期の教育・保育サービス(MA)】



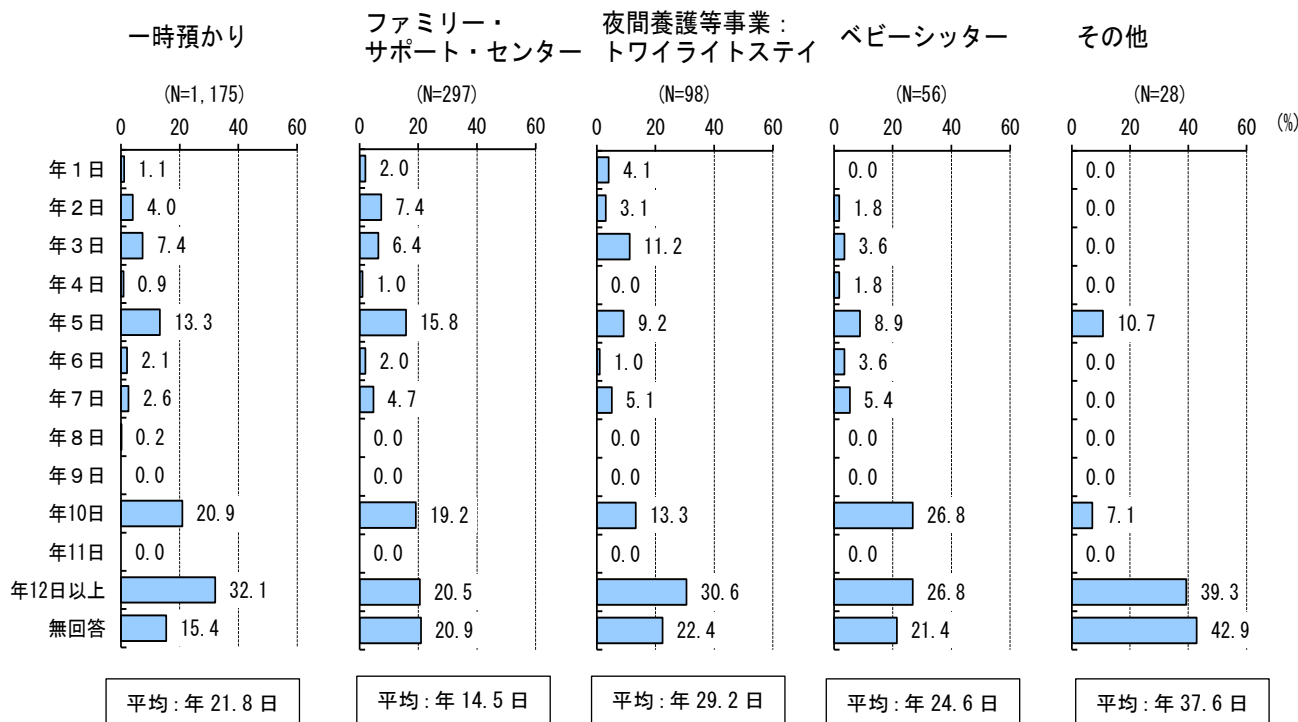
【表 年齢別・区域別 利用したい不定期の教育・保育サービス(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

		全体 (N)	一時 預かり	ファミ リ・セ ンター	夜間 養護 等事 業 : トワ イラ イト ステ	ベ ビー シ ッター	そ の 他	利 用 す る 必 要 は な い	無 回 答
全 体		3,233	36.3	9.2	3.0	1.7	0.9	53.2	5.2
年 齢	0歳	712	44.4	11.9	3.1	2.1	0.7	48.7	2.9
	1歳	471	39.7	10.2	3.6	1.3	0.4	50.1	5.3
	2歳	497	37.8	6.6	0.8	1.8	0.6	52.1	5.2
	3歳	481	33.7	9.4	2.5	1.9	0.6	54.1	6.4
	4歳	521	28.4	9.4	4.0	1.3	1.7	59.1	5.2
	5歳	520	31.9	6.9	4.0	1.9	1.0	56.5	6.0
区 域	東中学校区	716	39.2	9.4	3.9	1.7	1.0	51.8	4.6
	西中学校区	782	38.5	9.7	2.6	1.9	0.6	51.7	4.1
	南中学校区	845	36.9	9.0	3.1	1.1	0.8	53.3	5.6
	綾歌中学校区	311	32.5	9.0	3.2	3.2	1.0	55.6	5.1
	飯山中学校区	505	30.9	8.3	2.0	1.8	1.0	56.6	6.1

※一番多い項目に網掛けをしている。

【図 利用したい不定期の教育・保育サービスの日数】



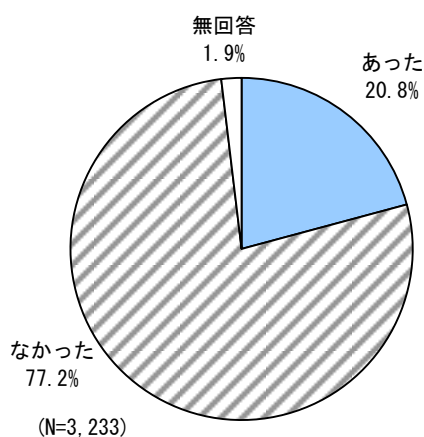
(3) 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと

問15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号に○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

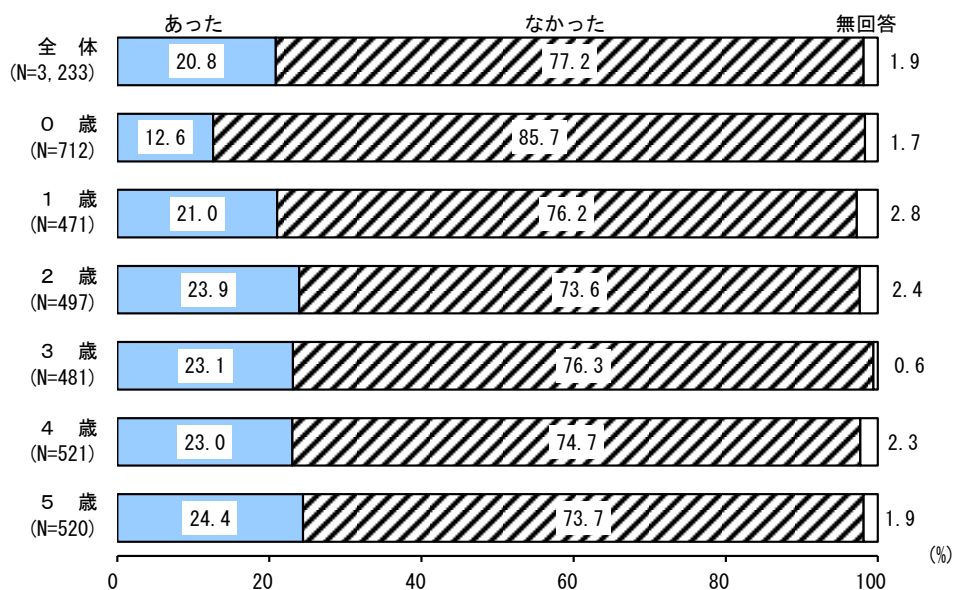
子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことについては、「あった」が20.8%、「なかった」が77.2%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢で「なかった」が7割を超えており、0歳が85.7%で最も割合が高くなっている。

【図 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと】



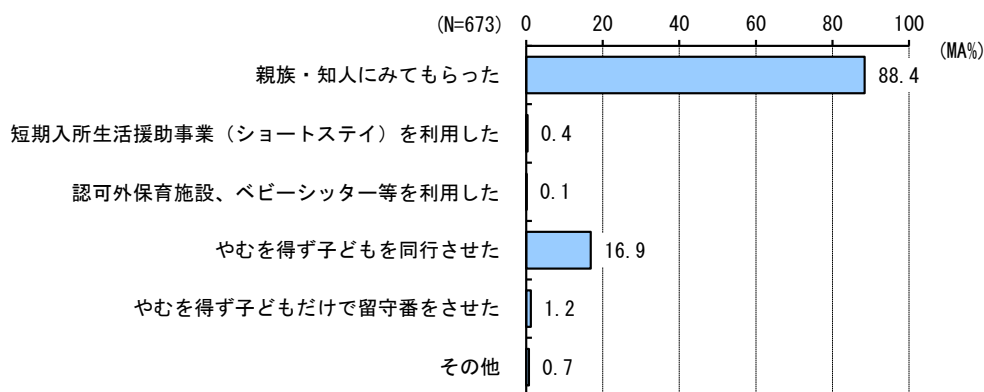
【図 年齢別 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと】



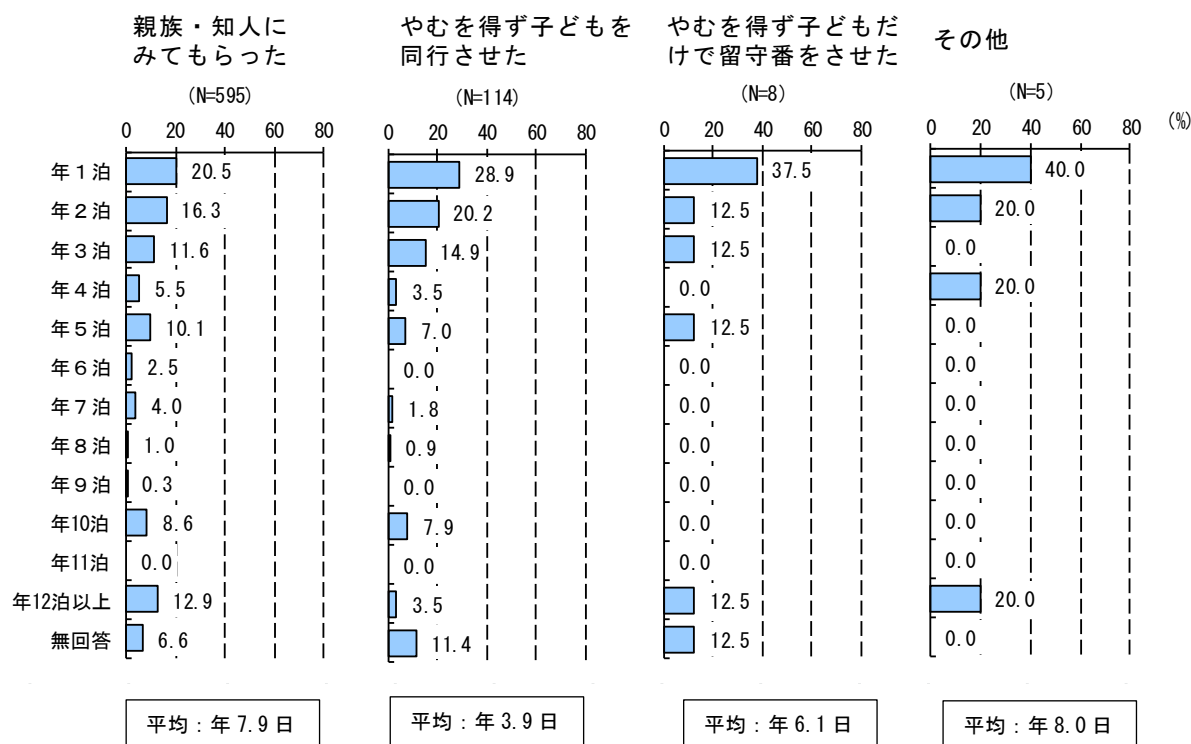
子どもを泊りがけで預けなければならなかったことがあった場合の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」が88.4%で最も多く、次いで「やむを得ず子どもを同行させた」16.9%となっており、他は極めて少ない。

対処方法別に泊数をみると、いずれも「年1泊」が最も多くなっている。

【図 泊りがけで家族以外に預ける必要があった際の対処方法(MA)】



【図 泊りがけで家族以外に預ける必要があった泊数】



※「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」は3人、「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した」は1人のため、グラフから割愛した。

7. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 利用している、または利用したい地域の子育て支援施設

問16 あて名のお子さんは、現在、次の子育て支援施設（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。利用されているものについて、おおよその利用回数を（ ）内に数字でご記入ください。
また、今後利用したいものについて、おおよその希望回数を（ ）内に数字でご記入ください。

現在、何らかの地域子育て支援事業を「利用している」のは 13.9%、「今後、利用したい」という希望があるのは 21.0%となっている。

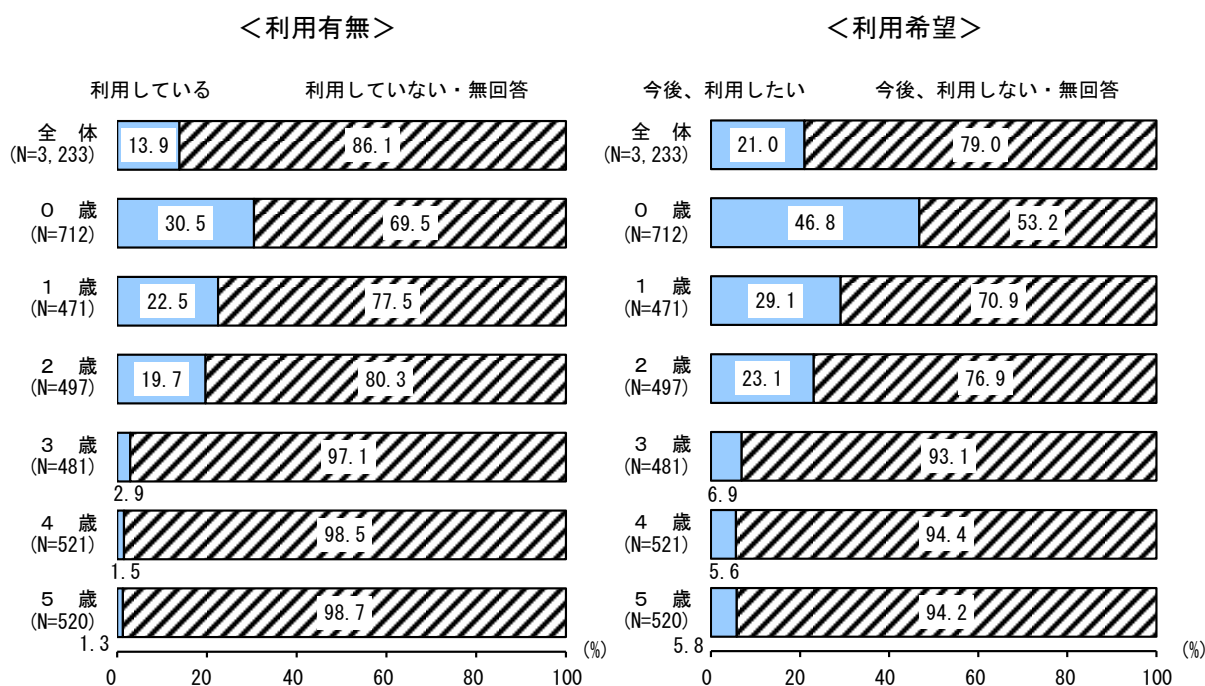
年齢別にみると、“0歳”では現在 30.5%が利用しており、今後の利用希望は 46.8%と5割近くあるが、年齢が上がるるとともに現在の利用率も今後の利用希望も減少している。

区域別にみると、南中学校区で、現在の利用率も今後の利用希望も若干高くなっている。

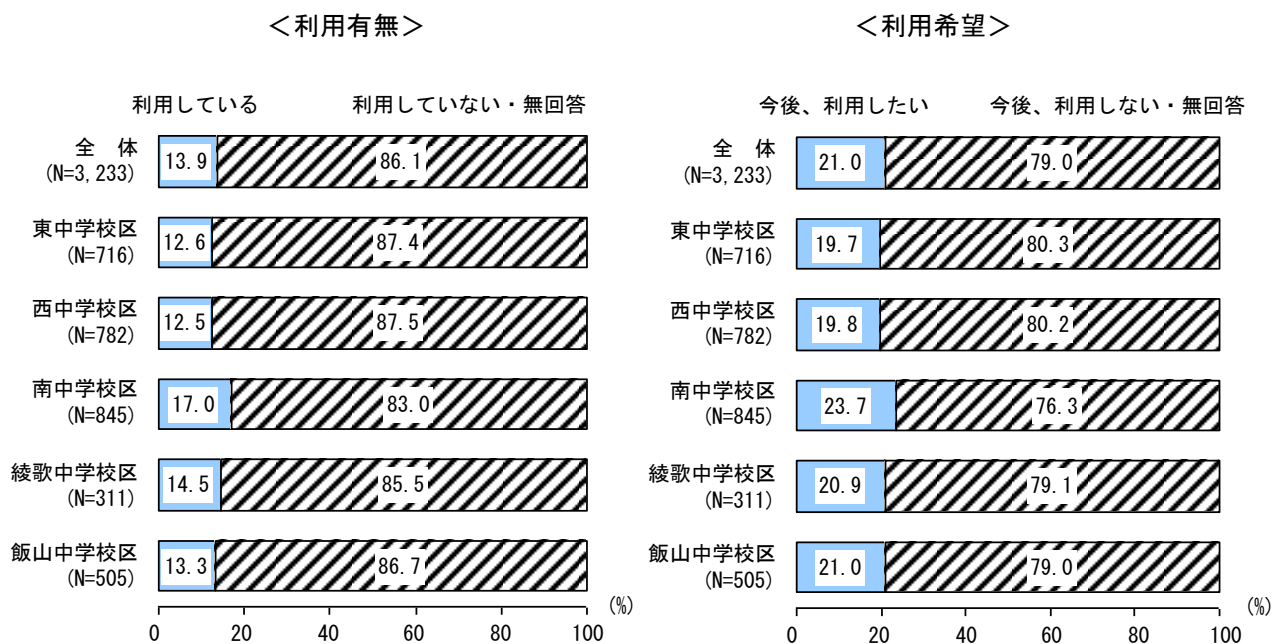
現在利用している具体的な地域の子育て支援事業については、「ウェルカム広場MKB」が 7.9%で最も多くなっている。

今後利用したい地域の子育て支援事業については、「ウェルカム広場MKB」が 12.0%で最も多く、次いで「子育て親育ちほっとスペースコムコムひろば」「子育て支援とらっこ」「城辰支援センター」「飯山北第二支援センター」が2%台となっている。

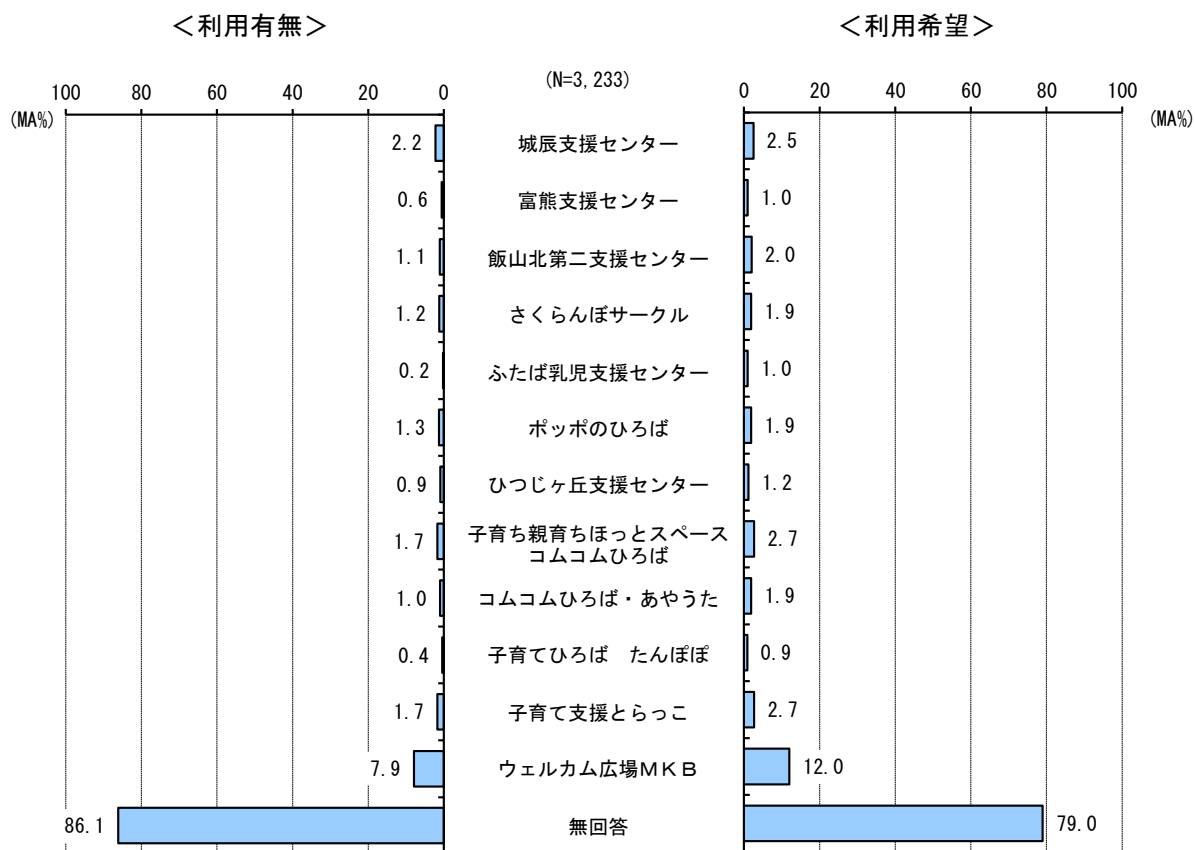
【図 年齢別 地域子育て支援事業の利用有無・今後の利用希望】



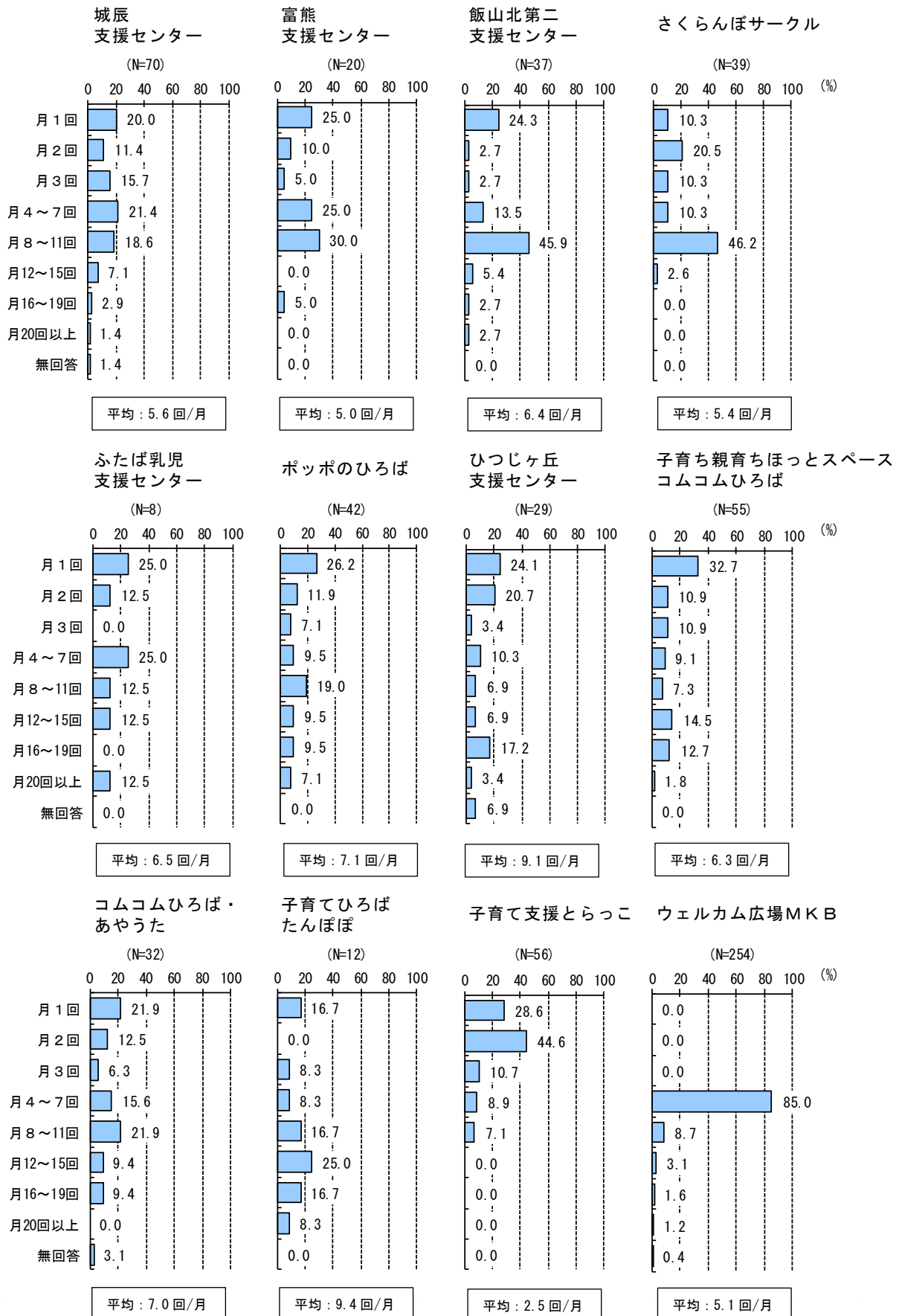
【図 区域別 地域子育て支援事業の利用有無・今後の利用希望】



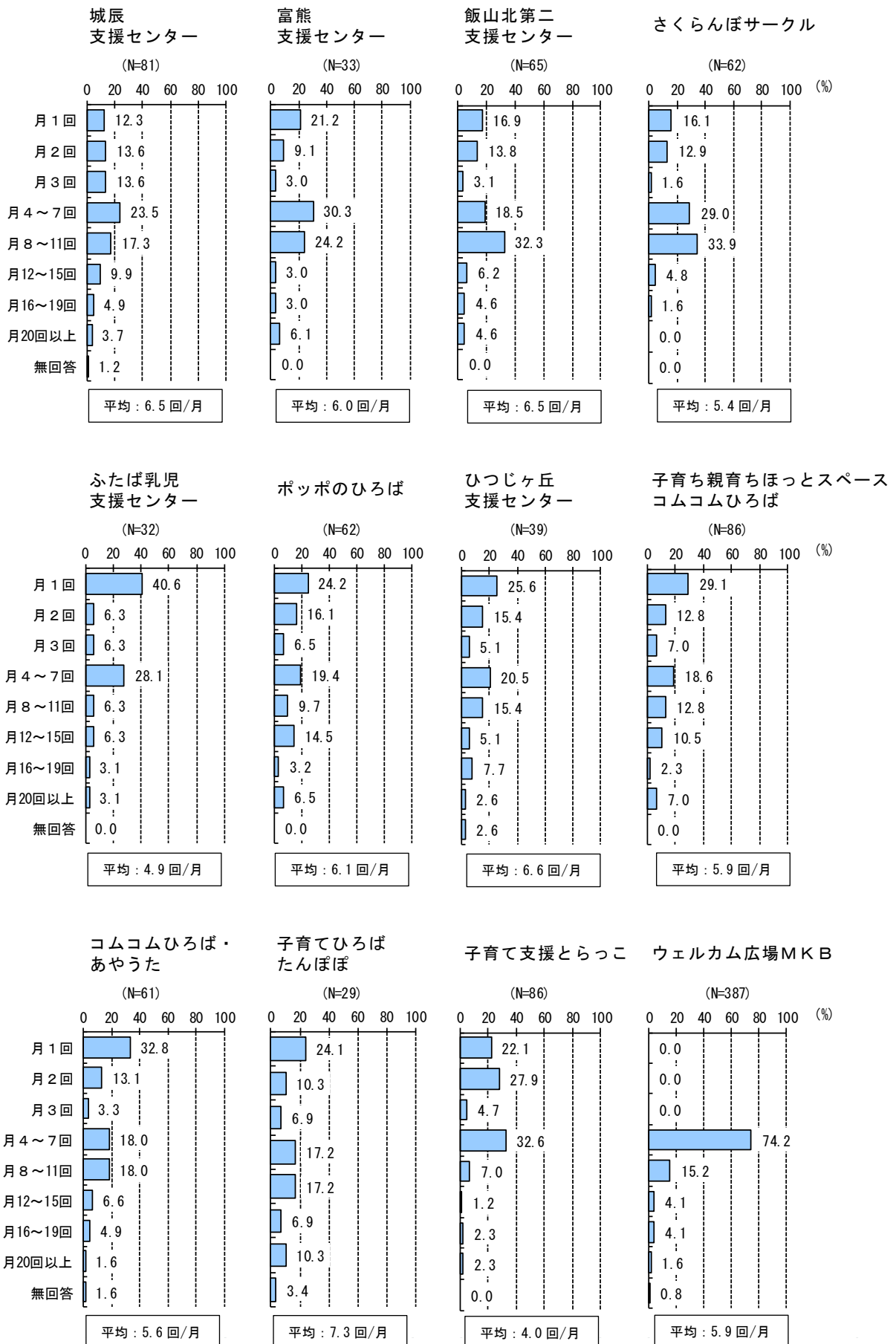
【図 利用している、または利用したい地域の子育て支援事業(MA)】



【図 地域の子育て支援施設の利用日数】



【図 地域の子育て支援施設の希望利用日数】



8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問17は、あて名のお子さんが、来年小学校に入学される方のみお答えください。

問17 あて名のお子さんについて、小学校1年生になったら放課後の時間をどこで過ごさせたいと思いますか。希望する日数を（ ）内に数字でご記入ください。「6. 青い鳥教室」を選んだ方は、希望する時間をご記入ください。

(時間は必ず24時間制でご記入ください。)

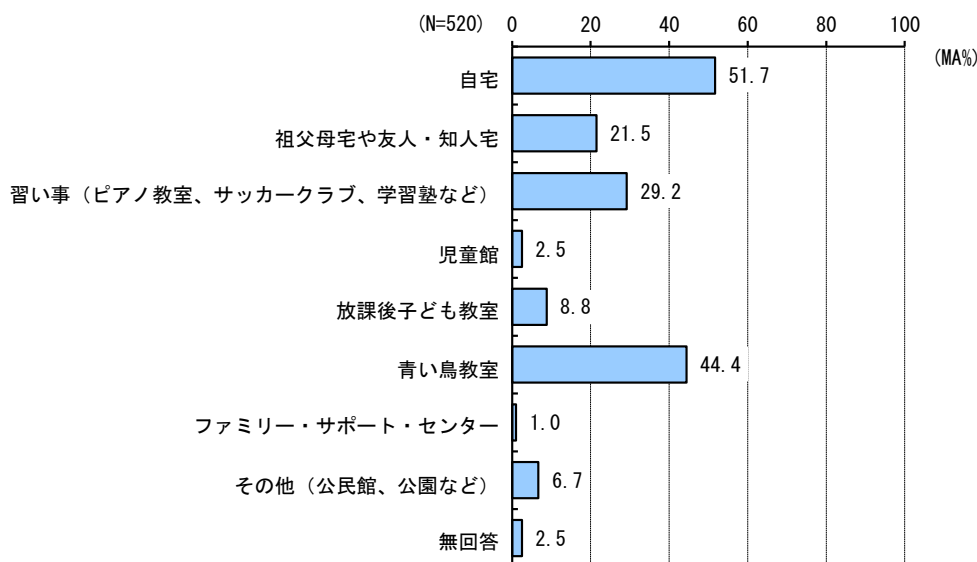
小学校就学後の放課後の過ごし方については、「自宅」が 51.7%で最も多く、次いで「青い鳥教室」44.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」29.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」21.5%となっている。

区域別にみると、すべての区域で「自宅」が最も多いが、東中学校区、西中学校区と飯山中学校区では「青い鳥教室」もほぼ同率で多くなっている。

父母の就労タイプ別にみると、“ひとり親”“フルタイム×フルタイム”では「青い鳥教室」が6割を超えて最も多くなっている。

また、「青い鳥教室」で過ごさせたいと回答した人が希望する利用時間は「18時まで」が40.3%で最も多くなっている。

【図 小学校就学後の放課後の過ごし方(MA)】



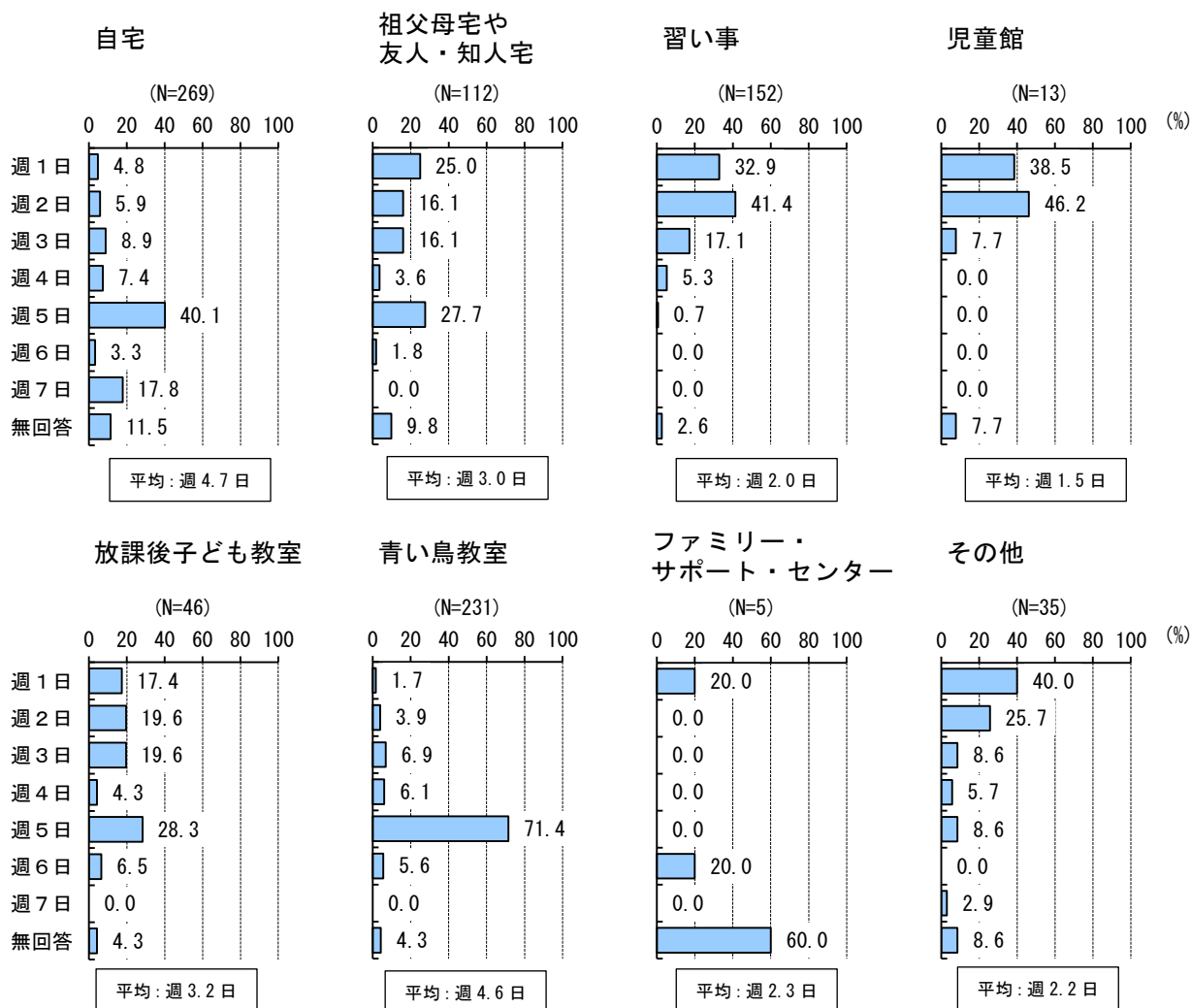
【表 区域別・父母の就労タイプ別 小学校就学後の放課後の過ごし方(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

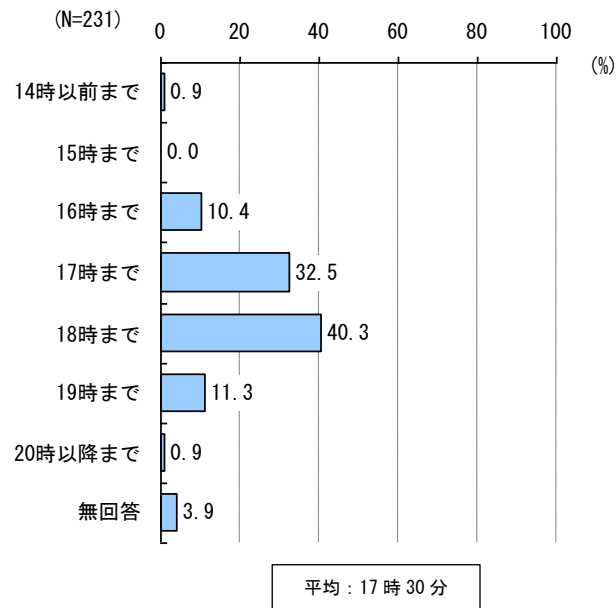
		全体 (N)	自宅	祖 父 母 宅 や 友 人 ・ 知 人 宅	習 い 事 (ピ ア ノ 教 室、 サ ツ カ ー ク ラ ブ、 学 習 塾 な ど)	児 童 館	放 課 後 子 ど も 教 室	青 い 鳥 教 室	セ ン タ ー ・ サ ポ ー ト ・ フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	公 園 な ど (公 民 館、 そ の 他)	無 回 答
全 体		520	51.7	21.5	29.2	2.5	8.8	44.4	1.0	6.7	2.5
区 域	東中学校区	115	49.6	20.9	32.2	1.7	12.2	45.2	2.6	9.6	4.3
	西中学校区	135	48.1	20.7	31.1	1.5	6.7	47.4	0.7	8.1	3.0
	南中学校区	116	57.8	23.3	25.9	0.9	5.2	38.8	0.9	1.7	2.6
	綾歌中学校区	65	55.4	27.7	30.8	0.0	9.2	40.0	0.0	6.2	0.0
	飯山中学校区	88	50.0	15.9	26.1	9.1	11.4	50.0	0.0	8.0	1.1
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	56	26.8	16.1	14.3	0.0	10.7	66.1	0.0	3.6	0.0
	フルタイム×フルタイム	148	24.3	23.6	14.9	0.0	7.4	66.2	0.7	0.7	2.7
	フルタイム×パートタイム	157	57.3	22.3	30.6	1.9	9.6	42.0	0.6	5.7	2.5
	専業主婦(夫)	124	84.7	22.6	50.8	7.3	7.3	15.3	1.6	17.7	3.2
	その他	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

【図 放課後を過ごさせたい場所別 過ごさせたい日数】



【図 小学校就学後の青い鳥教室の利用希望時間帯】



(2) 青い鳥教室の土曜日・夏休みなどの利用意向

問17で「6. 青い鳥教室」に○をつけた方におうかがいします。

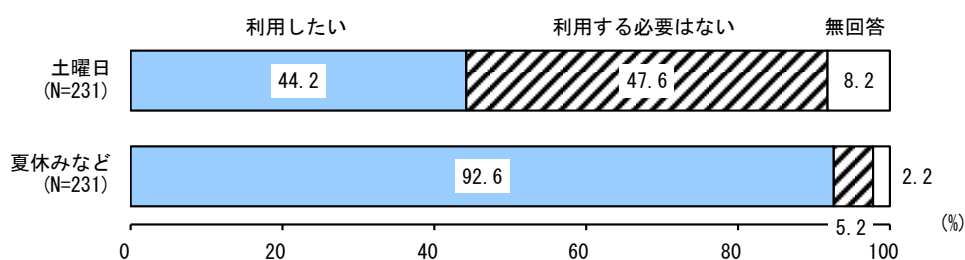
問17-1 青い鳥教室について、土曜日や、夏休みなどの利用希望はありますか。サービス利用には、一定の利用料がかかります。

青い鳥教室の土曜日の利用意向については、「利用する必要はない」が47.6%で、「利用したい」44.2%をわずかに上回っている。

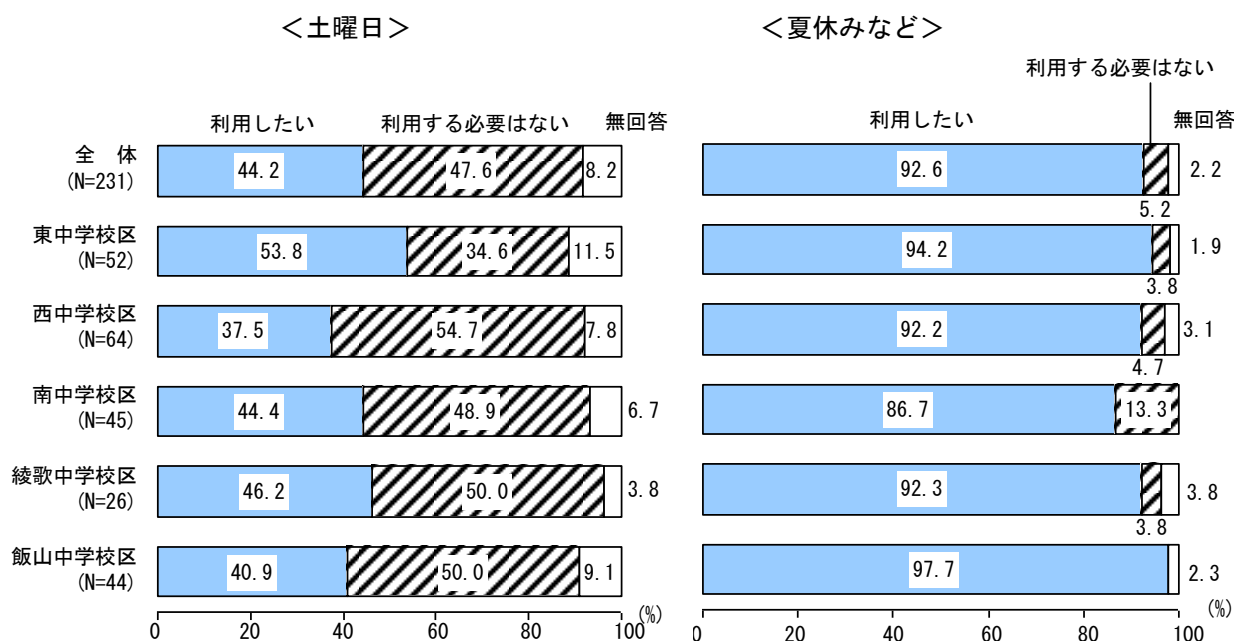
夏休みなどの利用意向については、「利用したい」が92.6%を占めている。

区域別にみると、土曜日は、東中学校区で「利用したい」が多く5割を超えている。夏休みなどは、すべての区域で「利用したい」が多数を占めており、特に飯山中学校区では97.7%となっている。

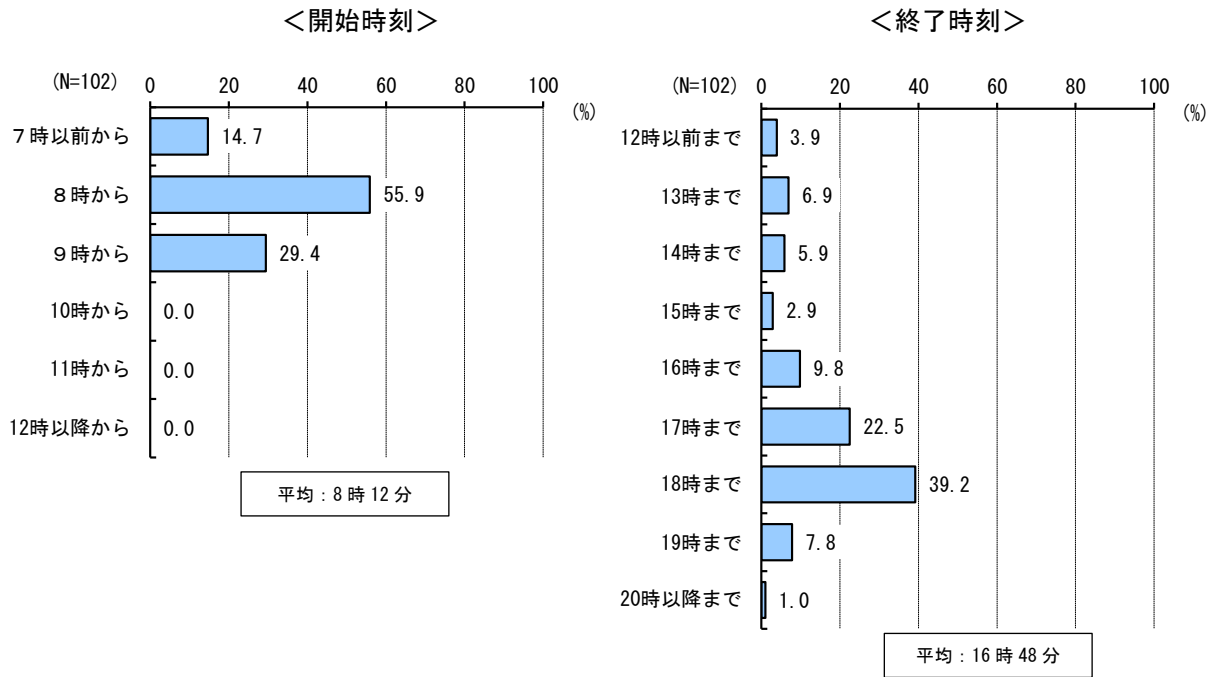
【図 青い鳥教室の土曜日・夏休みなどの利用意向】



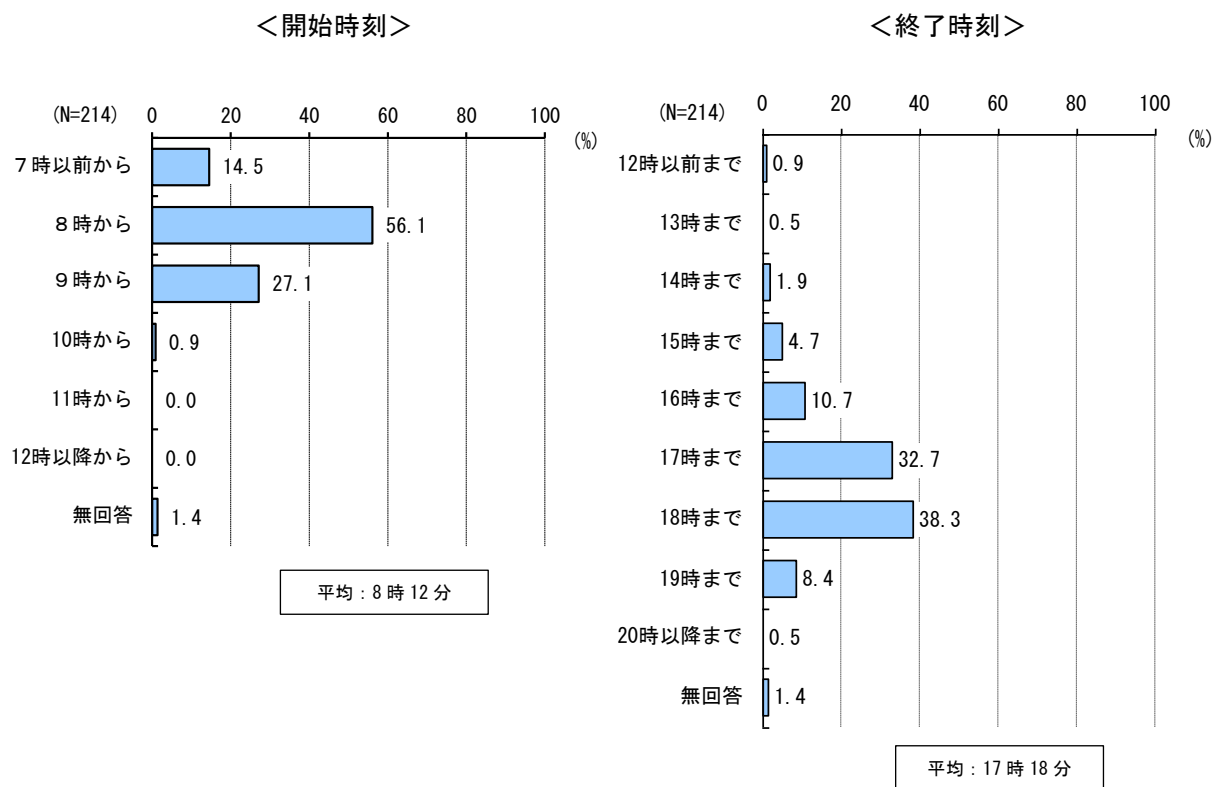
【図 区域別 青い鳥教室の土曜日・夏休みなどの利用意向】



【図 土曜日の青い鳥教室の希望時間帯】



【図 夏休みなどの青い鳥教室の希望時間帯】



9. 職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

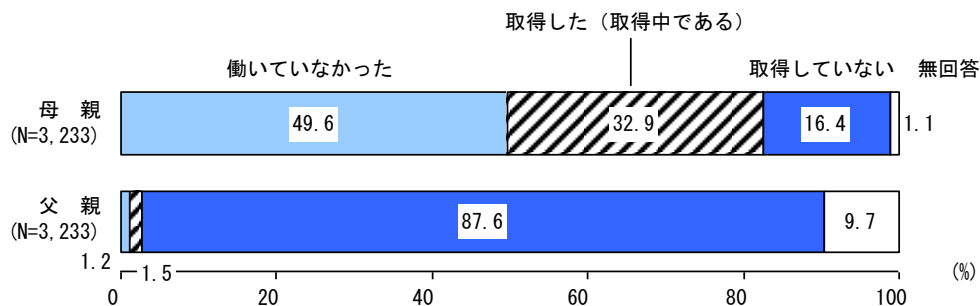
問18 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由について下の表内から当てはまる番号を口内にご記入ください。

育児休業の取得については、母親では、「働いていなかった」が49.6%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」32.9%、「取得していない」16.4%となっている。父親では、「取得していない」が87.6%と多数を占め、「取得した（取得中である）」は1.5%にすぎない。

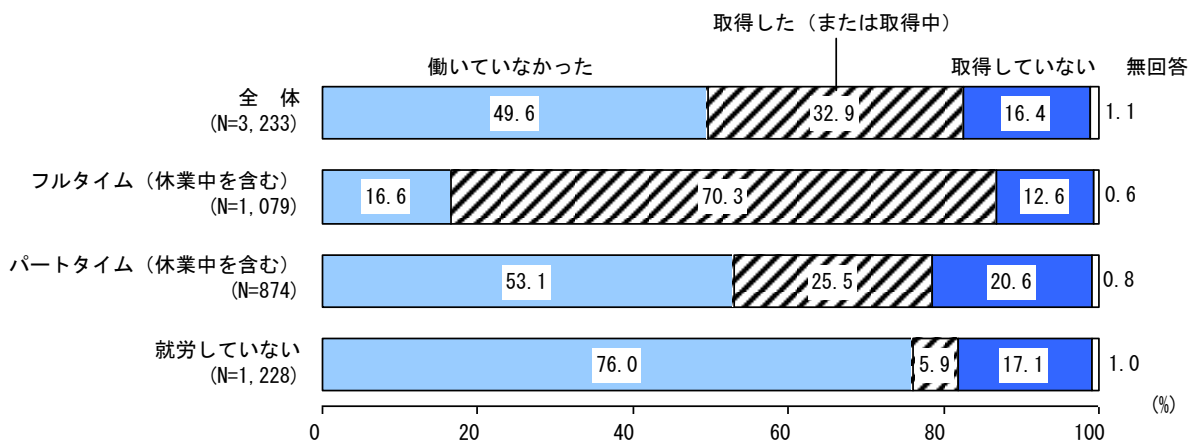
母親の就労状況別にみると、“フルタイム（休業中を含む）”に比べて“パートタイム（休業中を含む）”では取得率は低い。

育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が39.7%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」26.2%となっている。一方父親では、「仕事が忙しかった」が32.9%で最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」32.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」28.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」28.5%などとなっており、理由は母親に比べて多岐にわたっている。

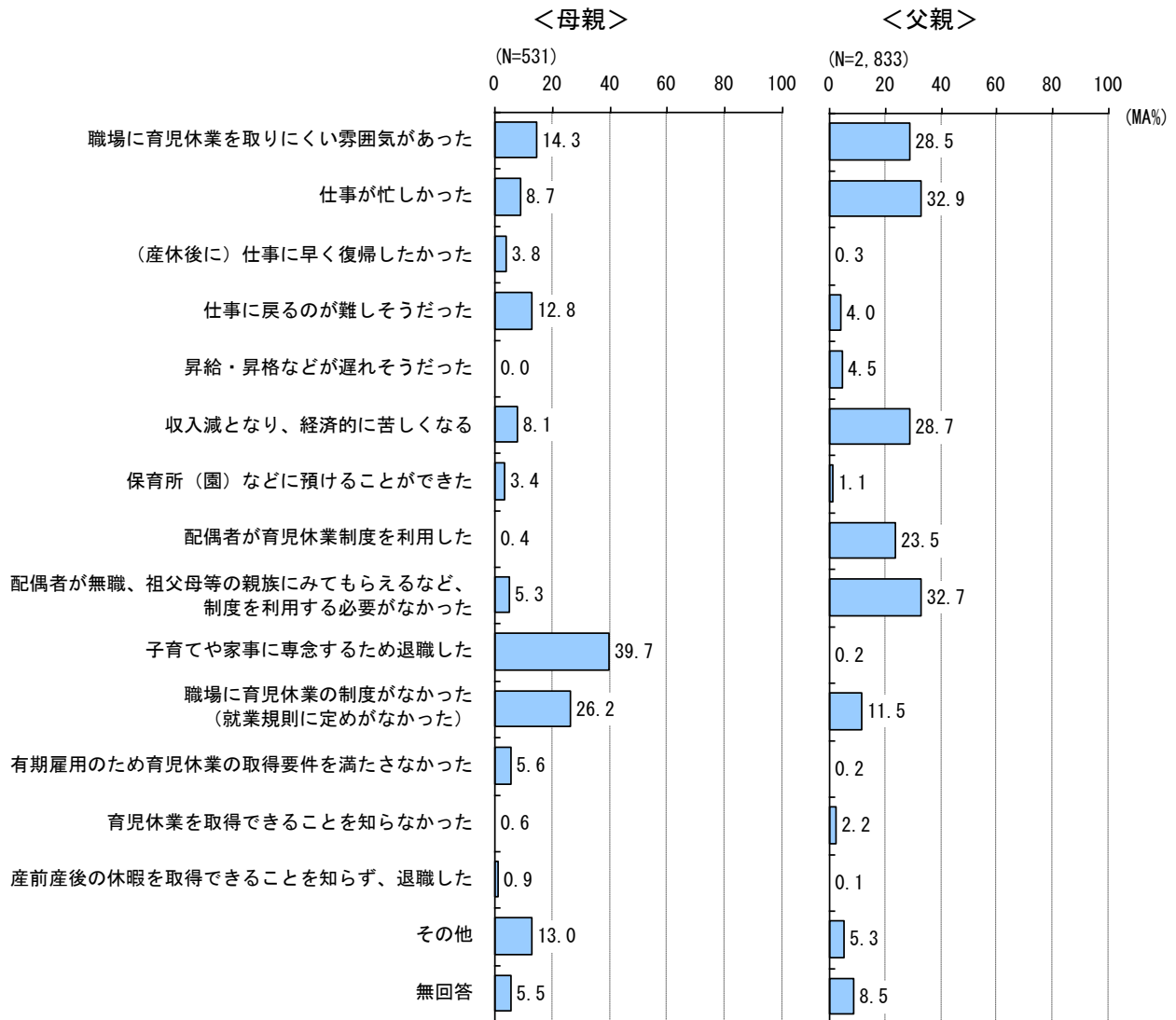
【図 育児休業の取得状況】



【図 母親の就労状況別 育児休業の取得状況】



【図 育児休業を取得していない理由(MA)】



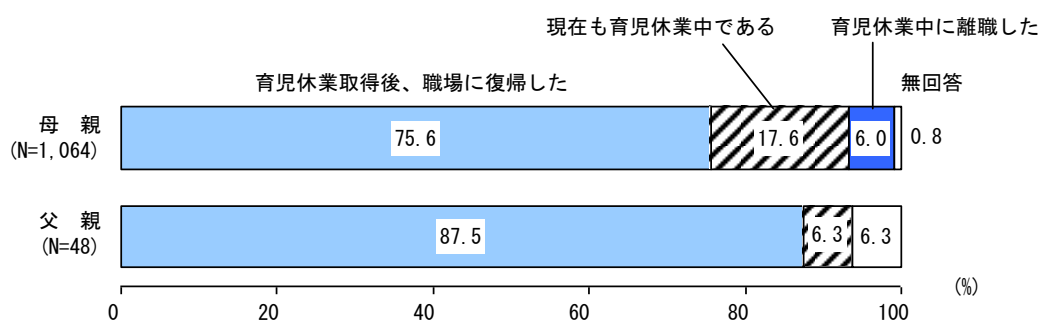
(2) 育児休業後の職場復帰状況

問18で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方におうかがいします。

問18-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親・父親それぞれ○は1つ）

育児休業取得者の職場復帰状況については、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が多数を占めているが、母親では「育児休業中に離職した」が6.0%みられる。

【図 育児休業後の職場復帰状況】



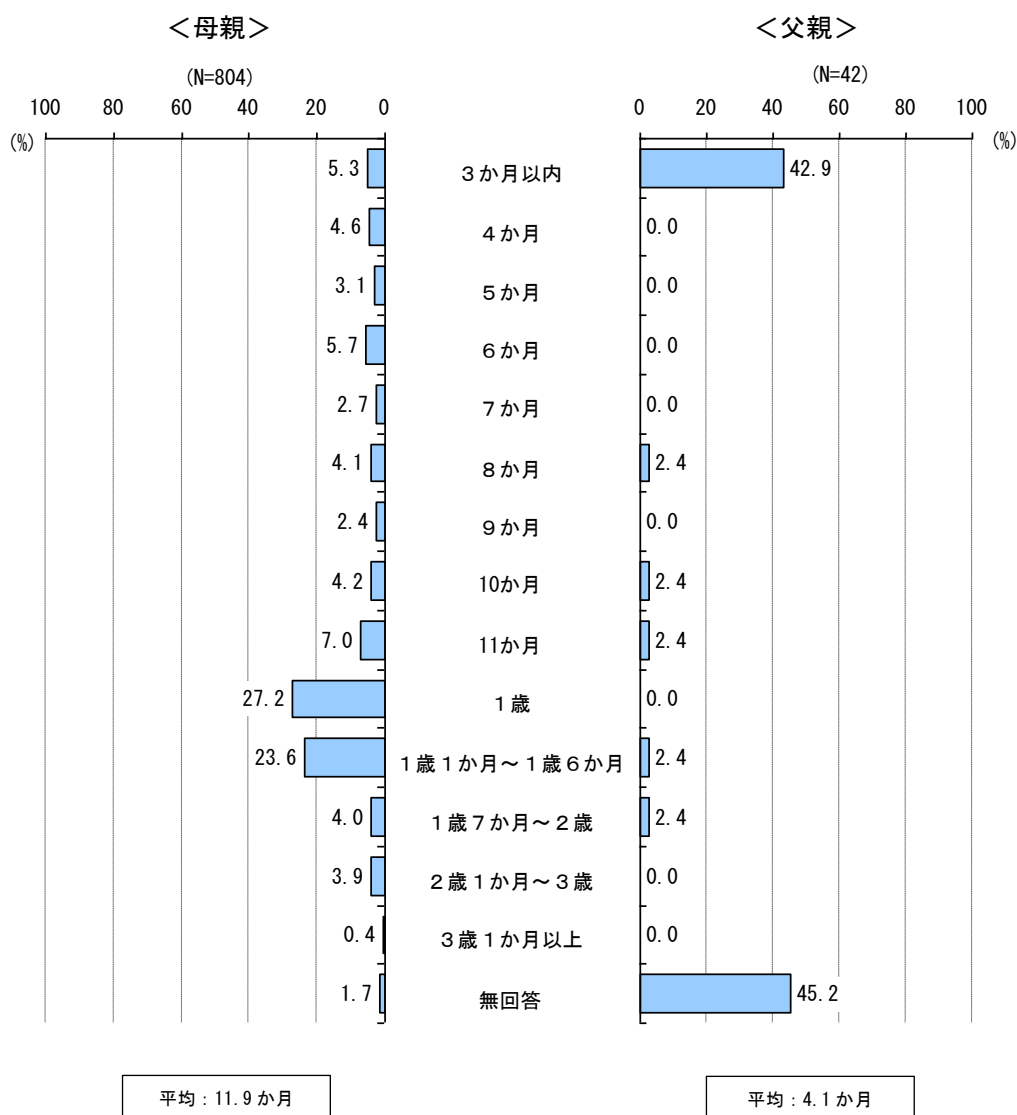
(3) 育児休業から復帰した際の子どもの年齢

問18-1で「育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におうかがいします。

問18-2 育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。()内に数字でご記入ください。

育児休業から復帰した際の子どもの年齢(月齢)については、母親では、「1歳」が27.2%で最も多く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」23.6%となっており、平均は11.9か月である。一方父親は「3か月以内」に集中している。

【図 育児休業から復帰した際の子どもの年齢(月齢)】

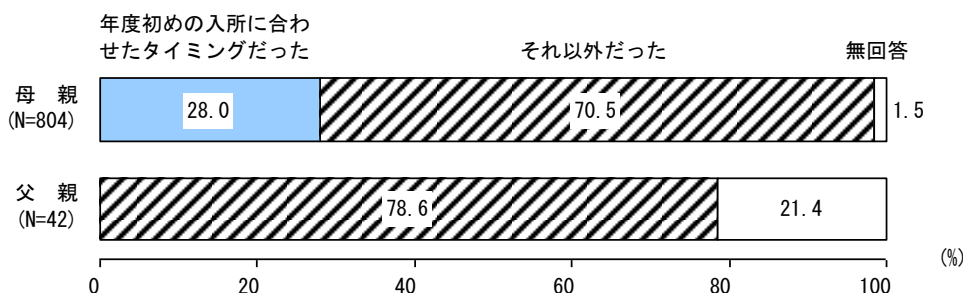


(4) 育児休業からの復帰のタイミング

問18-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（母親・父親それぞれ〇は1つ）
 ※年度初めでの認可保育所（園）入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。
 また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

育児休業からの復帰のタイミングについては、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が28.0%、「それ以外だった」が70.5%となっている。父親では「それ以外だった」が78.6%を占め、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は皆無である。

【図 育児休業からの復帰のタイミング】

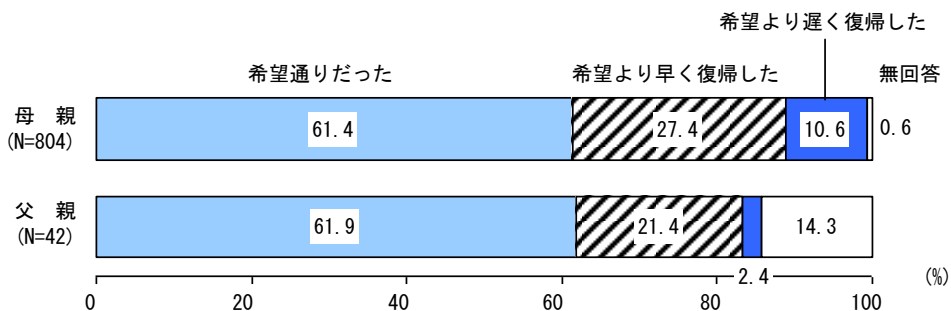


(5) 育児休業からの復帰時期

問18-4 育児休業から職場に復帰した時期は希望通りでしたか。

育児休業からの復帰時期は、母親・父親ともに「希望通りだった」が6割を占めて最も多くなっている。次いで「希望より早く復帰した」が母親27.4%、父親21.4%、「希望より遅く復帰した」が母親10.6%、父親2.4%となっている。

【図 育児休業からの復帰時期】



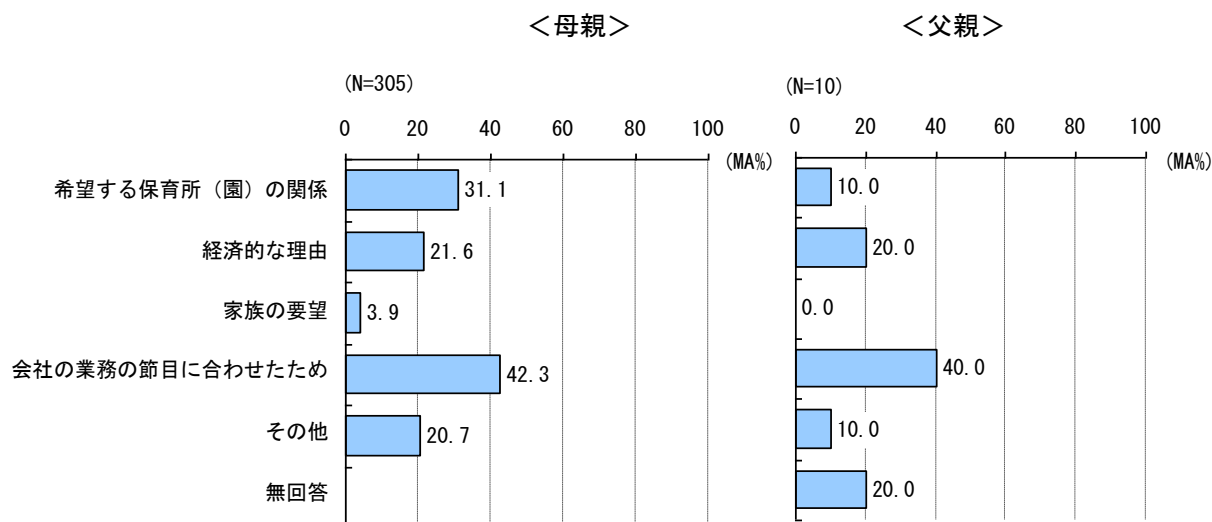
(6) 復帰時期が希望と実際が異なった理由

問18-4で「2.」「3.」に○をつけた方におうかがいします。

問18-5 職場復帰時期が、希望と実際が異なった理由は何ですか。(○はいくつでも)

復帰時期が希望と実際が異なった理由は、母親・父親ともに「会社の業務の節目に合わせたため」が最も多く、母親42.3%、父親40.0%となっている。母親ではこれに次いで「希望する保育所(園)の関係」31.1%、「経済的な理由」21.6%と続いている。

【図 復帰時期が希望と実際が異なった理由(MA)】

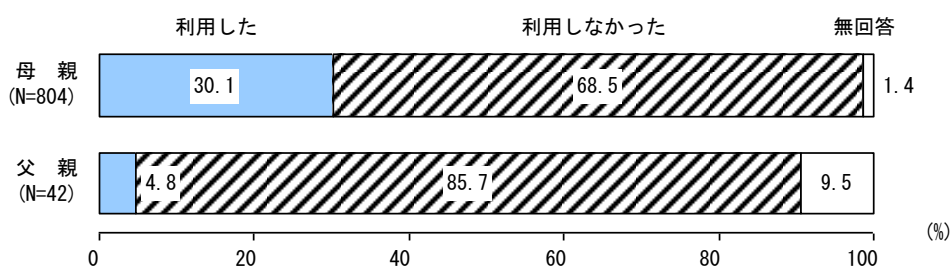


(7) 短時間勤務制度の利用有無

問18-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におうかがいします。
 問18-6 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。

短時間勤務制度については、母親では「利用した」が30.1%、「利用しなかった」が68.5%となっている。父親では、「利用した」が4.8%、「利用しなかった」が85.7%となっている。

【図 短時間勤務制度の利用有無】

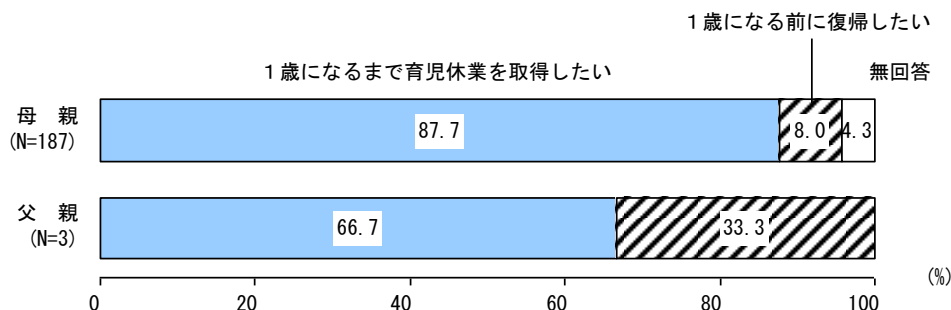


(8) 1歳で必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得

問18-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におうかがいします。
 問18-7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。

1歳で必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得については、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が9割弱、「1歳になる前に復帰したい」が8.0%となっている。

【図 1歳で必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得】



(9) 育児休業給付及び育児休業期間中の保険料免除の認知度

全員におうかがいします。

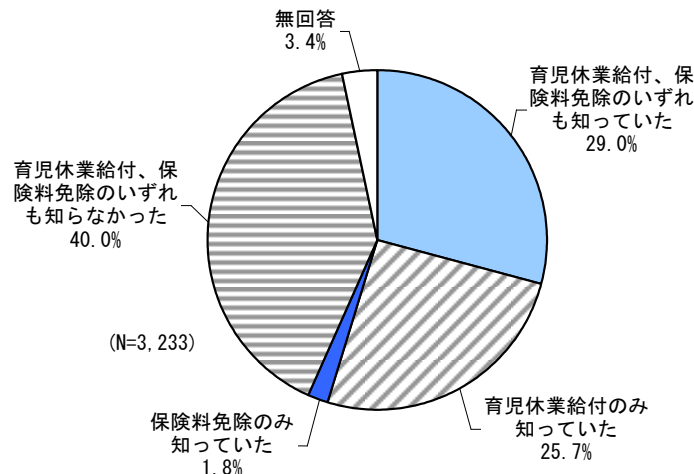
問19 子どもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われていないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、育児休業期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知ですか。（〇は1つ）

育児休業給付及び育児休業期間中の保険料免除の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が40.0%で最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」29.0%、「育児休業給付のみ知っていた」25.7%の順になっている。

育児休業給付の認知度（「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」＋「育児休業給付のみ知っていた」）は5割半ば、保険料免除の認知度（「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」＋「保険料免除のみ知っていた」）は約3割となっている。

父母の就労タイプ別にみると、“フルタイム×フルタイム”の場合に「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が高くなっている。

【図 育児休業給付及び育児休業期間中の保険料免除の認知度】



【表 父母の就労タイプ別 育児休業給付及び育児休業期間中の保険料免除の認知度】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	も知育 知料児 つ免休 て除業 いの給 たい付 ずれ保	知育 つ児 て休 業 給 付 の み	知保 つ險 て料 い免 除の み	も陰育 知料児 ら免休 な除業 かの給 つ付 たずれ保	無 回 答
全 体		3,233	29.0	25.7	1.8	40.0	3.4
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	200	17.5	22.0	3.0	54.5	3.0
	フルタイム×フルタイム	927	53.3	21.9	1.9	20.9	1.9
	フルタイム×パートタイム	755	21.9	26.6	1.7	46.9	2.9
	専業主婦（夫）	1,115	17.8	29.3	1.3	48.0	3.6
	その他	20	20.0	25.0	5.0	45.0	5.0

※全体平均より10%以上高い項目に網掛けをしている。

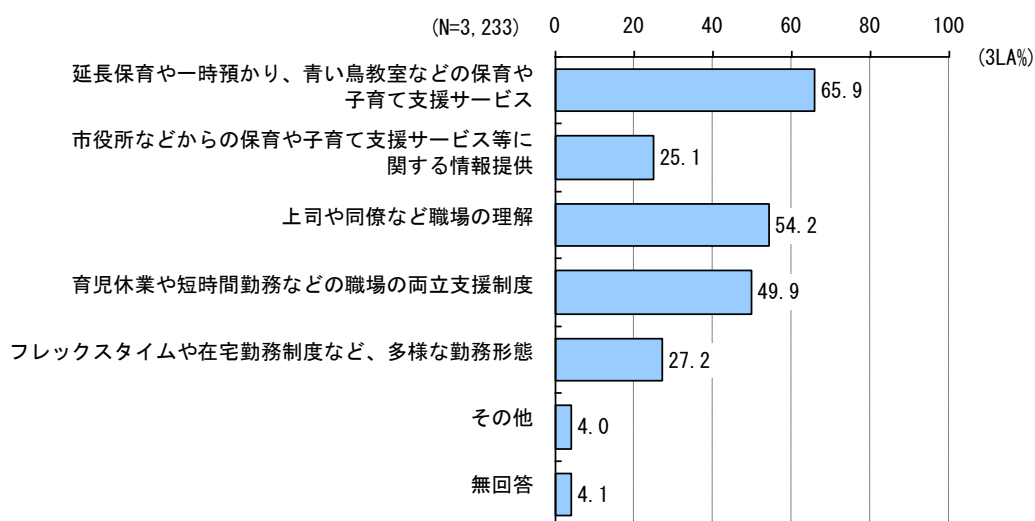
(10) 仕事と子育てを両立していくために充実してほしいこと

問20 仕事と子育てを両立していくために、行政や職場に改善や充実を図ってほしいと思うのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

仕事と子育てを両立していくために充実してほしいことについては、「延長保育や一時預かり、青い鳥教室などの保育や子育て支援サービス」が65.9%で最も多く、次いで「上司や同僚など職場の理解」54.2%、「育児休業や短時間勤務などの職場の両立支援制度」49.9%となっている。

父母の就労タイプ別にみると、どの層も全体と同様の傾向を示している。

【図 仕事と子育てを両立していくために充実してほしいこと(3LA)】



【表 父母の就労タイプ別 仕事と子育てを両立していくために充実してほしいこと(3LA)】

(単位:Nは人、他は%)

		全体(N)	延長保育や一時預かり、青い鳥教室などの保育や子育て支援サービス	市役所などからの保育や子育て支援サービス等に関する情報提供	上司や同僚など職場の理解	育児休業や短時間勤務などの職場の両立支援制度	フレックスタイムや在宅勤務制度など、多様な勤務形態	その他	無回答
全体		3,233	65.9	25.1	54.2	49.9	27.2	4.0	4.1
就労父母のタイプ	ひとり親	200	72.5	31.0	55.0	41.5	23.5	1.5	2.0
	フルタイム×フルタイム	927	71.3	20.8	54.2	50.6	28.3	5.4	2.0
	フルタイム×パートタイム	755	65.3	23.2	54.3	47.0	26.2	4.1	3.8
	専業主婦(夫)	1,115	62.1	27.5	55.6	53.6	29.1	3.1	4.8
	その他	20	65.0	45.0	55.0	45.0	10.0	0.0	5.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

10. 幼児教育・保育施策について

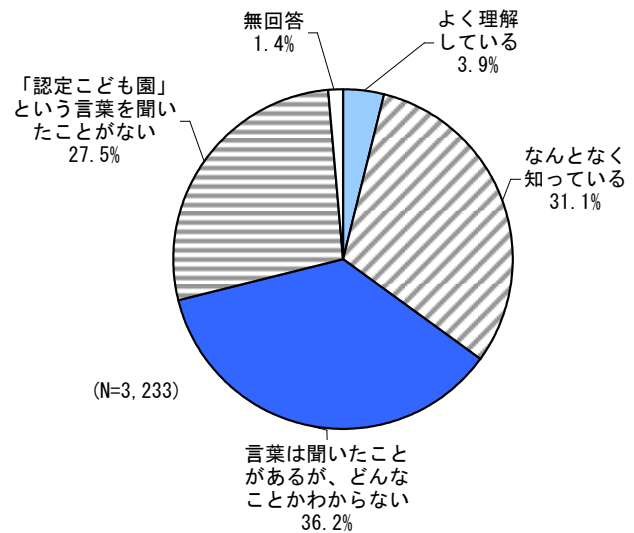
(1) 認定こども園の認知状況

問21 あなたは「認定こども園」について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

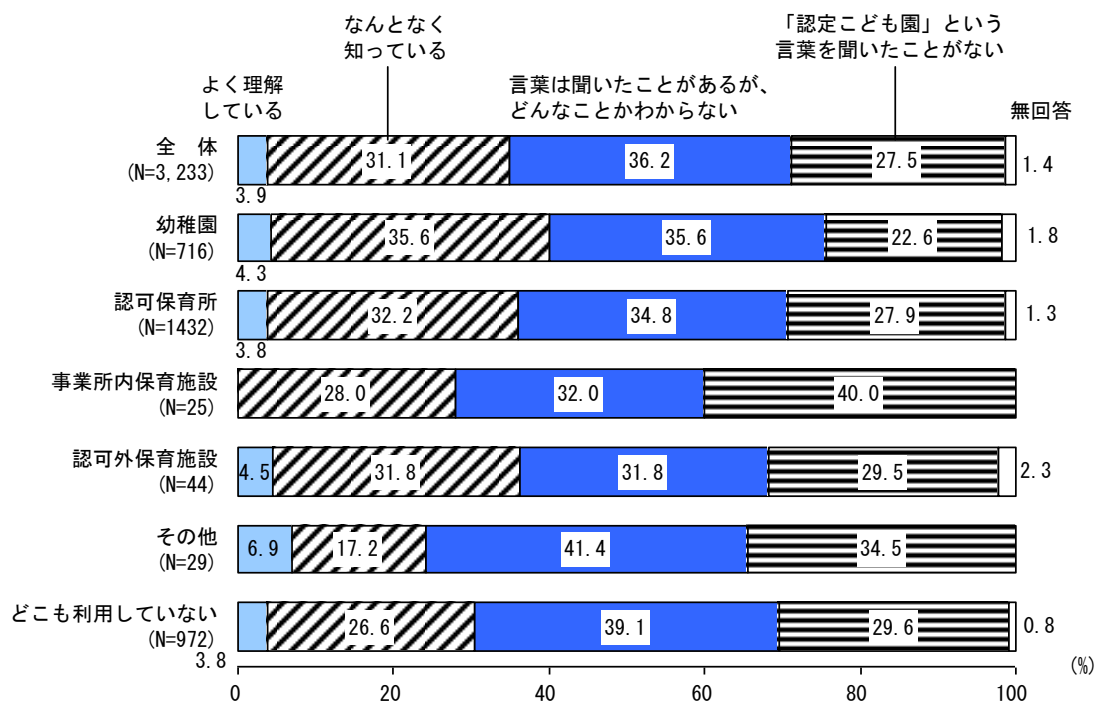
【図 認定こども園の認知状況】

認定こども園の認知状況については、「言葉は聞いたことがあるが、どんなことかわからない」が36.2%で最も多く、次いで「なんとなく知っている」31.1%、「認定こども園」という言葉を聞いたことがない」27.5%の順になっている。

現在利用している教育・保育サービス別にみると、どの層でも「よく理解している」はごく少数であるが、「なんとなく知っている」の割合は“幼稚園”利用者で比較的高くなっており、逆に「認定こども園」という言葉を聞いたことがない」割合は“事業所内保育施設”利用者で高くなってきている。



【図 現在利用している教育・保育サービス別 認定こども園の認知状況】

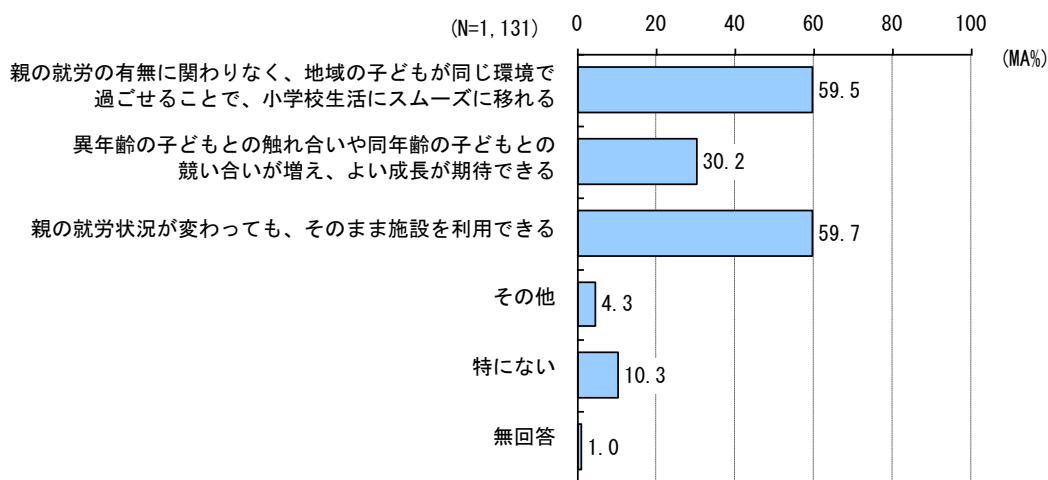


(2) 認定こども園について効果があると思うこと

問21で「1.」「2.」に○をつけた方におうかがいします。
 問21-1 認定こども園について、あなたはどんな効果があると思いますか。(○はいくつでも)

認定こども園について効果があると思うことについては、「親の就労状況が変わっても、そのまま施設を利用できる」「親の就労の有無に関わりなく、地域の子どもが同じ環境で過ごせることで、小学校生活にスムーズに移れる」がともに約6割と多くなっている。

【図 認定こども園について効果があると思うこと (MA)】



【表 現在利用している教育・保育サービス別 認定こども園について効果があると思うこと (MA)】

(単位: Nは人、他は%)

教育・保育サービス	全体 (N)	ズでじな親の成長が期待できる	成の異の合異の親の成長が期待できる	でも親の就労状況が変わってもそのまま施設を利用できる	その他	特にない	無回答
全体	1,131	59.5	30.2	59.7	4.3	10.3	1.0
幼稚園	286	59.4	28.0	63.3	4.9	8.4	0.7
認可保育所(園)	516	62.4	27.3	56.2	4.8	11.6	1.4
事業所内保育施設	7	42.9	71.4	42.9	0.0	0.0	0.0
認可外保育施設	16	31.3	43.8	62.5	6.3	18.8	0.0
その他	7	57.1	28.6	85.7	0.0	14.3	0.0
どこも利用していない	296	56.4	35.8	61.5	3.0	9.8	0.7

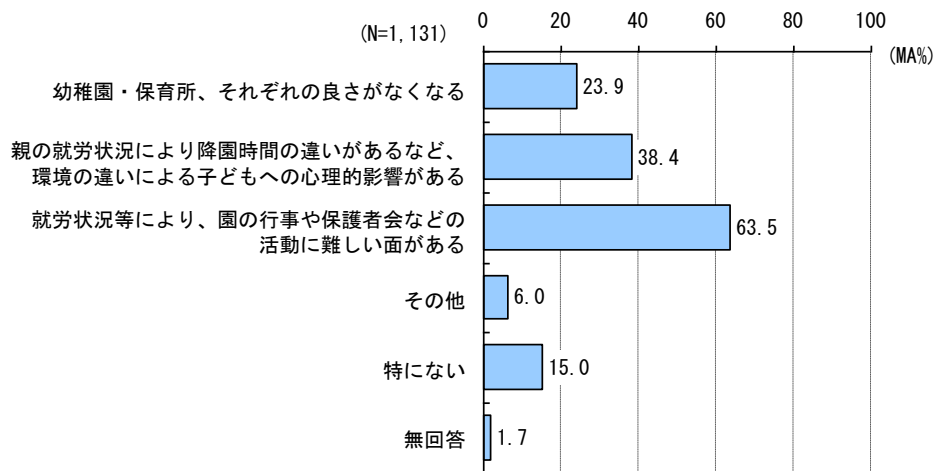
※全体平均より 10%以上高い項目に網掛けをしている

(3) 認定こども園についての不安や懸念

問21-2 認定こども園について、あなたはどんな不安や懸念がありますか。(〇はいくつでも)

認定こども園についての不安や懸念については、「就労状況等により、園の行事や保護者会などの活動に難しい面がある」が63.5%で最も多く、次いで「親の就労状況により降園時間の違いがあるなど、環境の違いによる子どもへの心理的影響がある」38.4%、「幼稚園・保育所、それぞれの良さがなくなる」23.9%となっている。

【図 認定こども園についての不安や懸念(MA)】



【表 現在利用している教育・保育サービス別 認定こども園についての不安や懸念(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

教育・保育サービス	全体(N)	幼稚園・保育所、それぞれの良さがなくなる	環境の違いによる子どもへの心理的影響がある	親の就労状況により降園時間の違いがあるなど、園の行事や保護者会などの活動に難しい面がある	その他	特にない	無回答
全体	1,131	23.9	38.4	63.5	6.0	15.0	1.7
幼稚園	286	24.1	42.3	64.3	7.0	11.2	0.3
認可保育所(園)	516	25.4	40.1	64.0	6.4	15.5	2.9
事業所内保育施設	7	0.0	71.4	71.4	0.0	0.0	0.0
認可外保育施設	16	12.5	6.3	62.5	6.3	31.3	0.0
その他	7	14.3	28.6	28.6	0.0	42.9	14.3
どども利用していない	296	22.3	33.1	62.5	4.7	16.6	0.7

※全体平均より10%以上高い項目に網掛けをしている

(4) 幼稚園における給食の実施について

現在、丸亀市においては、一部の幼稚園（本島・綾歌・飯山地区）で給食（小学校のような給食）を実施しています。（平成27年度から全幼稚園で実施予定）

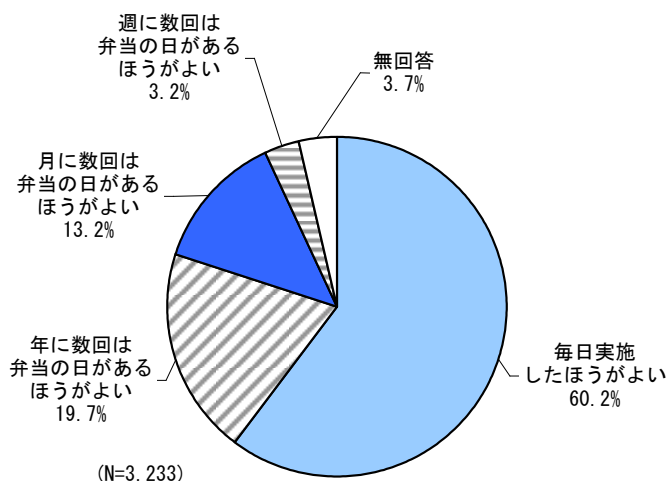
問22 あなたは幼稚園においてどのように給食を実施したほうがよいと思いますか。

（○は1つ）（現在、幼稚園をご利用でない方もお答えください。）

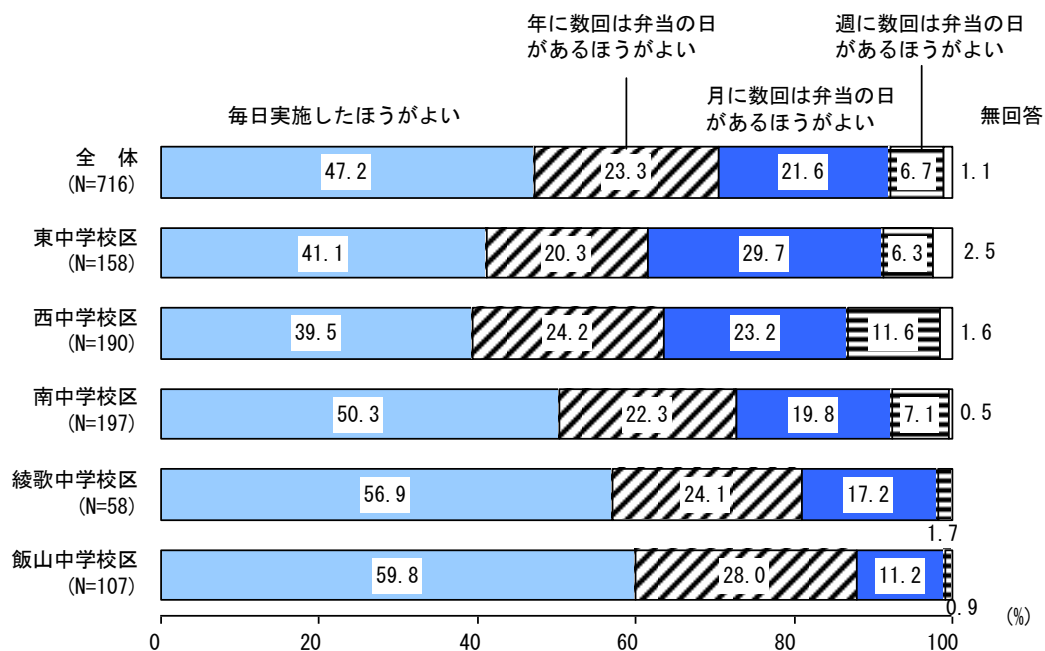
幼稚園における給食の実施については、「毎日実施したほうがよい」が60.2%で最も多く、次いで「年に数回は弁当の日があるほうがよい」19.7%、「月に数回は弁当の日があるほうがよい」13.2%となっている。

幼稚園利用者のみについて区域別にみると、「毎日実施したほうがよい」の割合は、飯山中学校区や綾歌中学校区で高く、東中学校区や西中学校区で低くなっている。

【図 幼稚園における給食の実施について】



【図 区域別 幼稚園における給食の実施について（幼稚園利用者のみ）】



11. 子育て全般について

(1) 子育てについての不安や悩み

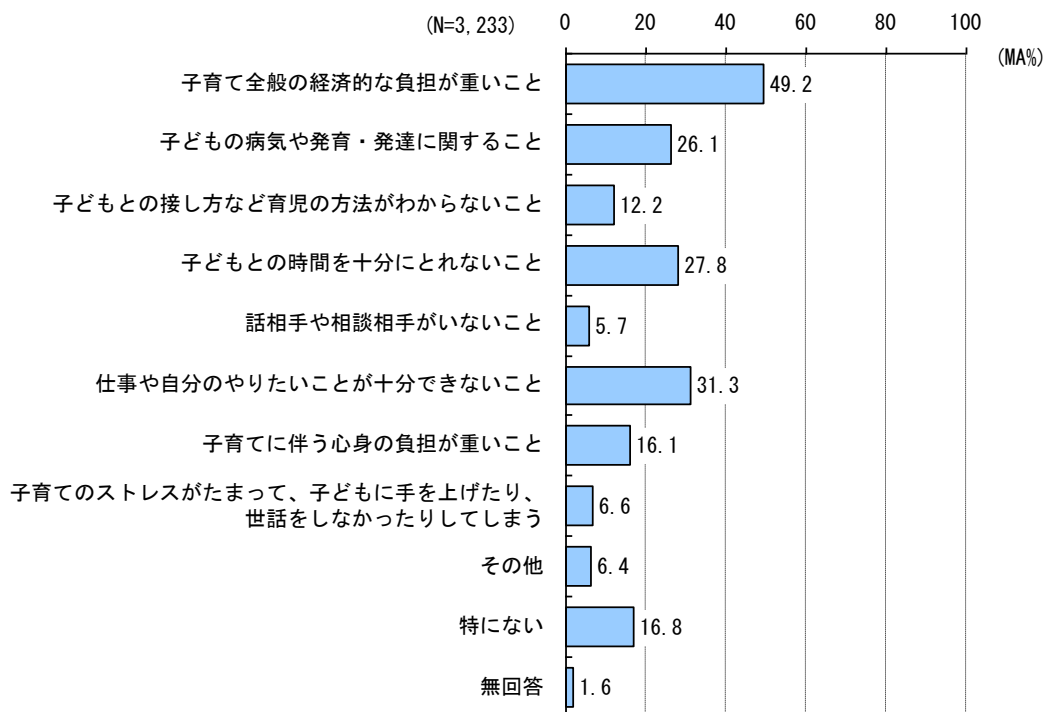
問23 子育てについて、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

子育てについての不安や悩みについては、「子育て全般の経済的な負担が重いこと」が49.2%で最も多く、半数近くに達している。次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」31.3%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」27.8%、「子どもの病気や発育・発達に関すること」26.1%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢で「子育て全般の経済的な負担が重いこと」が最も多くなっている。割合に着目すると、「子どもの病気や発育・発達に関すること」の割合は0歳で33.8%と最も高くなっている。「子どもとの時間を十分にとれないこと」については、年齢があがるほど高くなり、5歳では36.9%となっている。

父母の就労タイプ別にみると、“フルタイム×フルタイム”では「子どもとの時間を十分にとれないこと」が53.6%で最大の悩みとなっている。

【図 子育てについての不安や悩み (MA)】



【表 年齢別・父母の就労タイプ別 子育てについての不安や悩み (MA)】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	子育て全般の経済的な負担が重いこと	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもとの接し方など育児の方法がわからないこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	話相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	子育てに伴う心身の負担が重いこと	子育てのストレスがたまったり、子どもに手を上げたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	その他	特にない	無回答
全 体		3,233	49.2	26.1	12.2	27.8	5.7	31.3	16.1	6.6	6.4	16.8	1.6
年 齢	0歳	712	49.4	33.8	14.2	15.3	7.7	30.9	16.2	4.4	8.0	18.3	1.4
	1歳	471	43.3	24.4	10.6	27.4	5.7	32.9	16.6	5.1	7.0	15.7	1.1
	2歳	497	50.1	27.0	13.9	30.2	6.0	35.6	21.7	8.0	8.5	14.5	1.4
	3歳	481	50.3	22.0	13.1	27.9	3.3	32.2	17.7	9.4	5.6	18.1	1.5
	4歳	521	50.7	22.1	10.4	32.8	5.4	30.5	12.3	7.1	4.4	17.3	1.0
	5歳	520	50.8	24.2	10.8	36.9	5.4	26.3	12.7	6.7	4.4	16.9	2.9
就 労 父 母 の 就 労 タイ プ	ひとり親	200	68.5	26.0	13.5	43.0	8.5	36.5	15.5	7.0	6.5	11.5	1.0
	フルタイム×フルタイム	927	44.3	25.8	9.4	53.6	3.5	26.5	14.1	5.8	6.6	13.6	1.2
	フルタイム×パートタイム	755	55.5	24.9	11.5	24.8	4.8	31.4	15.4	6.5	4.2	16.8	1.5
	専業主婦(夫)	1,115	44.9	27.3	14.6	6.4	7.4	33.8	17.8	6.5	7.0	20.9	1.3
	その他	20	60.0	30.0	5.0	5.0	5.0	30.0	5.0	10.0	5.0	20.0	15.0

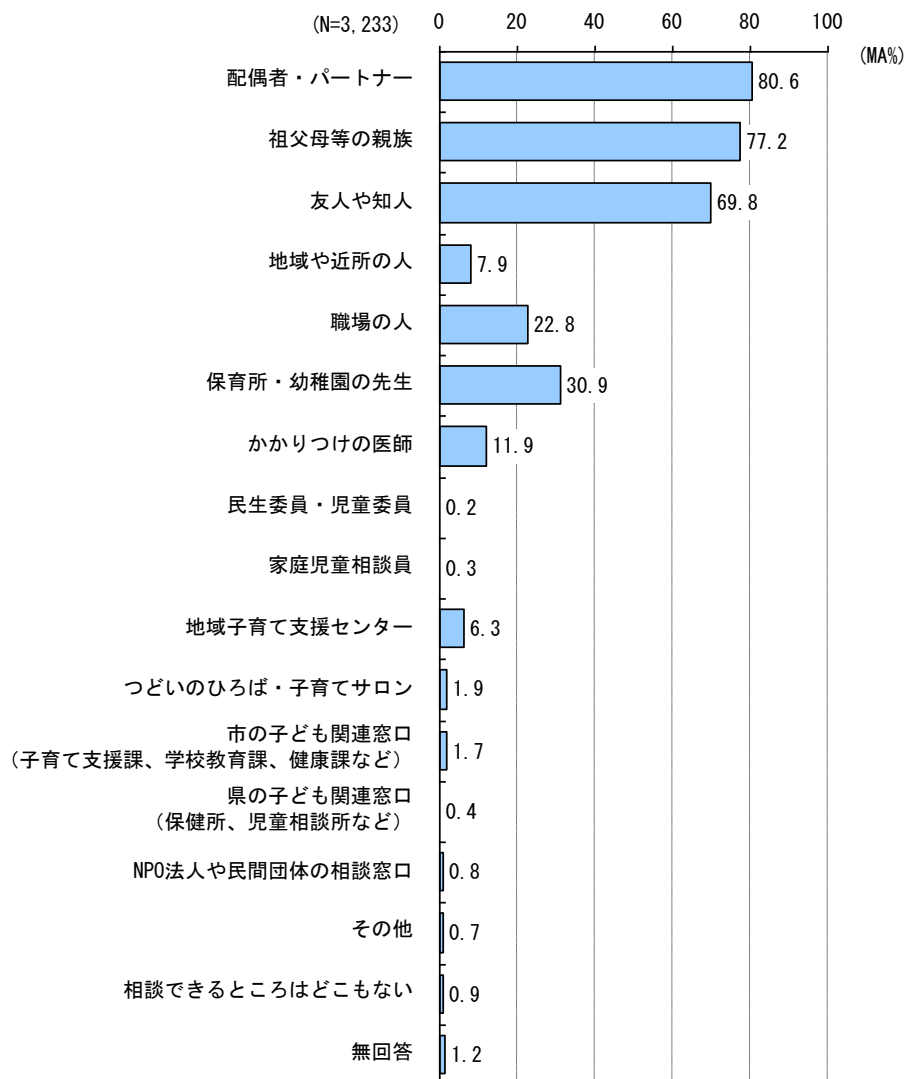
※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

(2) 子育てに関する相談先

問24 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

子育てに関する相談先は、「配偶者・パートナー」が 80.6%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」77.2%、「友人や知人」69.8%となっており、この三者は約7割以上を占めている。ほかに「保育所・幼稚園の先生」30.9%、「職場の人」22.8%が2割を超えている。一方、市や県の公的な相談窓口、民生委員などの専門職は極めて少ない。

【図 子育てに関する相談先(MA)】



年齢別にみると、すべての年齢で「配偶者・パートナー」「祖父母等の親族」「友人や知人」の順となっている。特徴をあげると、0歳では「配偶者・パートナー」と「祖父母等の親族」、3歳以上で「保育所・幼稚園の先生」の割合が他の年齢より高くなっている。

父母の就労タイプ別にみても、順位に変動はあるものの上位3位は共通している。特徴をあげると、“ひとり親”では「職場の人」「保育所・幼稚園の先生」、「フルタイム×フルタイム」では「配偶者・パートナー」「職場の人」「保育所・幼稚園の先生」、「フルタイム×パートタイム」では「保育所・幼稚園の先生」、「専業主婦（夫）」では「配偶者・パートナー」、「地域子育て支援センター」の割合が比較的高くなっている。

現在利用している教育・保育事業別にみても上位3位は共通しているが、“どこも利用していない”人では「地域子育て支援センター」の割合が若干高くなっている。

【表 年齢別・父母の就労タイプ別・利用している事業別 子育てに関する相談先（MA）】

（単位：Nは人、他は％）

	全体（N）	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や知人	地域や近所の人	職場の人	保育所・幼稚園の先生	かかりつけの医師	民生委員・児童委員	家庭児童相談員	地域子育て支援センター	つどいのひろば・子育てサロン	市の子ども関連窓口 （子育て支援課、学校教育課、健康課など）	県の子ども関連窓口 （保健所、児童相談所など）	NPO法人や民間団体の相談窓口	その他	相談できる どこもない	無回答	
全体	3,233	80.6	77.2	69.8	7.9	22.8	30.9	11.9	0.2	0.3	6.3	1.9	1.7	0.4	0.8	0.7	0.9	1.2	
年齢	0歳	712	86.4	84.0	70.8	6.5	16.6	16.0	17.4	0.1	0.6	12.8	4.6	2.1	0.4	1.0	0.6	0.8	0.7
	1歳	471	84.1	79.2	71.3	8.3	24.2	26.5	9.8	0.0	0.0	10.2	2.1	1.9	0.2	0.4	0.2	1.1	1.1
	2歳	497	80.3	76.7	67.6	9.3	24.5	33.4	9.9	0.2	0.2	7.6	2.0	2.2	0.4	0.8	1.2	1.0	1.2
	3歳	481	78.8	76.3	69.4	9.1	26.2	41.2	11.0	0.0	0.4	3.5	1.0	1.2	0.2	1.5	0.6	0.6	1.7
	4歳	521	77.9	75.2	71.0	7.5	23.8	37.0	9.8	0.0	0.2	1.2	0.2	1.5	0.6	0.6	1.0	1.2	1.3
	5歳	520	75.0	69.0	69.0	7.5	23.7	37.9	10.8	0.6	0.2	1.0	0.4	1.3	0.4	0.8	1.0	1.0	1.5
就労タイプの	ひとり親	200	16.5	78.5	69.5	5.5	29.0	40.0	12.0	0.5	1.0	2.5	0.5	2.0	1.0	1.0	0.0	2.5	2.0
	フルタイム×フルタイム	927	87.6	80.3	66.8	6.6	43.6	36.0	11.7	0.1	0.1	3.6	2.0	1.2	0.2	0.5	0.8	0.4	0.9
	フルタイム×パートタイム	755	84.0	74.3	72.1	10.2	27.7	40.0	10.9	0.3	0.1	1.5	0.3	1.1	0.1	0.8	0.5	1.6	1.1
	専業主婦（夫）	1115	87.2	78.5	72.7	7.5	2.1	19.7	12.1	0.1	0.2	12.5	3.5	2.3	0.4	1.1	0.8	0.5	0.9
	その他	20	85.0	55.0	65.0	5.0	20.0	20.0	15.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
利用している事業	幼稚園	716	81.7	74.3	77.5	8.5	11.5	36.7	10.9	0.0	0.3	2.9	0.8	1.3	0.4	1.3	1.1	0.3	1.3
	認可保育所（園）	1432	75.9	75.1	66.6	7.0	36.9	42.5	11.2	0.2	0.3	1.4	0.4	1.7	0.4	0.6	0.6	1.5	1.3
	その他	98	79.6	72.4	64.3	15.3	29.6	35.7	15.3	1.0	0.0	16.3	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	どこも利用していない	972	87.2	82.8	69.8	8.1	9.7	9.4	13.3	0.1	0.3	15.1	4.7	2.1	0.3	1.0	0.7	0.6	0.8

※全体平均より10%以上高い項目に濃い網掛け、5%以上10%未満高い項目にうすい網掛けをしている。

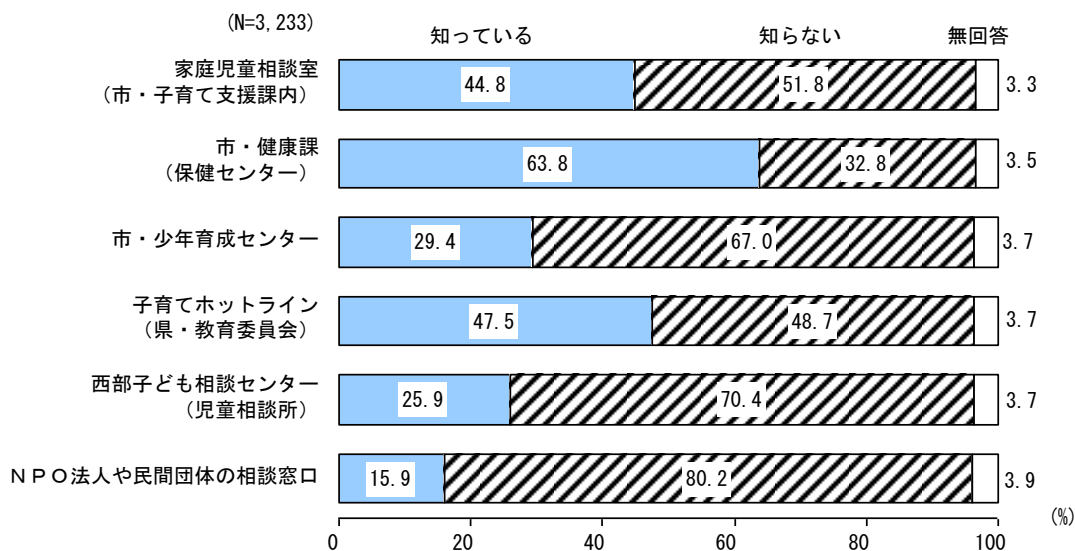
(3) 子どもに関する相談機関の認知度と利用状況

問25 香川県内及び丸亀市内の子どもに関する相談先について、A～Bのそれぞれに「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

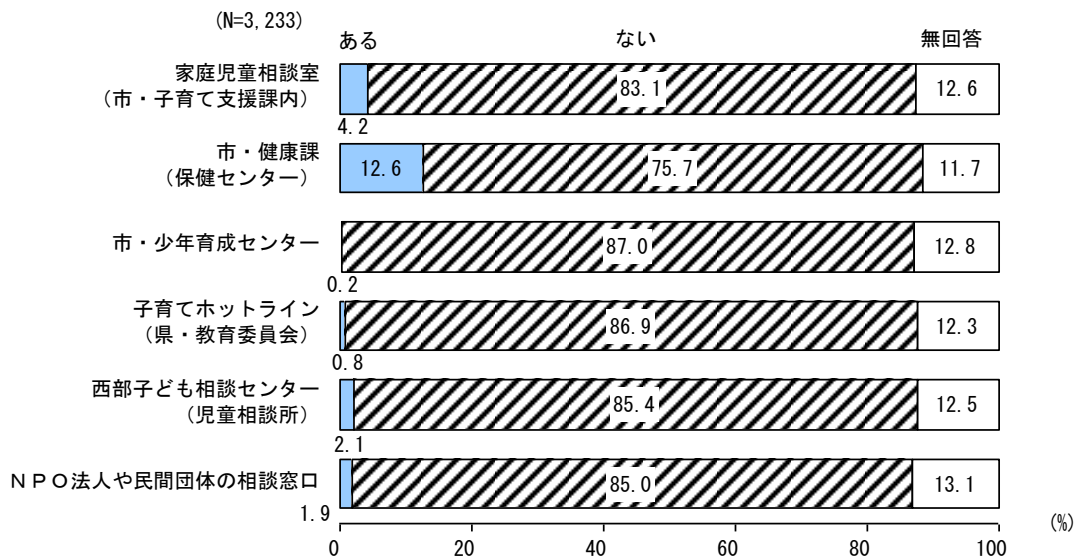
子どもに関する相談機関について、認知度が高い順にみると、「市・健康課(保健センター)」63.8%、「子育てホットライン(県・教育委員会)」47.5%、「家庭児童相談所(市・子育て支援課)」44.8%、「市・少年育成センター」29.4%、「西部こども相談センター(児童相談所)」25.9%、「NPO法人や民間団体の相談窓口」15.9%となっている。

これまでの利用経験については、最も多い「市・健康課(保健センター)」でも12.6%であり、他は少ない。

【図 子どもに関する相談機関の認知度】



【図 子どもに関する相談機関の利用経験】



年齢別にみると、どの年齢も認知度・利用経験ともに「市・健康課（保健センター）」が最も多くなっているが、認知度については、4歳・5歳で一般的にやや高い傾向がみられる。

区域別にみると、どの区域も認知度・利用経験ともに「市・健康課（保健センター）」が最も多くなっている。

【表 年齢別・区域別 子どもに関する相談機関の認知度・利用率】

(単位:Nは人、他は%)

	全 体 (N)	認知度						利用率 (利用したことがある人の比率)						
		(家庭 児童 相談室 (市・ 子育て 支援課 内))	(市・ 健康 課 (保 健セ ンタ ー))	市・ 少 年 育 成 セ ン タ ー	(子 育 て ホ ッ ト ラ イ ン (県・ 教 育 委 員 会))	(西 部 子 ど も 相 談 セ ン タ ー (児 童 相 談 所))	N P O 法 人 や 民 間 団 体 の 相 談 窓 口	(家 庭 児 童 相 談 室 (市・ 子 育 て 支 援 課 内))	(市・ 健康 課 (保 健セ ンタ ー))	市・ 少 年 育 成 セ ン タ ー	(子 育 て ホ ッ ト ラ イ ン (県・ 教 育 委 員 会))	(西 部 子 ど も 相 談 セ ン タ ー (児 童 相 談 所))	N P O 法 人 や 民 間 団 体 の 相 談 窓 口	
全 体	3,233	44.8	63.8	29.4	47.5	25.9	15.9	4.2	12.6	0.2	0.8	2.1	1.9	
年 齢	0歳	712	42.7	67.4	24.3	47.5	23.2	16.0	4.9	16.3	0.3	0.7	1.7	2.1
	1歳	471	41.6	61.6	21.0	42.0	18.0	12.1	3.2	13.6	0.0	0.8	0.8	0.6
	2歳	497	44.7	60.2	28.8	44.5	25.6	14.5	4.0	11.9	0.6	0.8	2.6	2.0
	3歳	481	45.5	64.4	29.7	43.9	26.2	18.1	5.0	13.1	0.0	1.2	1.7	2.9
	4歳	521	48.0	64.5	34.2	51.6	29.8	16.5	3.8	10.2	0.0	0.4	2.5	1.3
	5歳	520	47.5	62.9	38.5	54.4	33.3	18.3	4.0	8.8	0.0	0.8	3.5	2.1
区 域	東中学校区	716	46.9	63.7	32.0	45.9	28.4	16.2	3.6	12.4	0.3	1.0	2.7	2.4
	西中学校区	782	46.5	63.8	26.6	46.8	27.9	16.1	3.8	11.5	0.0	0.5	1.7	1.9
	南中学校区	845	46.5	64.0	30.2	47.7	23.2	17.2	6.5	11.6	0.0	0.7	2.0	2.2
	綾歌中学校区	311	41.8	68.8	30.9	50.5	27.0	17.7	3.2	17.0	0.3	0.0	2.3	2.3
	飯山中学校区	505	39.0	61.0	28.9	48.9	24.0	12.3	2.8	13.3	0.4	1.6	2.4	0.4

※「認知度」「利用率」それぞれ一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目にうすい網掛けをしている。

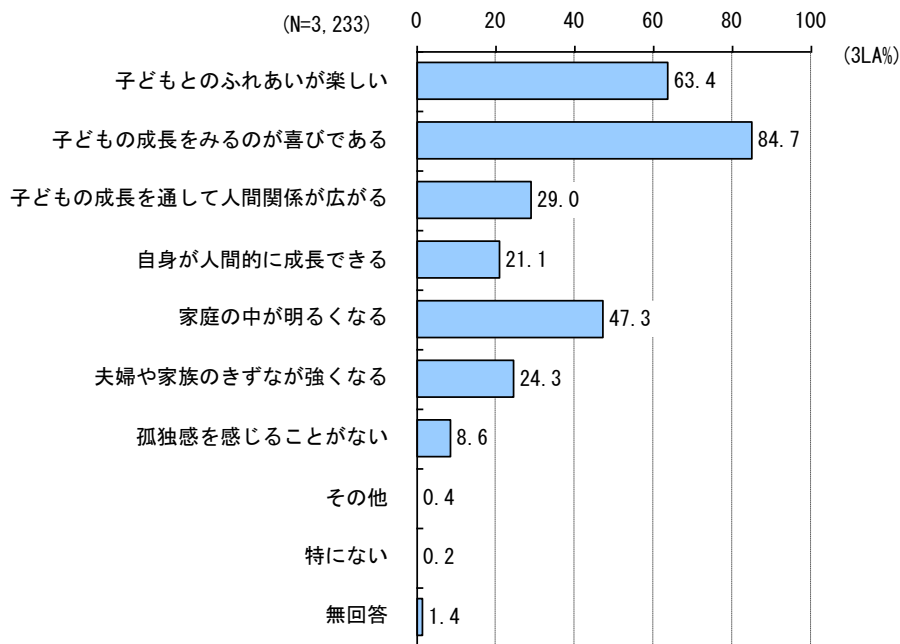
(4) 子育ての良さや喜び

問26 子育てについてどんな良さや喜びを感じますか。(〇は3つまで)

子育ての良さや喜びについては、「子どもの成長をみるのが喜びである」が84.7%で最も多く、次いで「子どもとのふれあいが楽しい」63.4%、「家庭の中が明るくなる」47.3%となっている。

子育ての良さや喜びについては、年齢別や父母の就労タイプ別にみても共通している。

【図 子育ての良さや喜び (3LA)】



【表 年齢別 子育ての良さや喜び (3LA)】

(単位: Nは人、他は%)

	全体 (N)	ふ	で	が	成	自	明	家	き	夫	感	孤	そ	特	無
		れ	み	通	長	身	る	庭	ず	婦	じ	独	他	に	回
		れ	る	じ	身	る	庭	ず	婦	じ	独	他	に	回	
全 体	3,233	63.4	84.7	29.0	21.1	47.3	24.3	8.6	0.4	0.2	1.4				
年 齢	0歳	712	75.4	88.1	22.6	19.0	46.2	25.7	5.2	0.4	0.0	0.8			
	1歳	471	66.5	87.0	22.9	20.2	51.6	25.7	8.1	0.4	0.6	1.3			
	2歳	497	63.0	86.1	27.2	19.1	49.1	25.4	9.9	0.2	0.4	1.2			
	3歳	481	56.8	83.2	35.3	22.7	46.6	22.7	9.8	0.2	0.0	1.2			
	4歳	521	57.4	81.6	33.2	23.2	47.0	24.0	9.2	0.6	0.2	1.5			
	5歳	520	57.1	81.5	35.4	22.9	44.2	22.3	10.2	0.4	0.4	2.3			
就 労 父 母 の 就 業 形 態	ひとり親	200	60.5	85.5	25.5	26.5	42.0	7.0	23.0	1.0	0.0	2.0			
	フルタイム×フルタイム	927	66.1	85.1	24.3	22.1	50.6	26.5	7.6	0.2	0.1	1.2			
	フルタイム×パートタイム	755	58.4	85.6	31.3	23.2	46.8	24.5	8.2	0.4	0.4	1.2			
	専業主婦(夫)	1,115	65.6	84.0	33.5	17.6	45.7	26.5	7.1	0.2	0.2	0.9			
	その他	20	65.0	95.0	20.0	15.0	60.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

IV. 小学生児童調査の結果

1. 子どもと家族の状況について

(1) 共働きの状況

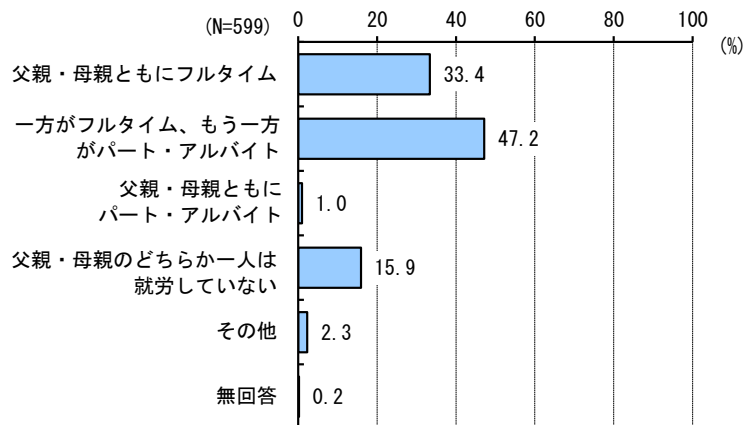
問4で「1. 配偶者がいる」に○をつけた方におうかがいします。

問4-1 あなたのご家庭は共働きですか。(○は1つ)

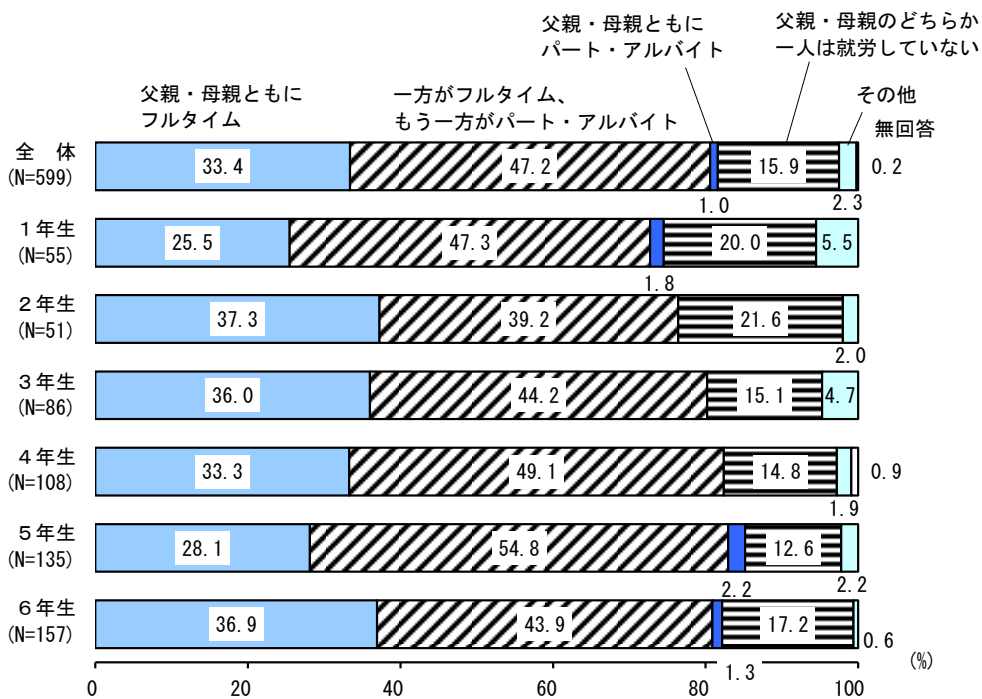
配偶者がいる場合の共働きの状況については、「一方がフルタイム、もう一方がパート・アルバイト」が47.2%で最も多く、次いで「父親・母親ともにフルタイム」33.4%、「父親・母親のどちらか一人は就労していない」15.9%の順となっている。

学年別にみると、どの学年でも「一方がフルタイム、もう一方がパート・アルバイト」が最も多いが、「父親・母親ともにフルタイム」の割合は、2年生、3年生と6年生で高くなっている。

【図 共働きの状況】



【図 学年別 共働きの状況】



※選択肢の文言を省略している。

(2) 子育ての主体者

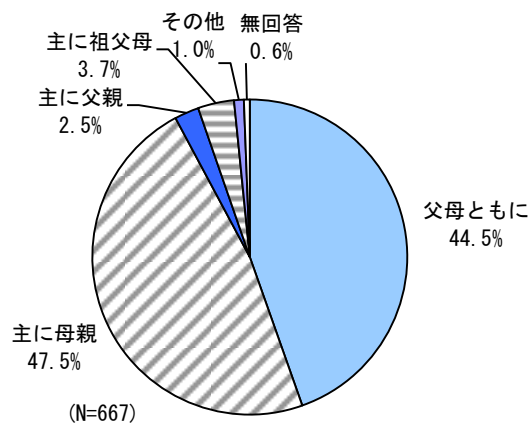
問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

【図 子育ての主体者】

子育ての主体者については、「主に母親」が47.5%で最も多く、次いで「父母ともに」が44.5%となっている。

学年別にみると、3年生以下では「主に母親」が最も多いが、4年生以上では「父母ともに」と「主に母親」が同程度となっている。

父母の就労タイプ別にみると、“フルタイム×フルタイム”では「父母ともに」が57.5%で最も多くなっている。これに対して、“専業主婦（夫）”では「主に母親」が60.0%と多くなっている。



【表 学年別・父母の就労タイプ別 子育ての主体者】

(単位: Nは人、他は%)

		全体 (N)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖母	その他
全 体		667	44.5	47.5	2.5	3.7	1.0
学 年	1年生	64	40.6	48.4	4.7	4.7	1.6
	2年生	55	38.2	50.9	0.0	7.3	3.6
	3年生	89	43.8	48.3	1.1	4.5	2.2
	4年生	119	47.9	47.9	0.8	2.5	0.8
	5年生	151	45.7	45.7	4.0	4.6	0.0
	6年生	176	46.0	47.7	3.4	2.3	0.6
就 労 父 母 の タイ プ	ひとり親	52	3.8	80.8	1.9	11.5	1.9
	フルタイム×フルタイム	200	57.5	35.0	1.5	4.0	2.0
	フルタイム×パートタイム	283	48.8	50.5	0.4	0.0	0.4
	専業主婦（夫）	95	34.7	60.0	2.1	2.1	1.1
	その他	20	35.0	25.0	10.0	30.0	0.0

※全体平均より10%以上高い項目に網掛けをしている。

2. 一時預かり等の利用について

(1) 病気等で学校を休まなければならなかったことの有無と対処方法

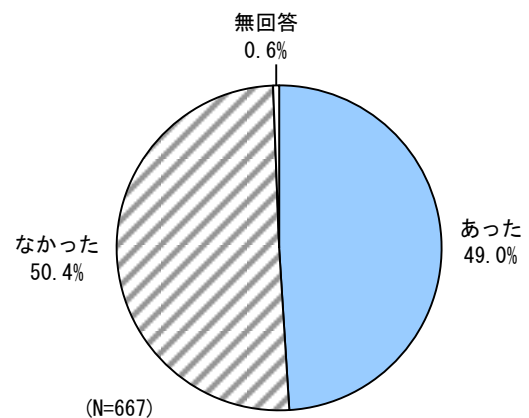
問6 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなくなったことはありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号に○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

病気等で学校を休まなければならなかったことが「あった」は49.0%となっている。

学年別にみると、3年生以下では「あった」が半数を超え、逆に4年生と5年生では「なかった」が半数を超えて最も多くなっている。6年生は「あった」と「なかった」は同率となっている。

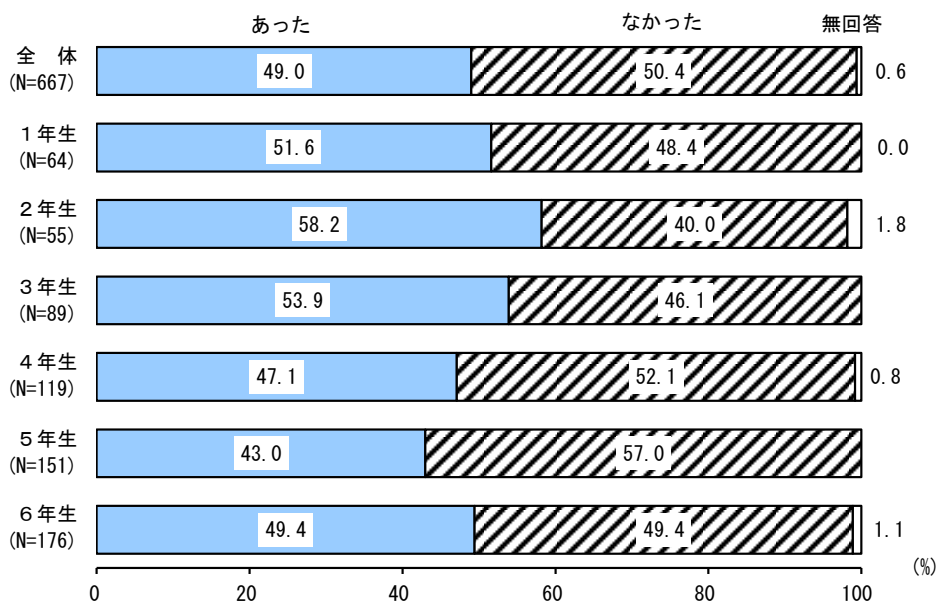
病気等で学校を休んだ時の対処方法については、「自分、もしくは家族が子どもをみた」が94.8%を占めている。「病児・病後児保育施設を利用した」は0.6%にすぎない。

【図 病気等で学校を休まなければならなかったことの有無】

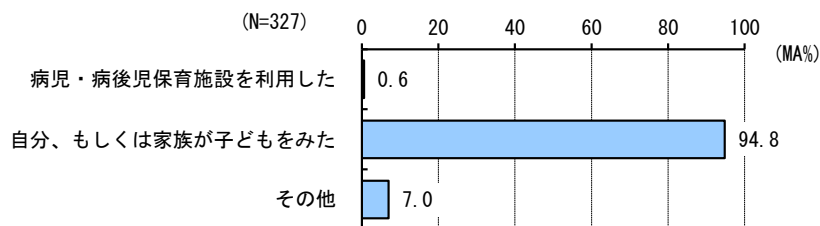


対処日数については、“自分、もしくは家族が子どもをみた”場合は「年3日」が最も多く、平均年4.2日となっている。

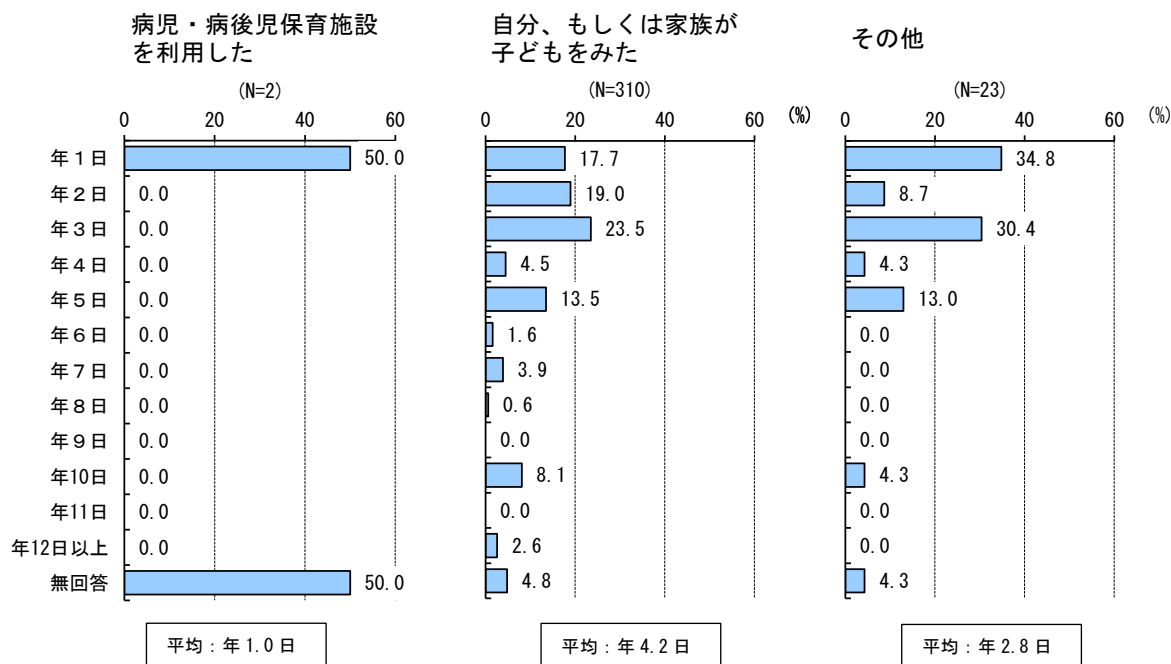
【図 病気等で学校を休まなければならなかったことの有無】



【図 病気等で学校を休んだ時の対処方法 (MA)】



【図 病気等で学校を休んだ時の対処の日数】



(2) 病児・病後児のための保育施設の利用希望

問6で「あった」に○をつけた方におうかがいします。

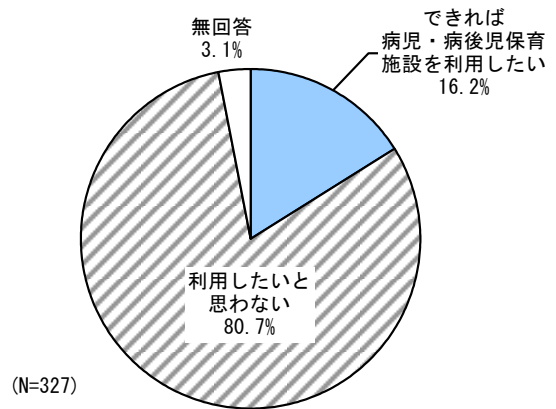
問6-1 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われますか。当てはまる番号に○をつけてください。

※病児・病後児保育施設の利用には、利用料などの一定の費用がかかり、利用前にかかりつけ医等での受診が必要になります。

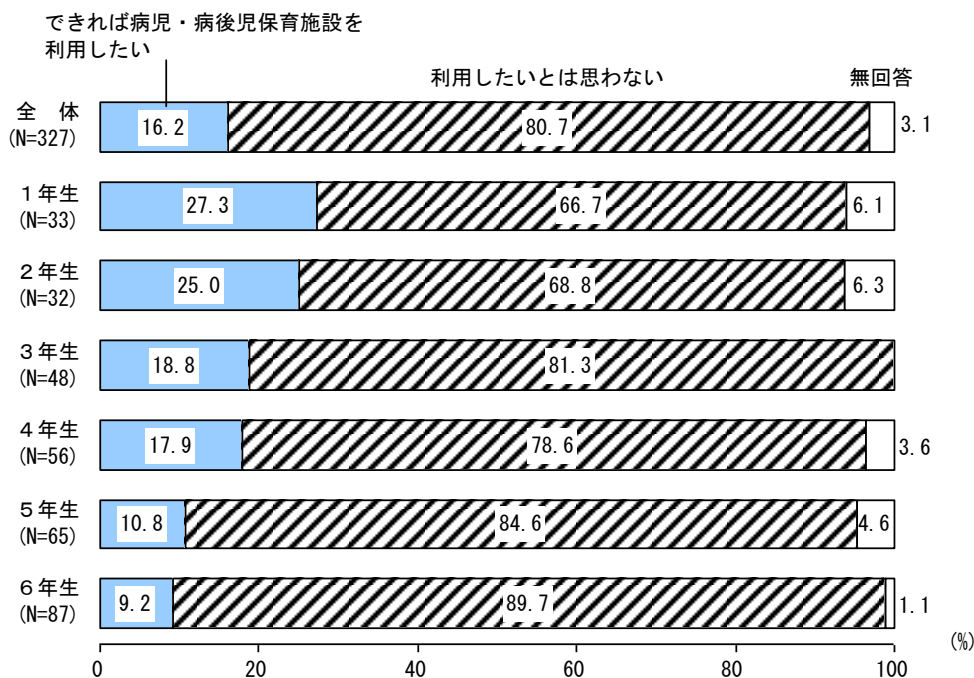
【図 病児・病後児のための保育施設の利用希望】

病児・病後児のための保育施設の利用については、「利用したいと思わない」が80.7%を占め、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」は16.2%となっている。

学年別にみると、「病児・病後児保育施設を利用したい」の割合は学年が低くなるほど高く、1年生では27.3%と約3割となっている。



【図 学年別 病児・病後児のための保育施設の利用希望】



(3) 保護者の病気や急な仕事の際に利用したいサービス

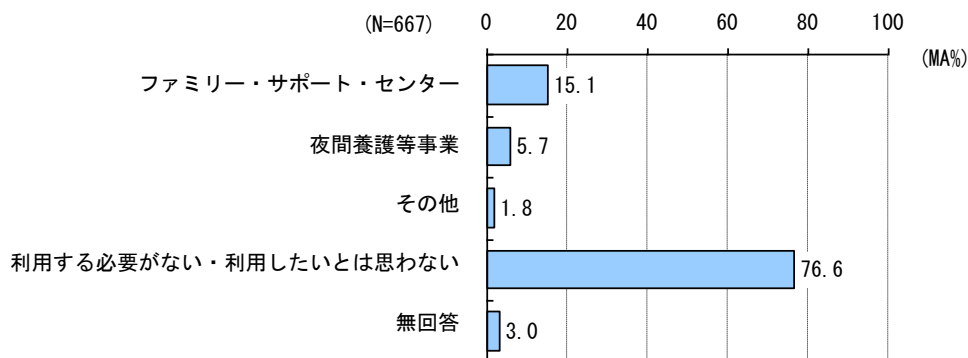
問7 保護者が病気や急な仕事等のために、家庭での養育が一時的に困難となった場合に、次のサービスを利用したいと思いますか。
 当てはまる番号に○をつけ、1年間の利用希望日数（おおよそ）を（ ）内に数字でご記入ください。（○はいくつでも）
 ※利用には、利用料などの一定の費用がかかります。

保護者の病気や急な仕事の際に利用したいサービスについては、「利用する必要がない・利用したいと思わない」が76.6%と4人中3人以上を占めている。利用したいサービスとしては「ファミリー・サポート・センター」15.1%が最も多く、次いで夜間養護等事業（トワイライトステイ）5.7%となっている。

学年別にみると、どの学年でも「利用する必要がない・利用したいと思わない」が多数を占めているが、1年生と2年生では「ファミリー・サポート・センター」の割合が比較的高くなっている。

利用したいサービス別に希望日数をみると、「ファミリー・サポート・センター」「夜間養護等事業（トワイライトステイ）」ともに「年10日」が最も多くなっている。

【図 保護者の病気や急な仕事の際に利用したいサービス (MA)】



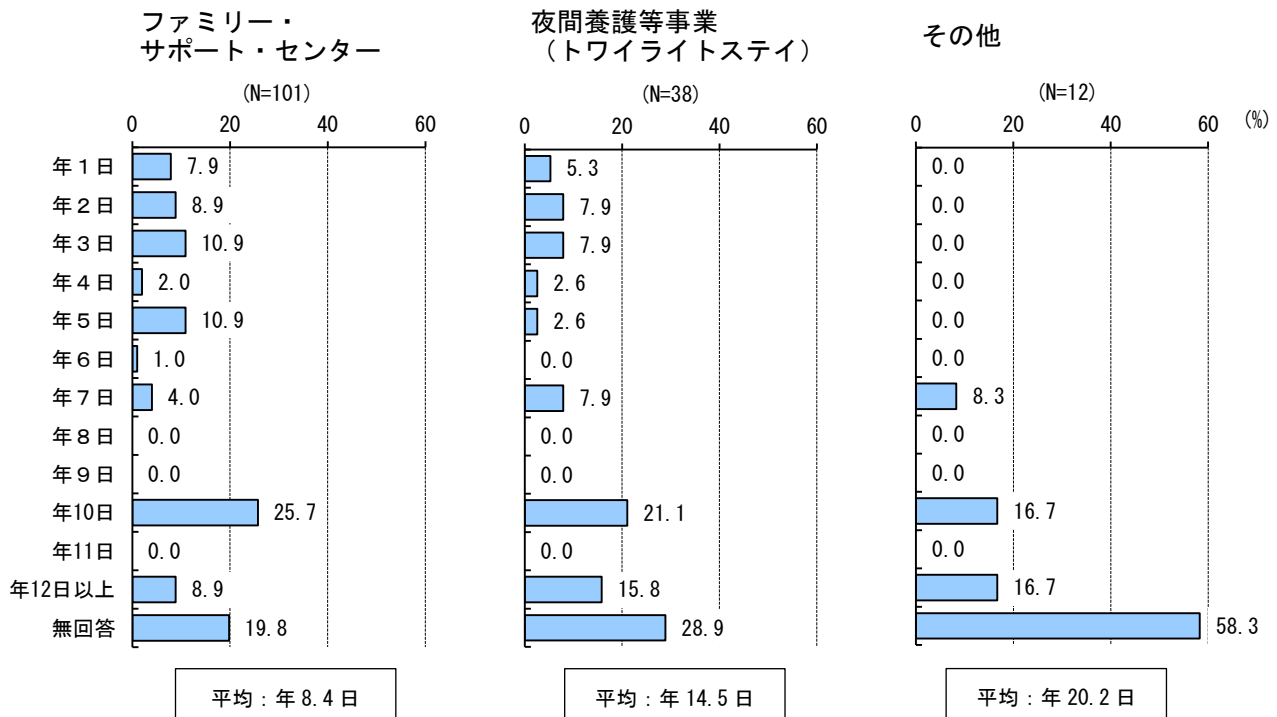
【表 学年別・父母の就労タイプ別 保護者の病気や急な仕事の際に利用したいサービス(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

		全体 (N)	ファミリー・ サポート・セン・ サ	ス(夜 ト間 ワイ養 ライ護 イ等 事業 ト業)	そ の 他	い な 利 用 し た い は 思 わ な し が 必 要 な が	無 回 答
全 体		667	15.1	5.7	1.8	76.6	3.0
学 年	1年生	64	28.1	3.1	4.7	65.6	1.6
	2年生	55	25.5	7.3	1.8	65.5	1.8
	3年生	89	19.1	4.5	4.5	75.3	0.0
	4年生	119	6.7	3.4	1.7	84.9	5.0
	5年生	151	14.6	8.6	0.7	75.5	4.0
	6年生	176	10.8	5.7	0.6	81.3	2.8
就 労 父 母 の イ の ブ	ひとり親	52	7.7	7.7	3.8	76.9	3.8
	フルタイム×フルタイム	200	16.5	8.5	1.0	75.5	2.0
	フルタイム×パートタイム	283	17.0	3.2	1.8	77.4	2.8
	専業主婦(夫)	95	10.5	6.3	1.1	82.1	2.1
	その他	20	15.0	5.0	10.0	60.0	10.0

※全体平均より10%以上高い項目に網掛けをしている。

【図 保護者の病気や急な仕事の際に利用したいサービスの希望日数】



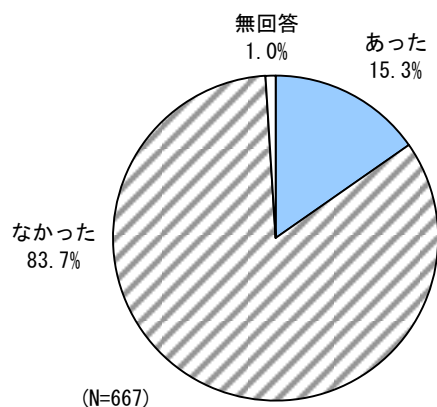
(4) 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと

問8 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号に○をつけ、それぞれの泊数も（ ）内に数字でご記入ください。

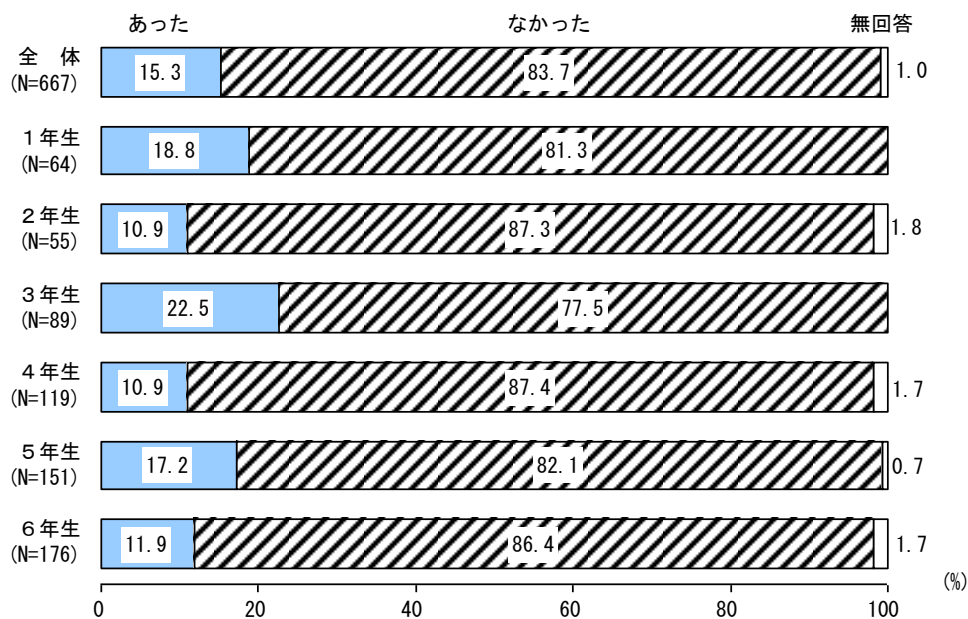
子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことについては、「あった」が15.3%、「なかった」が83.7%となっている。

年齢別では一定の傾向はみられない。

【図 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと】



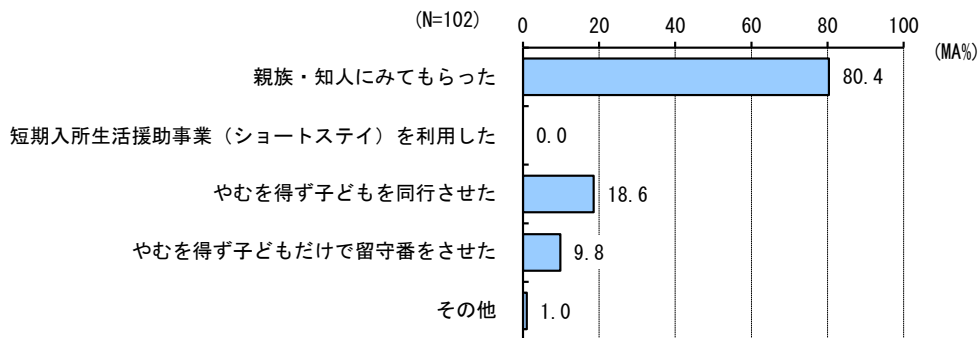
【図 学年別 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと】



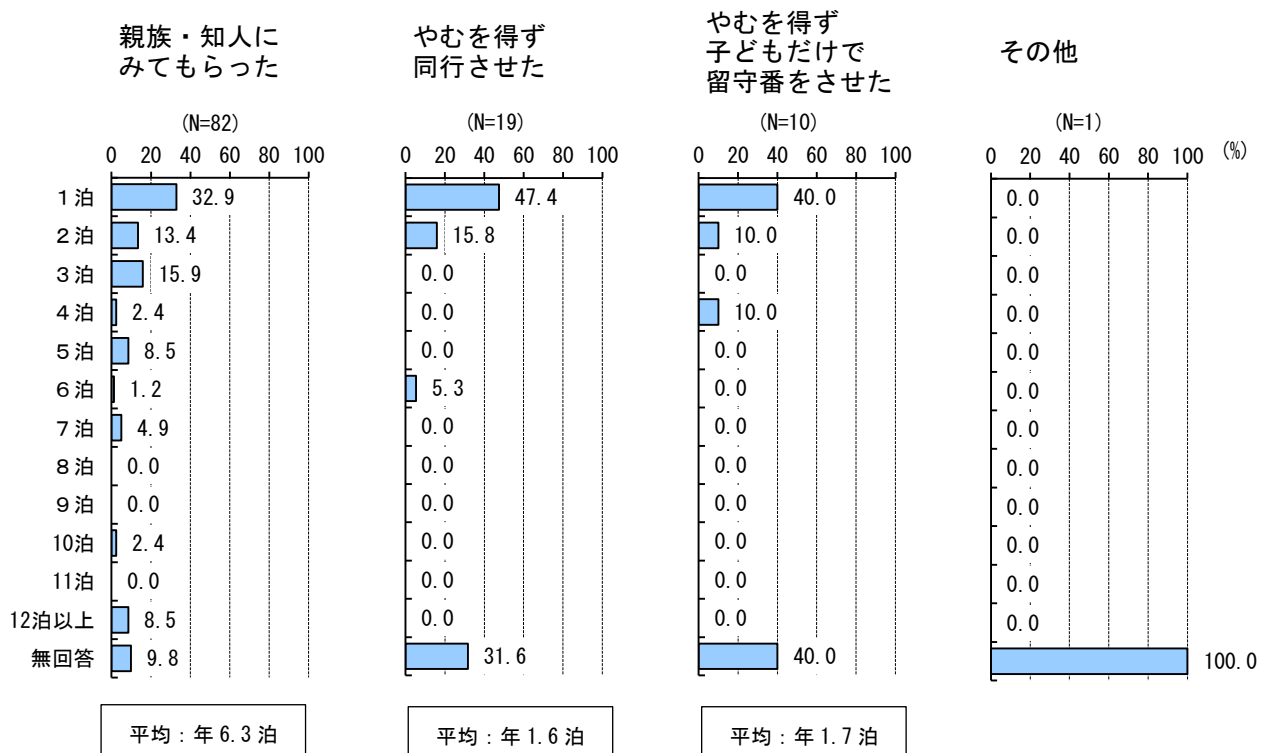
預けなければならなかった際の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」が80.4%で最も多く、次いで「やむを得ず子どもを同行させた」18.6%、「やむを得ず子どもだけで留守番をさせた」9.8%となっている。なお、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」は皆無となっている。

対処方法別の泊数については、いずれも「年1泊」が最も多くなっている。

【図 泊りがけで家族以外に預ける必要があった際の対処方法(MA)】



【図 泊りがけで家族以外に預ける必要があった泊数】



3. 子どもの放課後の過ごし方について

(1) 希望する放課後の過ごし方

あて名のお子さんが低学年の方に、おうかがいします。

問9 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。すでに通っている・利用している方も、希望をご記入ください。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。（○はいくつでも）

また、「7. 青い鳥教室」を選んだ方は、希望する時間を24時間制で記入してください。

（例：午後6時⇒18時）

ここからは、全員の方におうかがいします。

問10 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）では、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。すでに通っている・利用している方も、希望をご記入ください。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。（○はいくつでも）

また、「7. 青い鳥教室」を選んだ方は、希望する時間を24時間制で記入してください。

小学校低学年の間に希望する放課後の過ごし方については、「自宅」が68.3%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、学習塾など）」41.8%、「青い鳥教室」22.6%となっている。

小学校高学年の間に希望する放課後の過ごし方については、「自宅」が68.1%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、学習塾など）」40.3%、「スポーツ少年団等地域活動」19.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」18.6%となっている。

低学年と高学年を比較すると、「スポーツ少年団等地域活動」は9.5ポイント高学年の方が高く、「青い鳥教室」は10.2ポイント低学年の方が高くなっている。

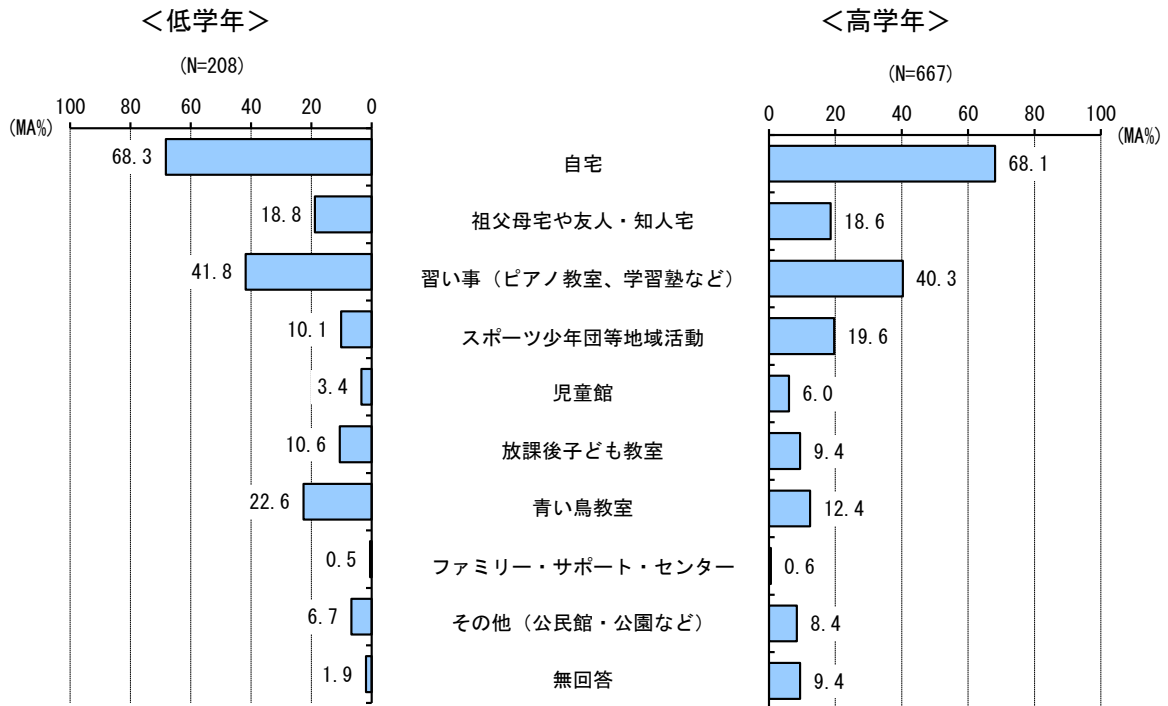
区域別にみると、低学年・高学年に関わらずいずれも「自宅」が最も多いことに違いはないが、他の特徴をあげると、低学年については、東中学校区で「青い鳥教室」や「その他（公民館・公園など）」、西中学校区で「習い事」の割合が比較的高くなっている。

高学年については、東中学校区で「その他（公民館・公園など）」、西中学校区と南中学校区で「スポーツ少年団等地域活動」、飯山中学校区で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が比較的高くなっている。

父母の就労タイプ別にみると、低学年・高学年に関わらずいずれも「自宅」が最も多いことに違いはないが、特徴をあげると、低学年・高学年ともに“フルタイム×フルタイム”では「青い鳥教室」、「専業主婦（夫）」では「習い事」の割合が高くなっている。

放課後の過ごし方別に過ごさせたい日数をみると、「青い鳥教室」は「週5日」、「習い事」は「週2日」、「スポーツ少年団等地域活動」は低学年では「週2日」、高学年では「週1～2日」、「児童館」は「週1日」、「放課後子ども教室」は低学年では「週1日」、高学年では「週2日」が多くなっている。

【図 希望する放課後の過ごし方(MA)】



【図 区域別・父母の就労タイプ別 希望する放課後の過ごし方(MA)】

<低学年>

(単位: Nは人、他は%)

		全 体 (N)	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	スポーツ 少年団等 地域活動	児童館	放課後子 ども教室	青い鳥 教室	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館・公園 など)	無回答
全 体		208	68.3	18.8	41.8	10.1	3.4	10.6	22.6	0.5	6.7	1.9
区 域	東中学校区	34	64.7	11.8	41.2	5.9	2.9	14.7	32.4	-	14.7	2.9
	西中学校区	34	64.7	11.8	52.9	8.8	2.9	11.8	23.5	-	5.9	2.9
	南中学校区	34	73.5	20.6	38.2	14.7	2.9	11.8	20.6	-	2.9	2.9
	綾歌中学校区	44	72.7	18.2	40.9	6.8	4.5	6.8	18.2	-	4.5	2.3
	飯山中学校区	62	66.1	25.8	38.7	12.9	3.2	9.7	21.0	1.6	6.5	-
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	13	46.2	15.4	38.5	-	-	7.7	30.8	-	7.7	7.7
	フルタイム×フルタイム	64	50.0	20.3	32.8	9.4	3.1	10.9	34.4	1.6	6.3	3.1
	フルタイム×パートタイム	84	73.8	17.9	41.7	11.9	4.8	10.7	21.4	-	9.5	1.2
	専業主婦 (夫)	35	94.3	22.9	62.9	14.3	-	14.3	2.9	-	2.9	-
	その他	9	66.7	11.1	44.4	-	11.1	-	11.1	-	-	-

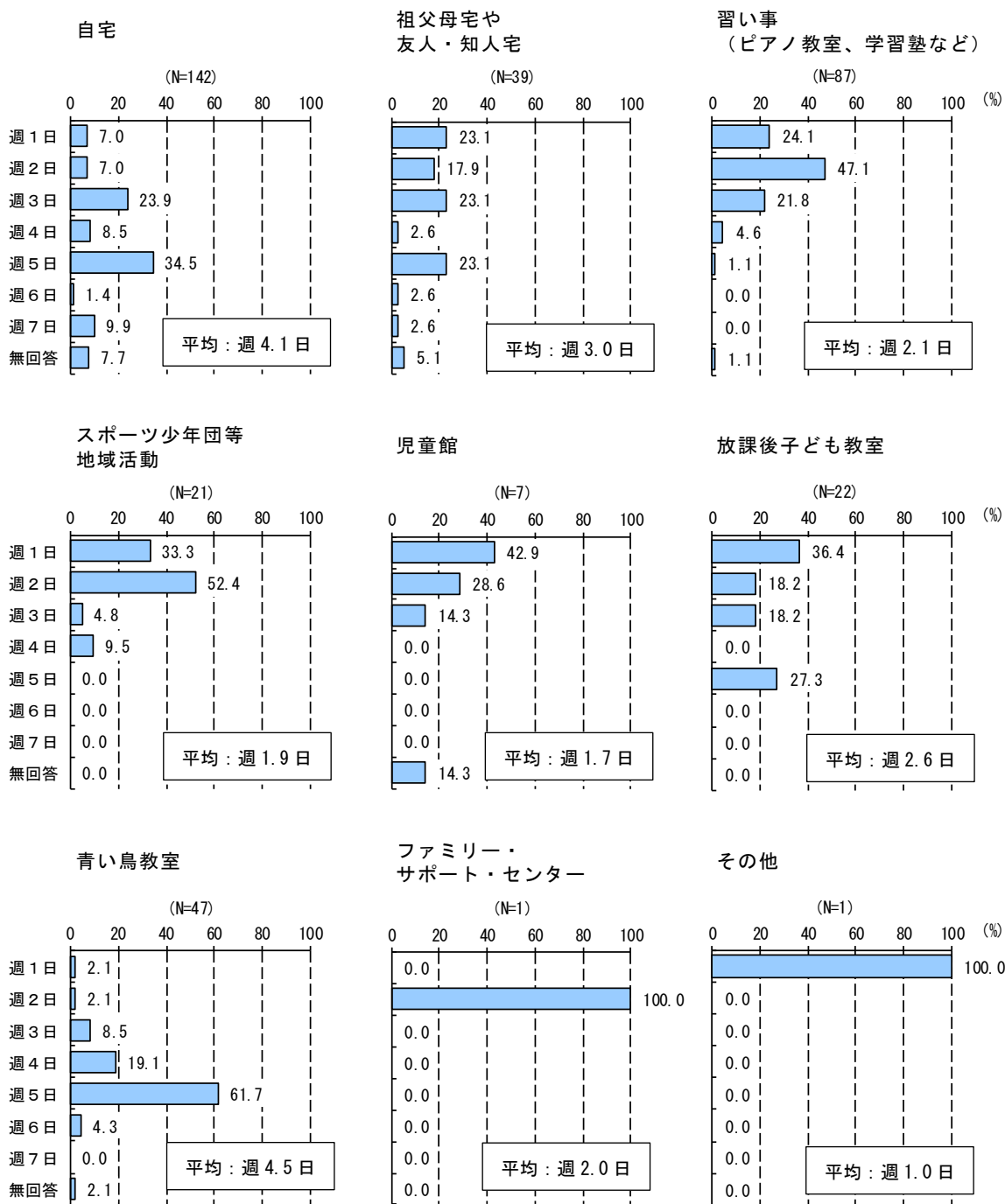
<高学年>

(単位: Nは人、他は%)

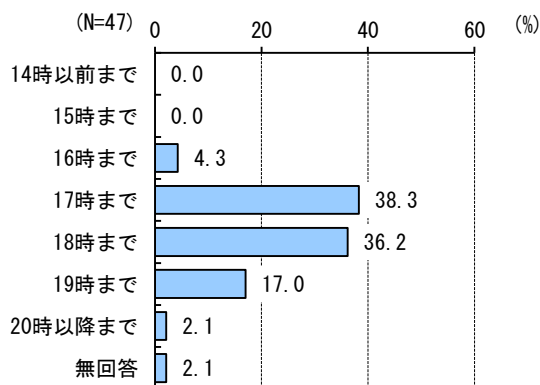
		全 体 (N)	自宅	祖父母宅 や友人・ 知人宅	習い事	スポーツ 少年団等 地域活動	児童館	放課後子 ども教室	青い鳥 教室	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他 (公民 館・公園 など)	無回答
全 体		667	68.1	18.6	40.3	19.6	6.0	9.4	12.4	0.6	8.4	9.4
区 域	東中学校区	98	59.2	9.2	37.8	17.3	7.1	12.2	16.3	1.0	16.3	12.2
	西中学校区	86	61.6	14.0	44.2	25.6	8.1	9.3	10.5	-	9.3	10.5
	南中学校区	115	72.2	14.8	41.7	27.0	0.9	8.7	10.4	-	7.8	9.6
	綾歌中学校区	132	67.4	21.2	34.8	13.6	3.8	8.3	11.4	0.8	5.3	11.4
	飯山中学校区	231	73.2	25.1	42.9	17.7	8.7	9.5	12.6	0.9	6.9	6.9
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	52	69.2	26.9	42.3	23.1	5.8	5.8	9.6	-	9.6	5.8
	フルタイム×フルタイム	200	57.0	27.5	38.0	18.0	3.5	8.0	20.0	1.0	5.0	8.5
	フルタイム×パートタイム	283	73.5	14.8	40.6	20.8	7.1	12.0	9.9	0.4	8.5	9.2
	専業主婦 (夫)	95	80.0	10.5	49.5	18.9	7.4	8.4	3.2	1.1	13.7	10.5
	その他	20	45.0	5.0	25.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	30.0

※全体平均より10%以上高い項目に濃い網掛け、5%以上10%未満高い項目に薄い網掛けをしている。

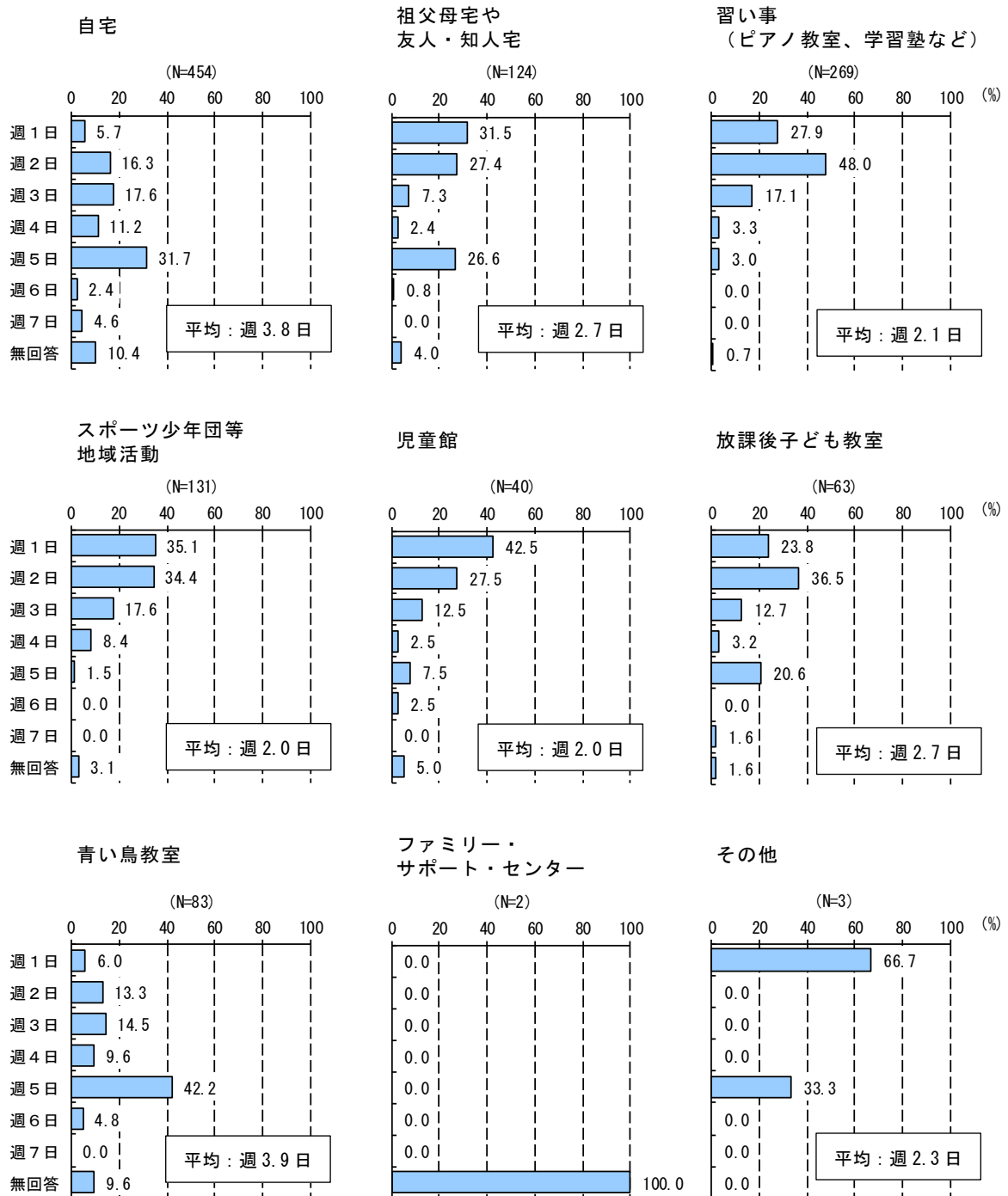
【図 小学校低学年の間に希望する放課後の過ごし方の日数】



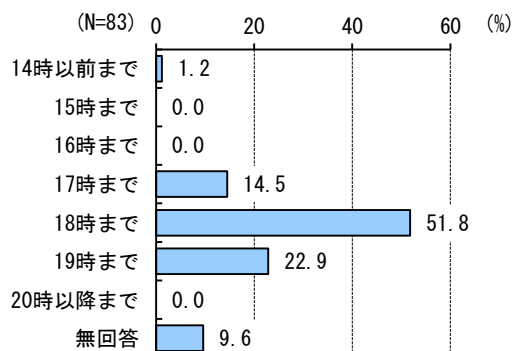
【図 小学校低学年の間に希望する青い鳥教室の利用時間帯】



【図 小学校高学年の間に希望する放課後の過ごし方の日数】



【図 小学校高学年の間に希望する青い鳥教室の利用時間帯】



(2) 青い鳥教室の土曜日・夏休みなどの利用希望

問9・問10で「7. 青い鳥教室」の希望がある方におうかがいします。

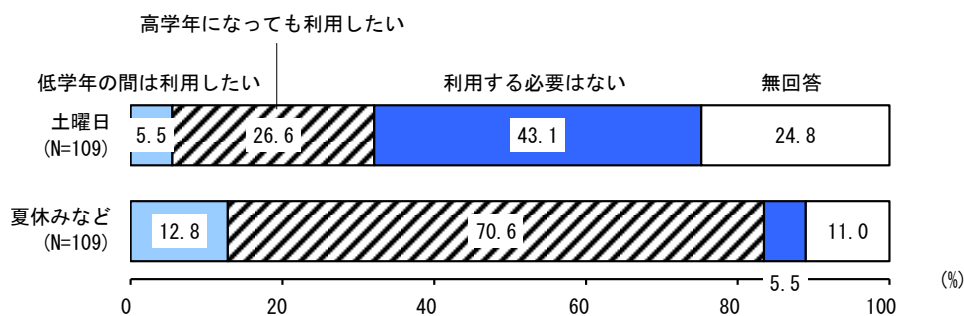
問11 青い鳥教室について、土曜日や、夏休みなどの利用希望はありますか。サービスの利用には、一定の利用料がかかります。

青い鳥教室の利用希望がある方の土曜日の利用意向については、「利用する必要はない」が43.1%で最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」26.6%、「低学年の間は利用したい」5.5%となっている。

夏休みなどの利用意向については、「高学年になっても利用したい」が70.6%、次いで「低学年の間は利用したい」が12.8%となっており、合わせて9割弱に利用希望がある。

対象者数は少ないが、区域別・父母の就労タイプ別の土曜日・夏休みなどの利用希望は下表のとおりとなっている。

【図 青い鳥教室の土曜日・夏休みなどの利用希望】



【表 区域別・父母の就労タイプ別 青い鳥教室の土曜日・夏休みなどの利用希望】

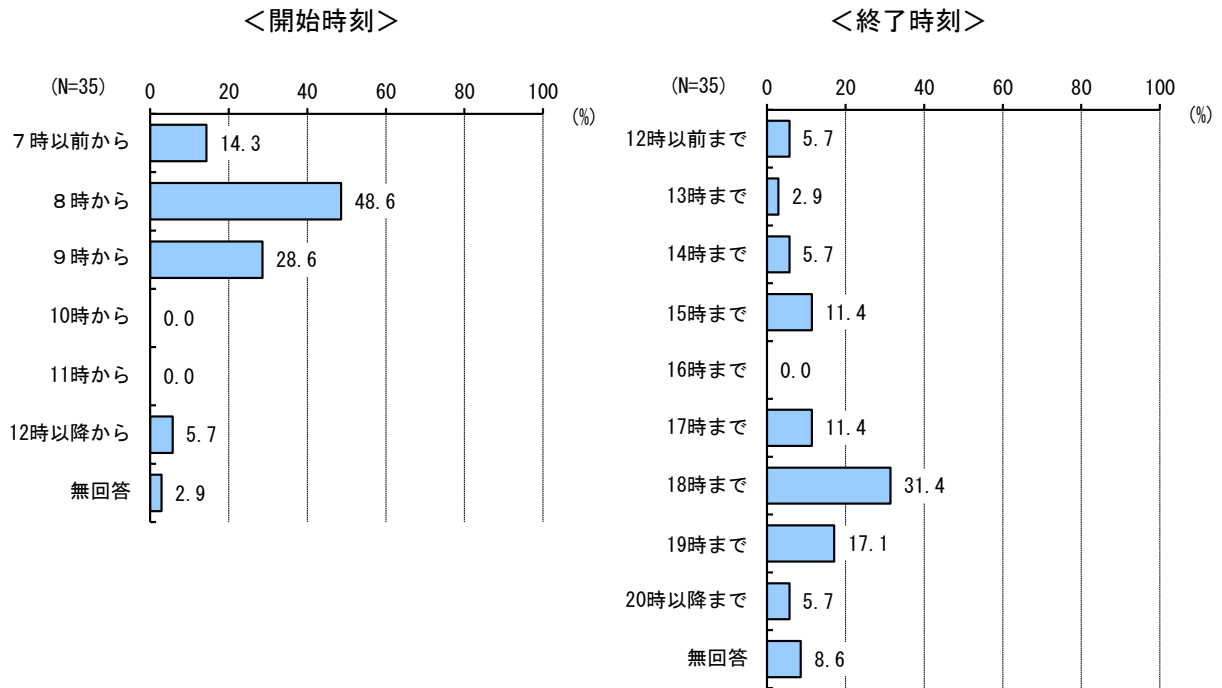
(単位:Nは人、他は%)

	全体 (N)	土曜日				夏休みなど				
		利 用 し た い 間 は	も 高 学 年 に な っ て	必 要 は な い	無 回 答	利 用 し た い 間 は	も 高 学 年 に な っ て	必 要 は な い	無 回 答	
全 体	109	5.5	26.6	43.1	24.8	12.8	70.6	5.5	11.0	
区 域	東中学校区	21	14.3	33.3	33.3	19.0	71.4	4.8	4.8	
	西中学校区	12	8.3	33.3	33.3	25.0	66.7	-	8.3	
	南中学校区	17	5.9	29.4	47.1	17.6	52.9	11.8	11.8	
	綾歌中学校区	20	5.0	20.0	50.0	25.0	85.0	5.0	10.0	
	飯山中学校区	37	-	24.3	43.2	32.4	8.1	70.3	5.4	16.2
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	8	-	12.5	50.0	37.5	-	62.5	12.5	25.0
	フルタイム×フルタイム	49	8.2	32.7	38.8	20.4	14.3	73.5	4.1	8.2
	フルタイム×パートタイム	41	4.9	22.0	43.9	29.3	14.6	68.3	4.9	12.2
	専業主婦(夫)	3	-	33.3	66.7	-	33.3	33.3	33.3	-
	その他	3	-	33.3	66.7	-	-	100.0	-	-

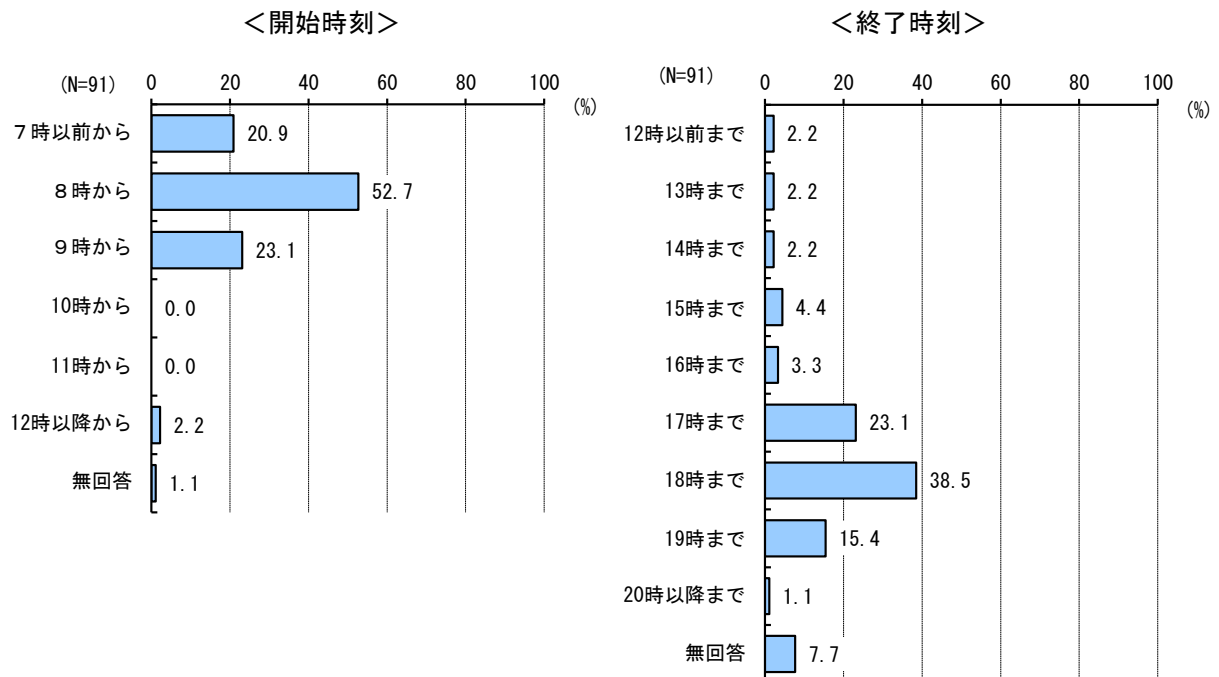
※一番多い項目に網掛けをしている。

土曜日及び夏休みなどの利用希望がある人の希望時間帯をみると、土曜日、夏休みなどにかかわらず、開始時刻は「8時から」、終了時刻は「18時まで」が多くなっている。

【図 土曜日の青い鳥教室の希望時間帯】



【図 夏休みなどの青い鳥教室の希望時間帯】

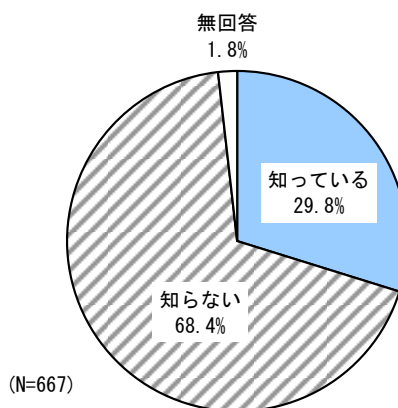


(3) 「放課後子ども教室」の認知状況

問12 丸亀市では、平日の放課後や夏休みなどにコミュニティセンター等の地域の施設において、地域の方々の協力を得て、子どもたちが勉強やスポーツ・文化活動・交流活動などを行う「放課後子ども教室」を開催しています。あなたは、これを知っていますか。

【図 「放課後子ども教室」の認知状況】

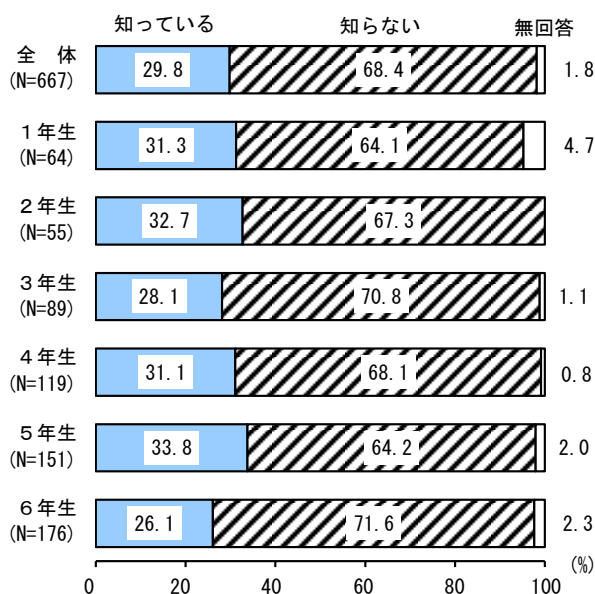
「放課後子ども教室」の認知状況については、「知らない」が68.4%に対して「知っている」は29.8%となっている。



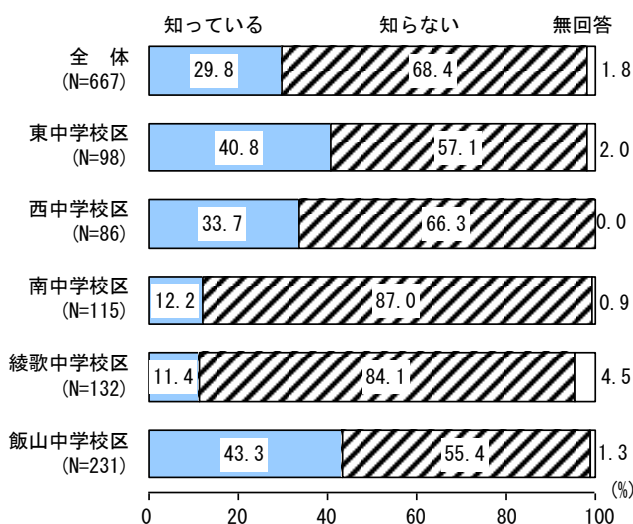
学年別にみると、大きな違いはみられない。

区域別にみると、すべての区域で「知らない」が5割を超えているが、特に南中学校区と綾歌中学校区では「知らない」の割合が高く、8割を超えている。

【図 学年別 「放課後子ども教室」の認知状況】



【図 区域別 「放課後子ども教室」の認知状況】



(4) 「放課後子ども教室」への参加希望

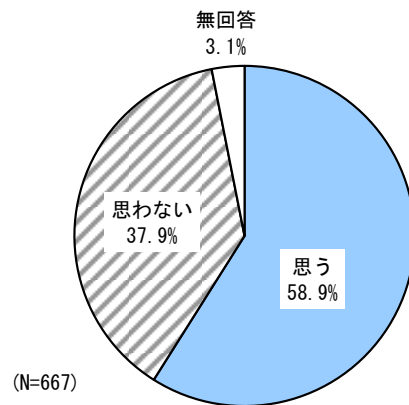
問13 あて名のお子さんを「放課後子ども教室」に参加させたいと思いますか。

【図 「放課後子ども教室」への参加希望】

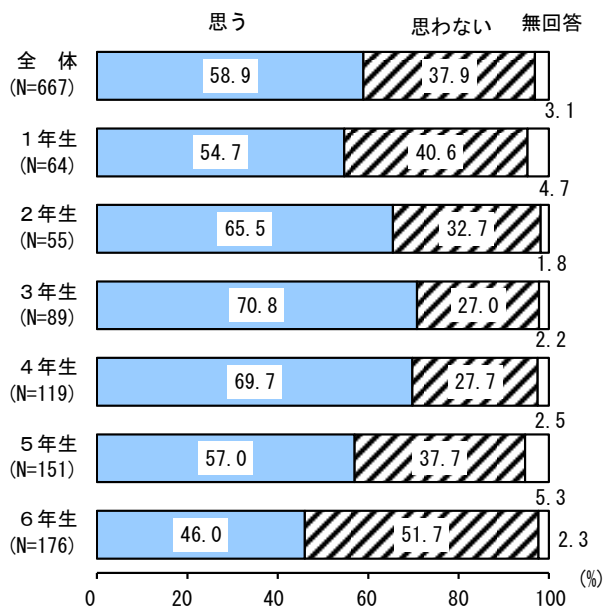
放課後子ども教室へ参加させたいと思うかについては、「思う」が58.9%に対して「思わない」は37.9%となっている。

学年別にみると、参加希望が多いのは2～4年生、逆に参加希望が少ないのは1年生と6年生となっている。特に6年生では「思わない」が51.7%と5割を超えている。

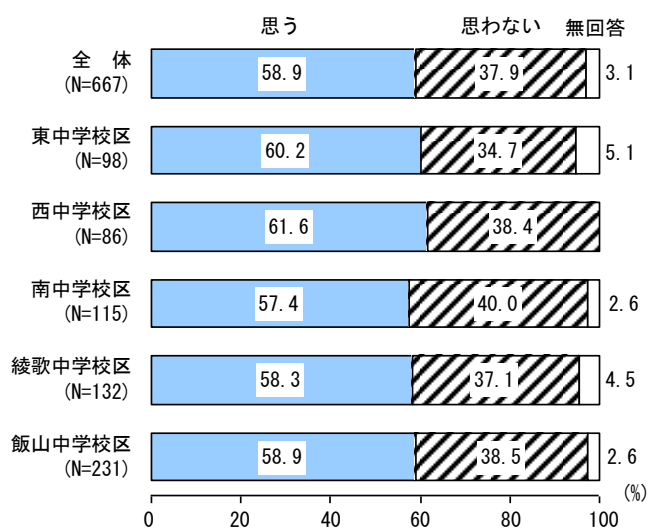
区域別にみると、すべての区域で「思う」が5割を超えており、区域による違いは少ない。



【図 学年別 「放課後子ども教室」への参加希望】



【図 区域別 「放課後子ども教室」への参加希望】



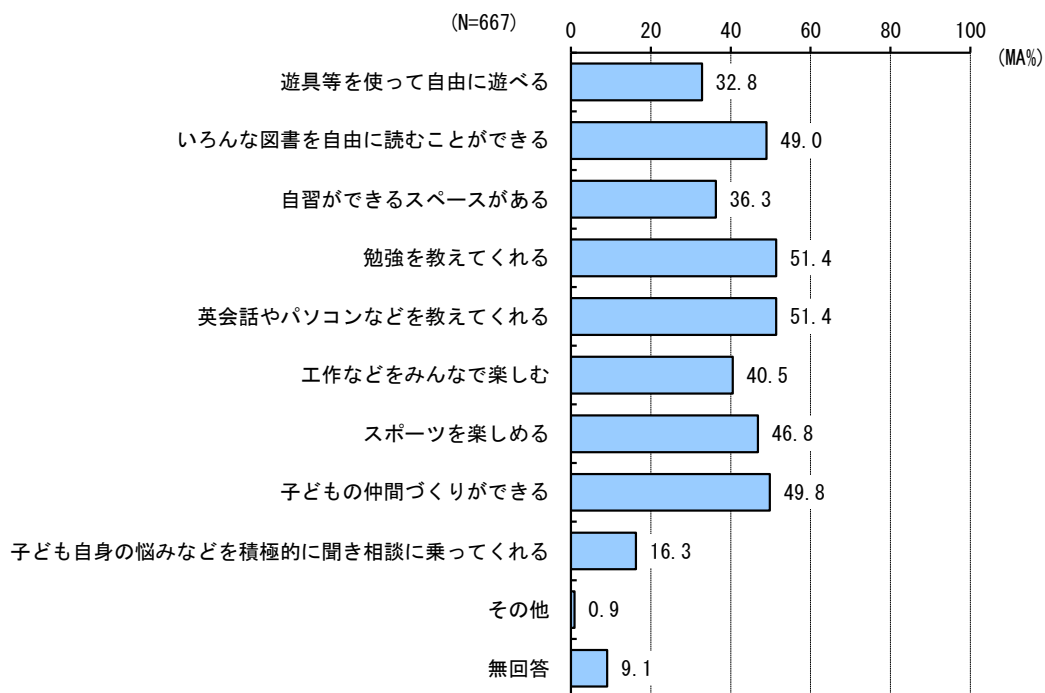
(5) 「放課後子ども教室」でできたらよいと思うこと

問14 「放課後子ども教室」で、どのようなことができたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「放課後子ども教室」でできたらよいと思うことについては、「勉強を教えてくれる」「英会話やパソコンなどを教えてくれる」がともに51.4%で最も多く、次いで「子どもの仲間づくりができる」49.8%、「いろんな図書を自由に読むことができる」49.0%、「スポーツを楽しめる」46.8%となっている。

学年別にみると、1年生では「子どもの仲間づくりができる」が56.3%で最も多い。2年生では「工作などをみんなで楽しむ」の60.0%を筆頭に「勉強を教えてくれる」「いろんな図書を自由に読むことができる」「子どもの仲間づくりができる」「スポーツを楽しめる」が5割を超えている。3年生は「いろんな図書を自由に読むことができる」、4年生と6年生は「勉強を教えてくれる」、5年生は「英会話やパソコンなどを教えてくれる」が最も多くなっている。

【図 「放課後子ども教室」でできたらよいと思うこと (MA)】



【表 学年別 「放課後子ども教室」 でできたらよいと思うこと(MA)】

(単位: Nは人、他は%)

	全体 (N)	に遊具等 を使っ て自由 に遊べる	にいろ んな 図書 が自由 に読 むこ とが でき る	自習 がで きる ス ペー ス あ る	勉 強 を 教 え て く れ る	英 会 話 や パ ソ コ ン な ど を 教 え て く れ る	工 作 な ど を み ん な で 楽 し む	ス ポ ー ツ を 楽 し め る	子 ど も の 仲 間 づ く り が で き る	子 ど も 自 身 の 悩 み 相 手 に な る こ と が あ る	そ の 他	無 回 答	
全 体	667	32.8	49.0	36.3	51.4	51.4	40.5	46.8	49.8	16.3	0.9	9.1	
学 年	1年生	64	37.5	42.2	28.1	42.2	40.6	43.8	56.3	18.8	0.0	18.8	
	2年生	55	49.1	54.5	41.8	56.4	49.1	60.0	50.9	52.7	9.1	0.0	3.6
	3年生	89	40.4	53.9	34.8	49.4	49.4	42.7	52.8	49.4	16.9	1.1	7.9
	4年生	119	30.3	46.2	31.9	54.6	50.4	47.1	48.7	53.8	16.0	0.8	7.6
	5年生	151	29.8	45.0	36.4	48.3	55.0	38.4	41.1	48.3	13.9	2.0	7.9
	6年生	176	26.7	52.3	40.9	55.7	54.5	31.8	46.6	44.9	19.3	0.6	9.7

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

4. 子どものふだんの様子について

(1) 子どもの朝食の摂取状況

問15 あて名のお子さんは、毎日朝食を食べていますか。(○は1つ)

問15で「2.」～「4.」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

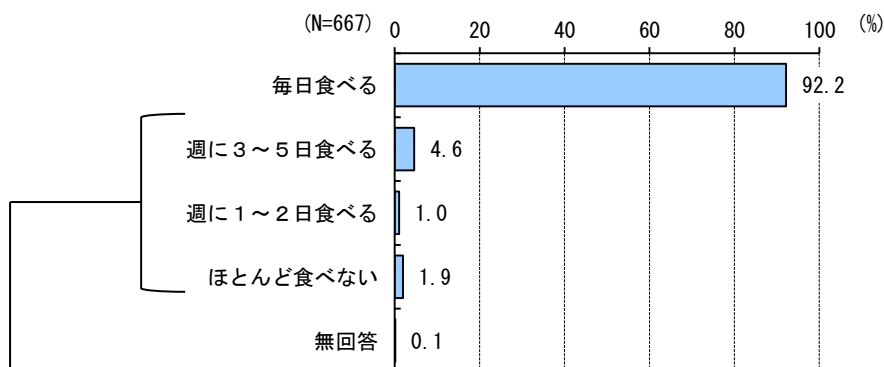
問15-1 朝食を定期的に食べない理由はどれですか。(○は3つまで)

子どもの朝食の摂取状況については、「毎日食べる」が9割を占めている。一方、朝食を定期的に食べていない子ども(「週に3～5日食べる」「週に1～2日食べる」「ほとんど食べない」の合計)は7.5%となっている。

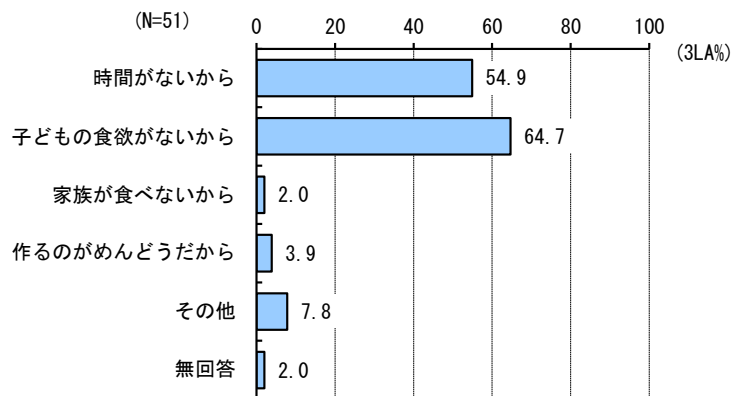
朝食を定期的に食べない理由については、「子どもの食欲がないから」が64.7%で最も多く、次いで「時間がないから」が54.9%となっている。

これらの傾向は、子どもの学年、父母の就労タイプによっても、ほとんど違いはみられない。

【図 子どもの朝食の摂取状況】



【図 朝食を定期的に食べない理由 (3LA)】



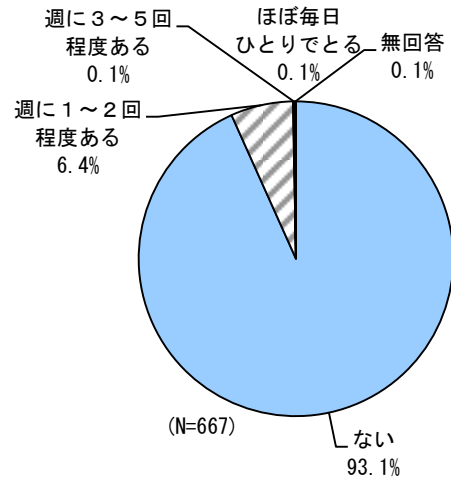
(2) 子どもが一人だけで夕食をとる頻度

問16 あて名のお子さんはひとりだけで夕食をとることがありますか。(○は1つ)

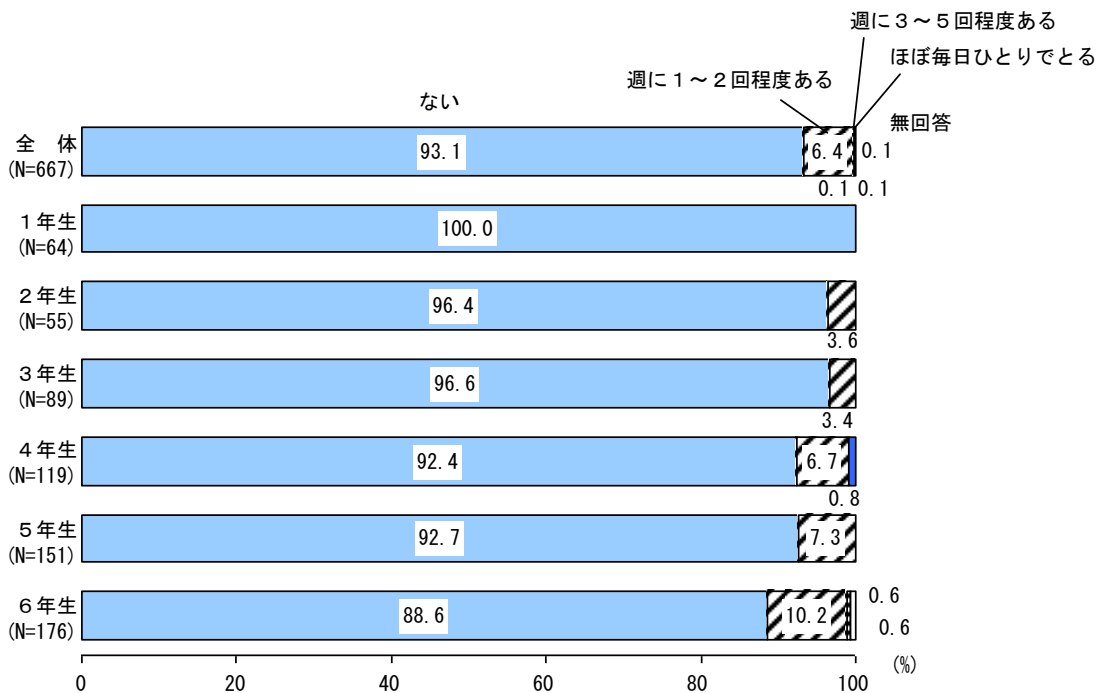
【図 子どもが一人だけで夕食をとる頻度】

子どもが一人だけで夕食をとる頻度については、「ない」が93.1%を占めている。次いで「週に1～2回程度ある」が6.4%となっている。

学年別にみると、どの学年でも「ない」が圧倒的に多いが、「週に1～2回」は、学年が上がるにつれ割合が高くなり、6年生では1割を占めている。



【図 学年別 子どもが一人だけで夕食をとる頻度】



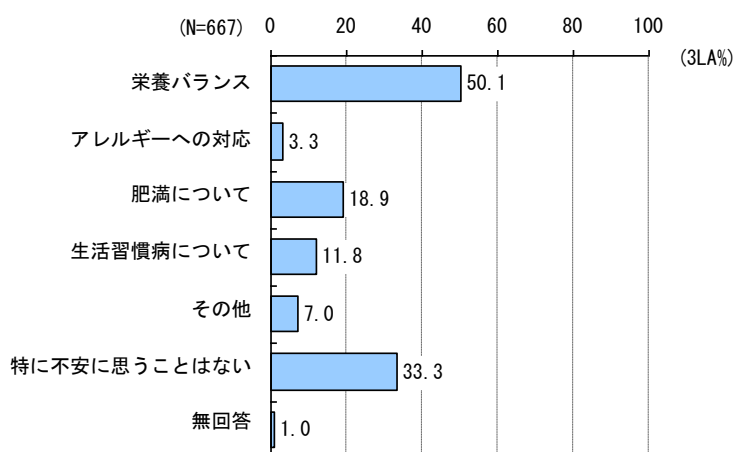
(3) 子どもの食生活で不安に思っていること

問17 あて名のお子さんの日ごろの食生活で、不安に思っていることはありますか。(〇は3つまで)

子どもの食生活で不安に思っていることについては、「栄養バランス」が50.1%で最も多く、次いで「肥満について」18.9%となっており、「特に不安に思うことはない」は33.3%となっている。

学年別にみると、どの学年も「栄養バランス」が最も多いことに違いはないが、その割合は1～3年生の低学年では5割を超えているのに対して、4年生以上では4割台と比較的低くなっている。また、逆に「肥満について」や「生活習慣病について」は、低学年に比べて高学年で割合が高くなっている。

【図 子どもの食生活で不安に思っていること (3LA)】



【表 学年別 子どもの食生活で不安に思っていること (3LA)】

(単位: Nは人、他は%)

	全体 (N)	栄養バランス	アレルギーへの対応	肥満について	生活習慣病について	その他	特に不安に思うことはない	無回答	
全 体	667	50.1	3.3	18.9	11.8	7.0	33.3	1.0	
学 年	1年生	64	56.3	9.4	17.2	9.4	9.4	28.1	0.0
	2年生	55	60.0	1.8	12.7	5.5	14.5	32.7	0.0
	3年生	89	55.1	2.2	14.6	4.5	5.6	31.5	1.1
	4年生	119	43.7	3.4	21.0	16.8	5.9	31.9	3.4
	5年生	151	49.0	3.3	19.2	15.2	8.6	32.5	0.7
	6年生	176	48.9	2.3	21.6	12.5	4.0	37.5	0.6

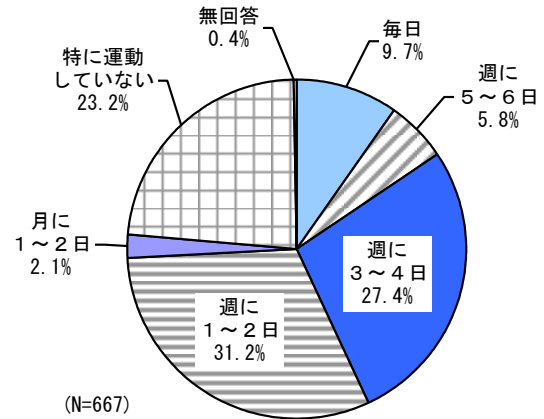
※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

(4) 子どもが授業以外で1日に30分以上の運動をする頻度

問18 あて名のお子さんは学校の授業以外で、1日30分以上の運動やスポーツをしていますか。
(○は1つ) (外遊びや習い事なども含まれます。)

【図 子どもが授業以外で1日に30分以上の運動をする頻度】

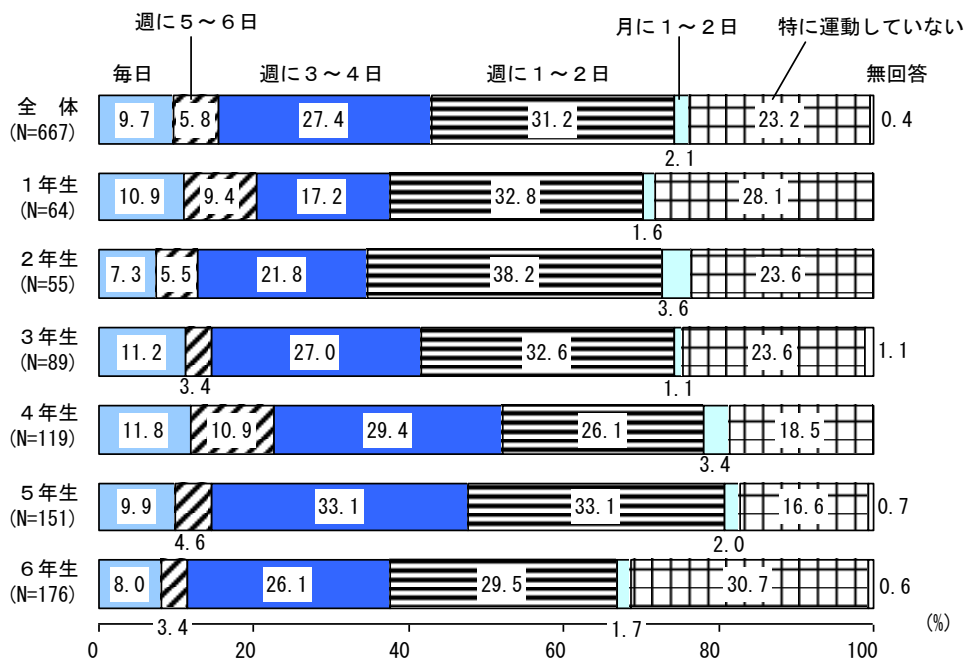
子どもが授業以外で1日に30分以上の運動をする頻度については、「週に1～2日」が31.2%で最も多く、次いで「週に3～4日」27.4%、「特に運動していない」23.2%となっている。



学年別にみると、6年生では「特に運動していない」が30.7%と多くなっている。3年生以下では「週に1～2日」、4年生は「週に3～4日」、5年生は「週に1～2日」と「週に3～4日」が最も多くなっている。

総合的にみると、4年生と5年生が最も運動している割合が高く、6年生が最も低いといえる。

【図 学年別 子どもが授業以外で1日に30分以上の運動をする頻度】



(5) 就寝時刻と起床時刻

問19 あて名のお子さんの平日の就寝時間と起床時間を教えてください。時刻は24時間制で記入してください。

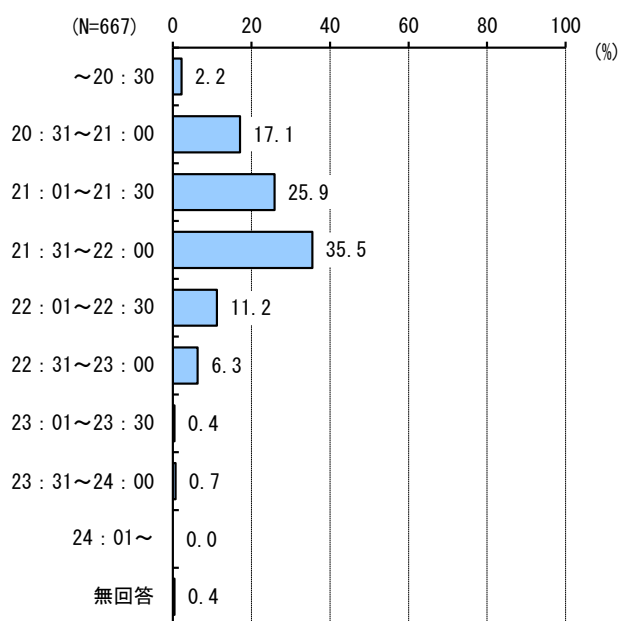
就寝時刻については「21：31～22：00」が35.5%で最も多く、次いで「21：01～21：30」が25.9%と午後9時台が6割を占め、午後9時以前、午後10時以降がそれぞれ約2割となっている。

起床時刻は、「6：01～6：30」が53.8%と5割を超え、「5：31～6：00」「6：31～7：00」がともに2割強となっている。

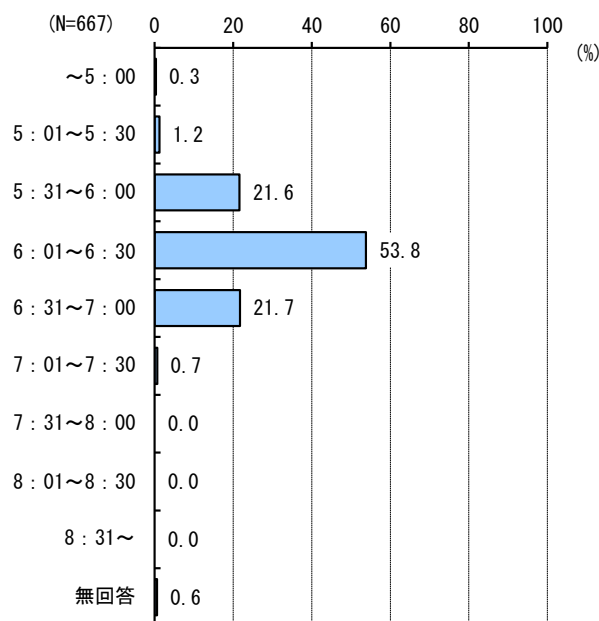
学年別にみると、学年が上がるにつれて就寝時刻は遅くなっており、1年生と2年生は「20：31～21：00」、3年生は「21：01～21：30」、4年生以上は「21：31～22：00」が最も多くなっている。また、6年生では22時31分以降が合わせると15%程度となっている。

起床時刻は、すべての学年で「6：01～6：30」が最も多く、学年による違いは少ない。

【図 就寝時刻】



【図 起床時刻】



【表 学年別 就寝時刻】

(単位:Nは人、他は%)

	全 体 (N)	～	20:31 ～ 21:00	21:01 ～ 21:30	21:31 ～ 22:00	22:01 ～ 22:30	22:31 ～ 23:00	23:01 ～ 23:30	23:31 ～ 24:00	24:01 ～	無回答
		20:30									
全 体	667	2.2	17.1	25.9	35.5	11.2	6.3	0.4	0.7	0.0	0.4
学 年	1年生	64	7.8	43.8	29.7	17.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年生	55	1.8	38.2	25.5	27.3	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年生	89	3.4	14.6	38.2	33.7	7.9	1.1	0.0	1.1	0.0
	4年生	119	2.5	16.0	26.9	37.0	12.6	4.2	0.0	0.0	0.8
	5年生	151	1.3	6.6	25.8	43.7	13.2	7.9	0.0	0.7	0.0
	6年生	176	0.6	10.2	18.8	38.6	15.9	13.1	1.1	1.1	0.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

【表 学年別 起床時刻】

(単位:Nは人、他は%)

	全 体 (N)	～	5:01 ～ 5:30	5:31 ～ 6:00	6:01 ～ 6:30	6:31 ～ 7:00	7:01 ～ 7:30	7:31 ～ 8:00	8:01 ～ 8:30	8:31 ～	無回答
		5:00									
全 体	667	0.3	1.2	21.6	53.8	21.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.6
学 年	1年生	64	0.0	1.6	17.2	64.1	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年生	55	0.0	1.8	30.9	47.3	18.2	0.0	0.0	0.0	1.8
	3年生	89	0.0	1.1	19.1	53.9	24.7	1.1	0.0	0.0	0.0
	4年生	119	0.0	0.0	16.8	58.8	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年生	151	0.7	0.7	17.9	55.0	24.5	0.7	0.0	0.0	0.0
	6年生	176	0.6	2.3	26.7	48.9	19.3	1.7	0.0	0.0	0.0

※一番多い項目に網掛けをしている。

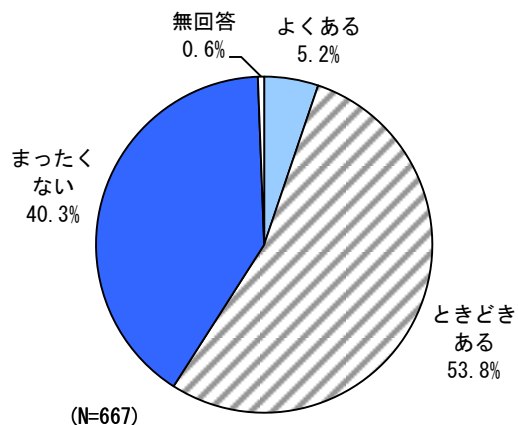
(6) 子どもがイライラしたりふさぎこんだりする頻度

問20 あて名のお子さんは、イライラしたり、ふさぎこんだりすることがありますか。(○は1つ)

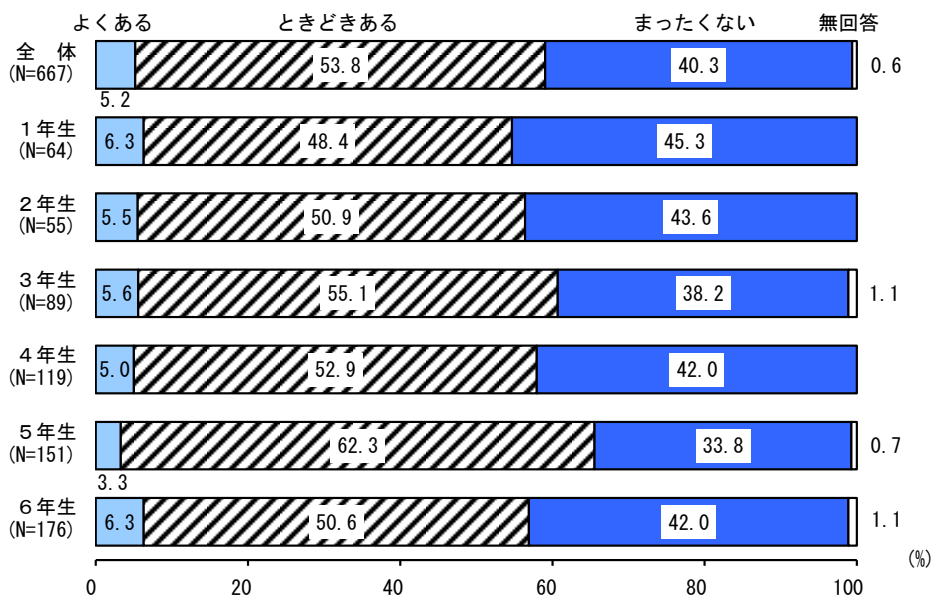
【図 子どもがイライラしたりふさぎこんだりする頻度】

子どもがイライラしたりふさぎこんだりする頻度については、「ときどきある」が53.8%で最も多く、次いで「まったくない」40.3%となっている。「よくある」は少数ではあるが5.2%みられる。

学年別にみると、すべての学年で「ときどきある」が最も多くなっている。「よくある」と「ときどきある」をあわせた割合が高いのは、“5年生”で、65.6%となっている。



【図 学年別 子どもがイライラしたりふさぎこんだりする頻度】



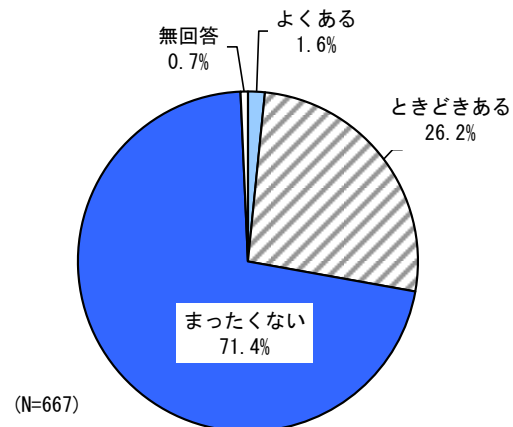
(7) 子どもが「学校へ行きたくない」などと言う頻度

問21 あて名のお子さんは、「学校へ行きたくない」とか「学校を休みたい」と言うことがありますか。(○は1つ)

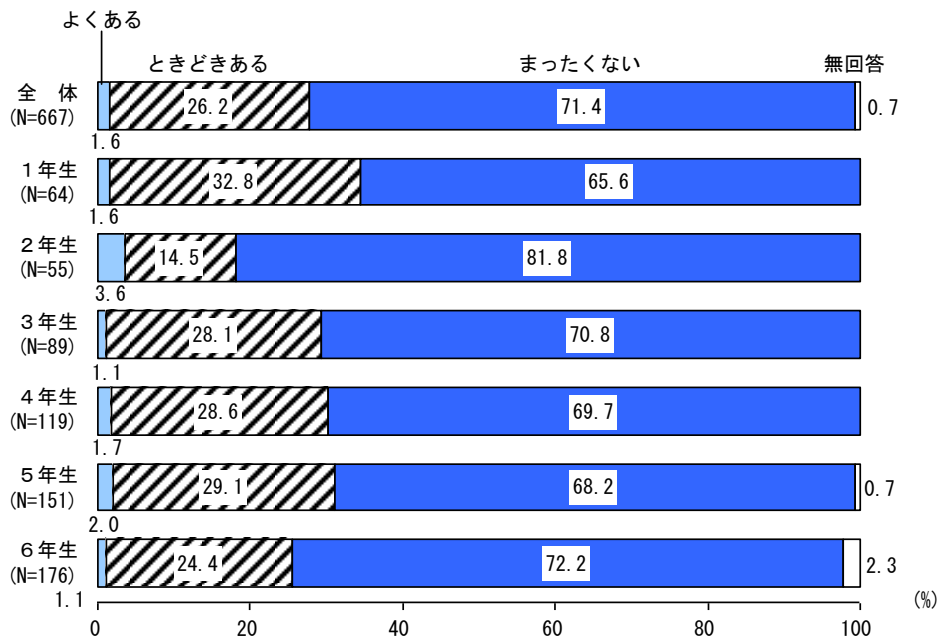
【図 子どもが「学校へ行きたくない」などと言う頻度】

子どもが「学校へ行きたくない」などと言う頻度については、「まったくない」が71.4%と多数を占めている。一方、「ときどきある」は26.2%、「よくある」は1.6%で、あわせると27.8%となっている。

学年別にみると、どの学年も「まったくない」が多数を占めていることに違いはみられない。「ときどきある」と「よくある」をあわせた割合が高いのは“1年生”で、34.4%となっている。逆に「まったくない」の割合が高いのは“2年生”で8割を超えている。



【図 学年別 子どもが「学校へ行きたくない」などと言う頻度】



5. 子育て全般について

(1) 子育ての良さや喜び

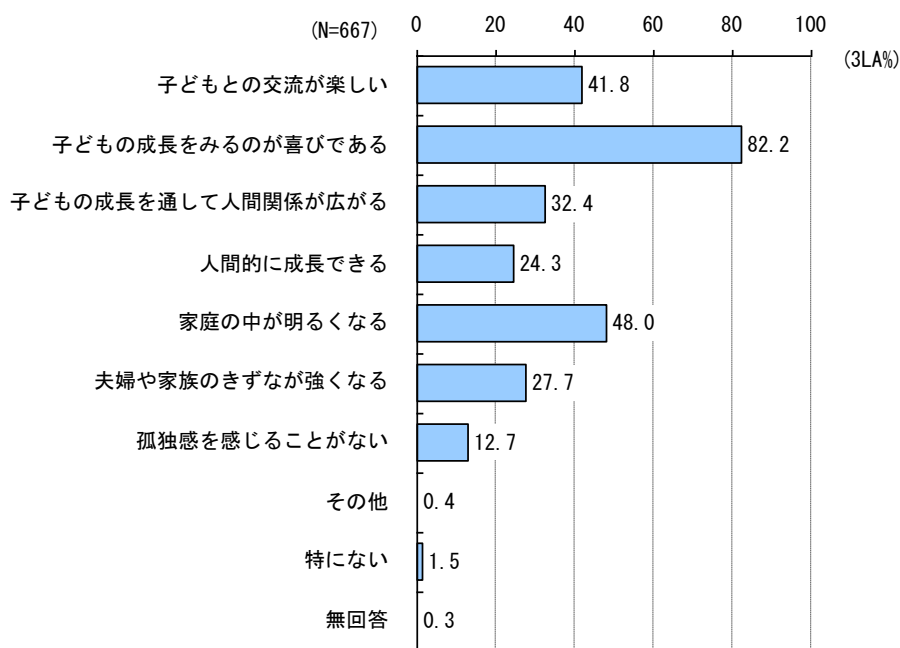
問22 子育てについてどんな良さや喜びを感じますか。(〇は3つまで)

子育ての良さや喜びについては、「子どもの成長をみるのが喜びである」が82.2%で最も多く、次いで「家庭の中が明るくなる」48.0%、「子どもとの交流が楽しい」41.8%となっている。

学年別にみると、すべての年齢で「子どもの成長をみるのが喜びである」が最も多くなっている。割合に着目すると、1年生と2年生では「家庭の中が明るくなる」が多く5割を超えている。3年生以上では「子どもの成長を通して人間関係が広がる」が2年生以下と比べて高くなっている。

父母の就労タイプ別にみると、どの層も「子どもの成長をみるのが喜びである」が最も多いことに違いはみられないが、“ひとり親”では「人間的に成長できる」「孤独感を感じることはない」の割合が比較的高くなっている。

【図 子育ての良さや喜び】



【表 学年別・父母の就労タイプ別 子育ての良さや喜び (3LA)】

(単位: Nは人、他は%)

	全体 (N)	楽しい子どもの交流がある	子どもの成長が喜ばしい	広通する人間関係が	子どもの成長が	成人間的に成長できる	家庭が明るくなる	夫婦や家族の絆が	孤独感を感じない	その他	特になし	無回答
全 体	667	41.8	82.2	32.4	24.3	48.0	27.7	12.7	0.4	1.5	0.3	
学 年	1年生	64	39.1	78.1	15.6	29.7	59.4	32.8	7.8	0.0	1.6	0.0
	2年生	55	45.5	80.0	27.3	21.8	56.4	29.1	10.9	0.0	0.0	0.0
	3年生	89	49.4	80.9	34.8	23.6	48.3	24.7	9.0	1.1	2.2	0.0
	4年生	119	41.2	82.4	32.8	23.5	36.1	32.8	16.8	1.7	2.5	0.0
	5年生	151	42.4	81.5	37.1	23.8	48.3	24.5	14.6	0.0	0.7	0.7
	6年生	176	35.8	85.2	34.7	24.4	48.9	26.1	13.1	0.0	1.7	0.6
就 労 父 母 の 就 労 タ イ プ	ひとり親	52	46.2	84.6	23.1	34.6	48.1	11.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	フルタイム×フルタイム	200	46.5	83.0	29.5	19.5	52.0	29.0	8.0	0.5	1.0	0.0
	フルタイム×パートタイム	283	38.2	80.2	38.5	26.9	46.3	29.3	13.8	0.4	1.4	0.4
	専業主婦(夫)	95	41.1	86.3	29.5	22.1	46.3	29.5	7.4	0.0	3.2	0.0
	その他	20	25.0	65.0	30.0	20.0	45.0	30.0	20.0	5.0	5.0	5.0

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

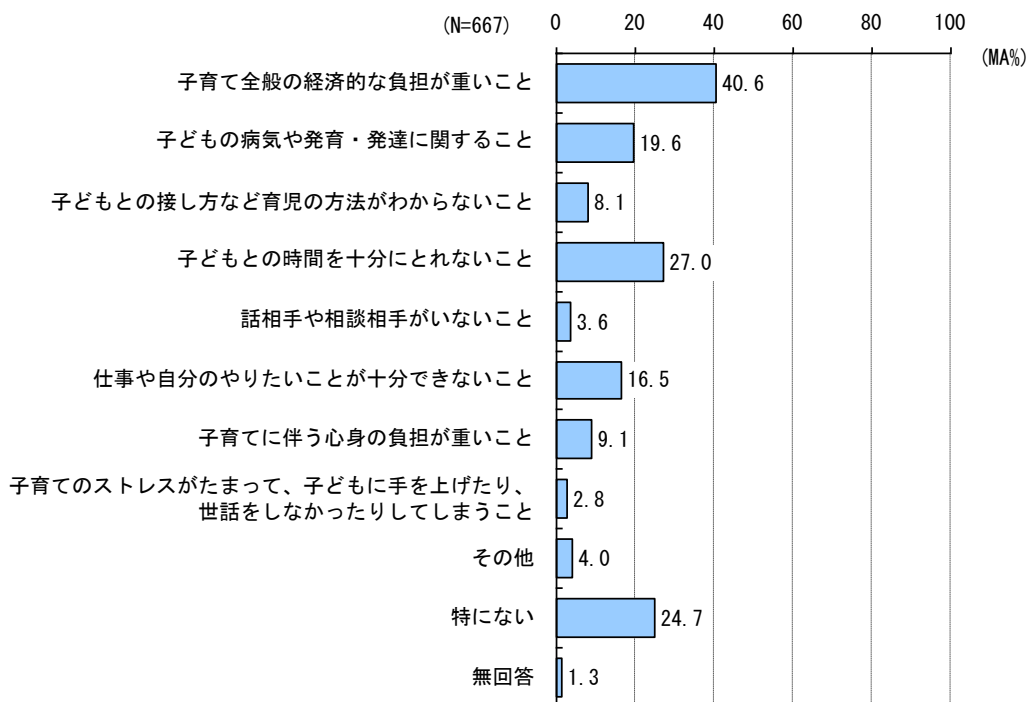
(2) 子育てについての不安や悩み

問23 子育てについて、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

子育てについての不安や悩みについては、「子育て全般の経済的な負担が重いこと」が40.6%で最も多く、次いで「子どもとの時間を十分にとれないこと」27.0%、「特にない」24.7%となっている。

父母の就労タイプ別にみると、「ひとり親」と「フルタイム×パートタイム」では「子育て全般の経済的な負担が重いこと」が、「フルタイム×フルタイム」では「子どもとの時間を十分にとれないこと」が、「専業主婦(夫)」では「特にない」が最も多くなっている。

【図 子育てについての不安や悩み (MA)】



【表 学年別・父母の就労タイプ別 子育てについての不安や悩み(MA)】

(単位: Nは人、他は%)

	全 体 (N)	子育て全般の経済的な負担が重 いこと	子どもの病気や発育・発達に関 すること	子どもとの接し方など育児の方 法がわからないこと	子どもとの時間を十分にとれな いこと	話相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十 分できないこと	子育てに伴う心身の負担が重い こと	子育てのストレスがたまつて、 子どもに手を上げたり、世話を しなかつたりしてしまふこと	その他	特 に な い	無 回 答	
全 体	667	40.6	19.6	8.1	27.0	3.6	16.5	9.1	2.8	4.0	24.7	1.3	
学 年	1年生	64	34.4	20.3	9.4	31.3	1.6	21.9	9.4	7.8	3.1	28.1	1.6
	2年生	55	29.1	16.4	16.4	40.0	0.0	27.3	9.1	5.5	5.5	21.8	1.8
	3年生	89	44.9	19.1	10.1	28.1	3.4	15.7	3.4	2.2	3.4	21.3	1.1
	4年生	119	43.7	18.5	7.6	17.6	3.4	17.6	11.8	1.7	3.4	26.9	0.0
	5年生	151	40.4	19.9	6.6	23.8	4.6	11.3	7.3	2.0	6.6	25.8	1.3
	6年生	176	41.5	20.5	5.7	29.0	4.5	14.2	12.5	2.3	1.7	23.9	2.3
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	52	48.1	11.5	11.5	40.4	5.8	23.1	9.6	5.8	9.6	21.2	1.9
	フルタイム×フルタイム	200	38.0	19.0	7.5	49.0	2.0	16.5	8.0	2.5	4.0	19.0	1.0
	フルタイム×パートタイム	283	43.1	19.8	7.1	15.5	2.5	14.8	7.4	3.2	3.5	27.9	1.4
	専業主婦(夫)	95	31.6	24.2	7.4	6.3	3.2	16.8	12.6	0.0	3.2	32.6	2.1
	その他	20	45.0	20.0	15.0	15.0	5.0	15.0	25.0	5.0	5.0	20.0	0.0

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

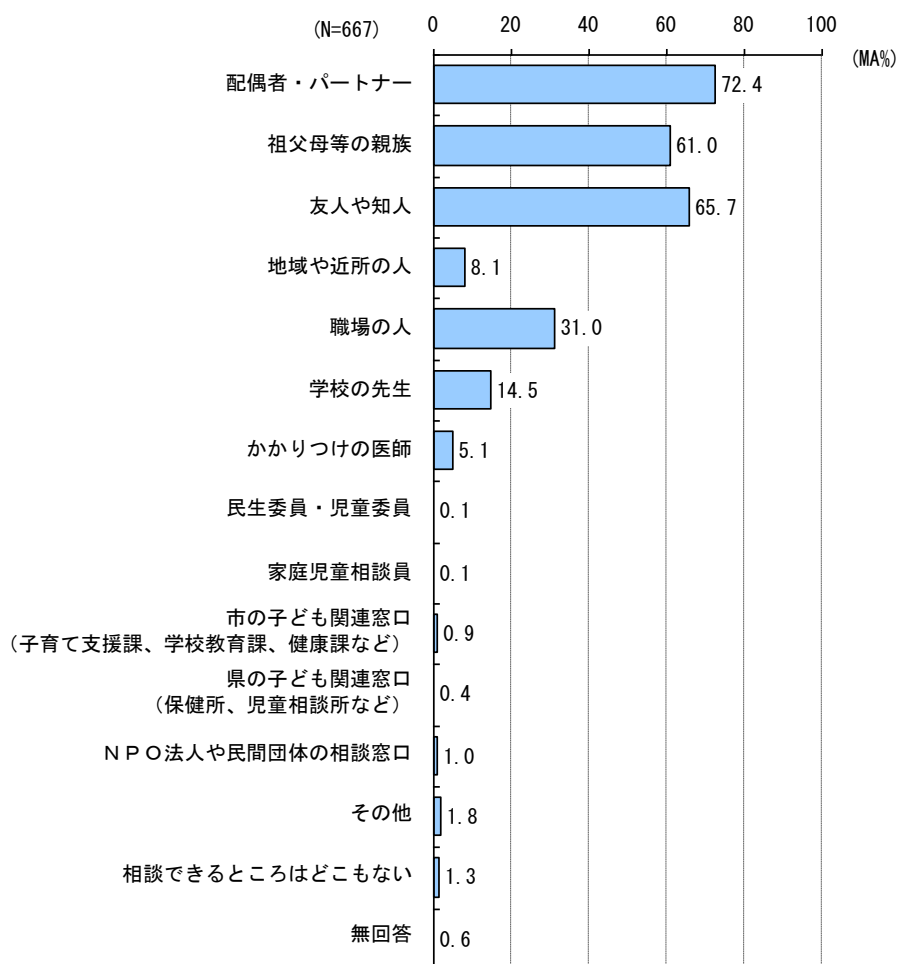
(3) 子育てに関する相談先

問24 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 （〇はいくつでも）

子育てに関する相談先については、「配偶者・パートナー」が72.4%で最も多く、次いで「友人や知人」65.7%、「祖父母等の親族」61.0%となっている。市や県の窓口や専門員などは極めて少ない。また、「相談できる場所はどこもない」も1.3%と少数で、ほとんどの保護者が何らかの相談先をもっている。

学年別や父母の就労タイプ別にみても、順位が変わるものの上位3位にあげられる事項はほぼ共通している（“ひとり親”を除く）。

【図 子育てに関する相談先 (MA)】



【表 学年別・父母の就労タイプ別 子育てに関する相談先 (MA)】

(単位: Nは人、他は%)

		全 体 (N)	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー	祖 父 母 等 の 親 族	友 人 や 知 人	地 域 や 近 所 の 人	職 場 の 人	学 校 の 先 生	か か り つ け の 医 師	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	家 庭 児 童 相 談 員	市 の 子 ど も 関 連 窓 口 (<small>子育て支援課、 学校教育課、健康課など</small>)	県 の 子 ど も 関 連 窓 口 (<small>保健所、児童相談所など</small>)	N P O 法 人 や 民 間 団 体 の 相 談 窓 口	そ の 他	相 談 で き る と こ ろ は ど こ も な い	無 回 答
全 体		667	72.4	61.0	65.7	8.1	31.0	14.5	5.1	0.1	0.1	0.9	0.4	1.0	1.8	1.3	0.6
学 年	1年生	64	70.3	68.8	65.6	6.3	20.3	17.2	3.1	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6
	2年生	55	67.3	65.5	69.1	7.3	29.1	10.9	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	3.6	0.0
	3年生	89	76.4	60.7	64.0	10.1	33.7	10.1	6.7	0.0	1.1	3.4	1.1	2.2	3.4	1.1	0.0
	4年生	119	71.4	52.9	68.1	3.4	35.3	16.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.8	0.0
	5年生	151	70.2	63.6	64.2	10.6	27.2	14.6	2.6	0.0	0.0	0.7	1.3	1.3	0.7	1.3	1.3
	6年生	176	75.0	58.5	64.8	9.1	34.7	16.5	7.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6	1.7	1.1	0.6
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	52	13.5	63.5	53.8	7.7	30.8	19.2	5.8	0.0	0.0	1.9	0.0	3.8	1.9	5.8	1.9
	フルタイム×フルタイム	200	79.5	66.0	61.5	5.5	44.0	13.5	4.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	2.5	0.5	0.5
	フルタイム×パートタイム	283	81.3	58.3	73.5	9.5	33.9	13.1	5.3	0.0	0.0	1.1	0.4	0.7	0.7	0.7	0.4
	専業主婦(夫)	95	76.8	64.2	67.4	9.5	2.1	13.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	2.1	1.1	0.0
	その他	20	50.0	35.0	40.0	10.0	0.0	15.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	10.0	5.0	5.0

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目に薄い網掛けをしている。

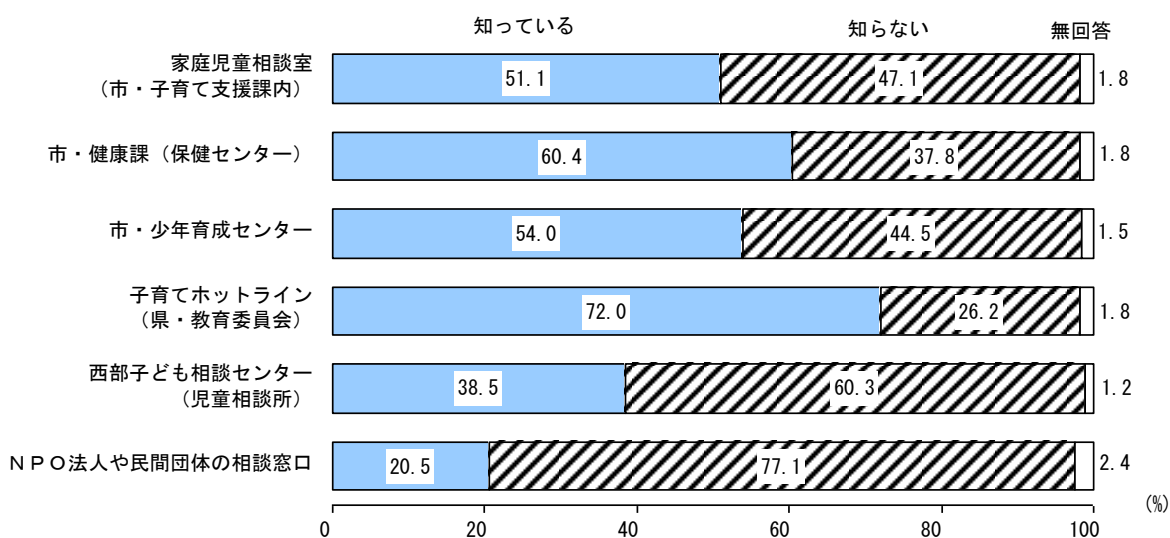
(4) 子どもに関する相談機関の認知度と利用状況

問25 香川県内及び丸亀市内の子どもに関する相談先について、A～Bのそれぞれに「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

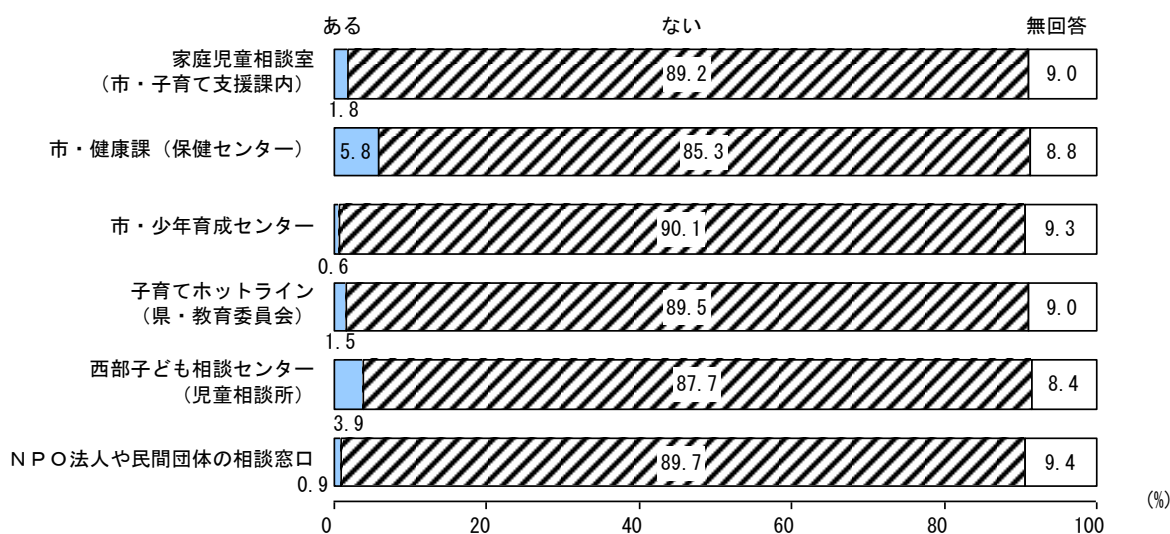
子どもに関する相談機関の認知度については、高い順に並べると、「子育てホットライン（県・教育委員会）」72.0%、「市・健康課（保健センター）」60.4%、「市・少年育成センター」54.0%、「家庭児童相談室（市・子育て支援課内）」51.1%、「西部子ども相談センター（児童相談所）」38.5%、「NPO法人や民間団体の相談窓口」20.5%となっており、いずれも就学前の保護者より認知度は高くなっている。（参照P75）

これまでの利用経験については、最も多い「市・健康課（保健センター）」でも5.8%に過ぎず、他は極めて少ない。なお、利用率は就学前の保護者より低くなっている。

【図 子どもに関する相談機関の認知度】



【図 子どもに関する相談機関の利用経験】



【表 学年別・父母の就労タイプ別 子どもに関する相談機関の認知度・利用率】

(単位:Nは人、他は%)

	全 体 (N)	認知度						利用率(利用したことがある人の比率)						
		家庭児童相談室 (市・子育て支援課内)	市・健康課 (保健センター)	市・少年育成センター	子育てホットライン (県・教育委員会)	西部子ども相談センター (児童相談所)	NPO法人や民間団体の相談窓口	家庭児童相談室 (市・子育て支援課内)	市・健康課 (保健センター)	市・少年育成センター	子育てホットライン (県・教育委員会)	西部子ども相談センター (児童相談所)	NPO法人や民間団体の相談窓口	
全体	667	51.1	60.4	54.0	72.0	38.5	20.5	1.8	5.8	0.6	1.5	3.9	0.9	
学年	1年生	64	46.9	67.2	56.3	67.2	40.6	18.8	3.1	6.3	0.0	1.6	3.1	0.0
	2年生	55	49.1	58.2	47.3	70.9	36.4	21.8	1.8	1.8	1.8	3.6	1.8	1.8
	3年生	89	52.8	68.5	51.7	76.4	39.3	20.2	2.2	11.2	0.0	2.2	6.7	3.4
	4年生	119	55.5	65.5	62.2	73.1	42.9	24.4	0.8	3.4	0.8	0.0	2.5	0.0
	5年生	151	54.3	55.6	51.0	76.2	34.4	20.5	1.3	6.6	0.0	2.0	3.3	0.7
	6年生	176	48.9	56.8	55.1	68.2	38.1	18.2	2.3	5.1	1.1	1.1	5.1	0.6
区域	東中学校区	98	44.9	48.0	45.9	66.3	43.9	17.3	3.1	4.1	0.0	2.0	6.1	1.0
	西中学校区	86	62.8	64.0	61.6	66.3	51.2	22.1	1.2	8.1	2.3	1.2	5.8	1.2
	南中学校区	115	52.2	65.2	60.9	75.7	37.4	18.3	3.5	4.3	1.7	2.6	2.6	0.0
	綾歌中学校区	132	53.0	62.9	58.3	72.7	32.6	21.2	1.5	9.1	0.0	0.0	0.8	1.5
	飯山中学校区	231	48.5	61.0	49.4	74.5	35.5	22.1	0.9	4.8	0.0	1.7	4.8	0.9

※「認知度」については一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目にうすい網掛けをしている。

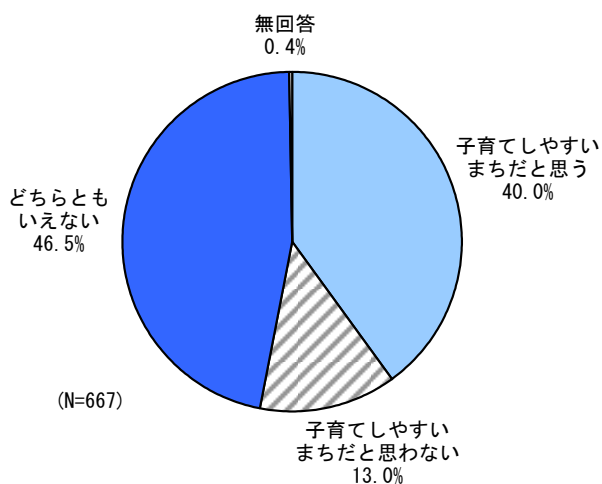
「利用率」については一番多い項目に網掛けをしている。

(5) 丸亀市は子育てしやすいまちだと思うか

問26 丸亀市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

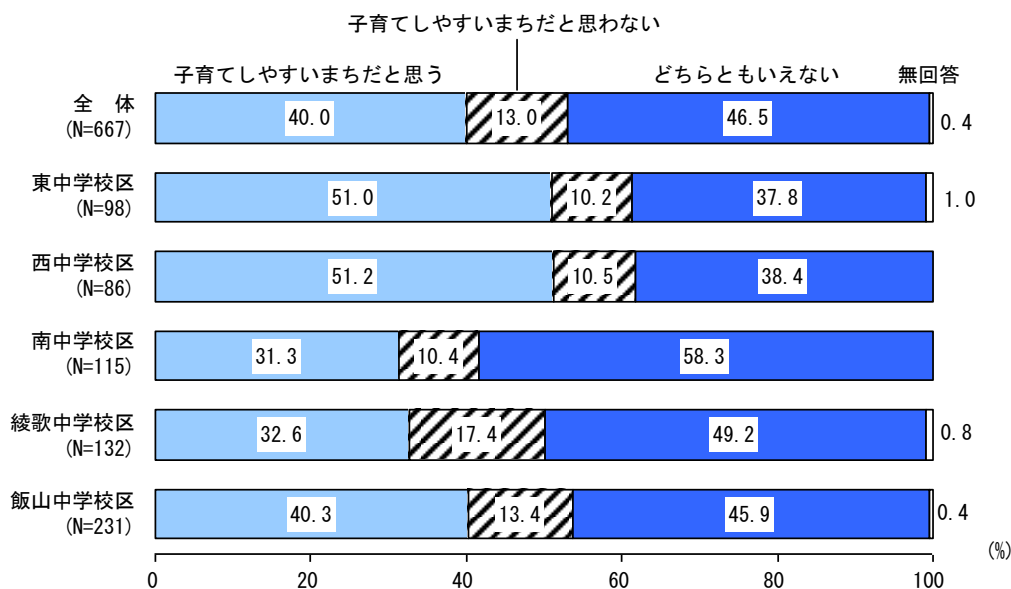
【図 丸亀市は子育てしやすいまちだと思うか】

丸亀市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「どちらともいえない」が46.5%で最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」40.0%、「子育てしやすいまちだと思わない」13.0%の順になっている。



区域別にみると、東中学校区と西中学校区では「子育てしやすいまちだと思う」が5割を超えている。一方、南中学校区、綾歌中学校区、飯山中学校区では「どちらともいえない」が「子育てしやすいまちだと思う」を上回っている。なお、どの区域も「子育てしやすいまちだとは思わない」は10%台と少ない。

【図 区域別 丸亀市は子育てしやすいまちだと思うか】



(6) 子育てしやすいまちだと思わない理由

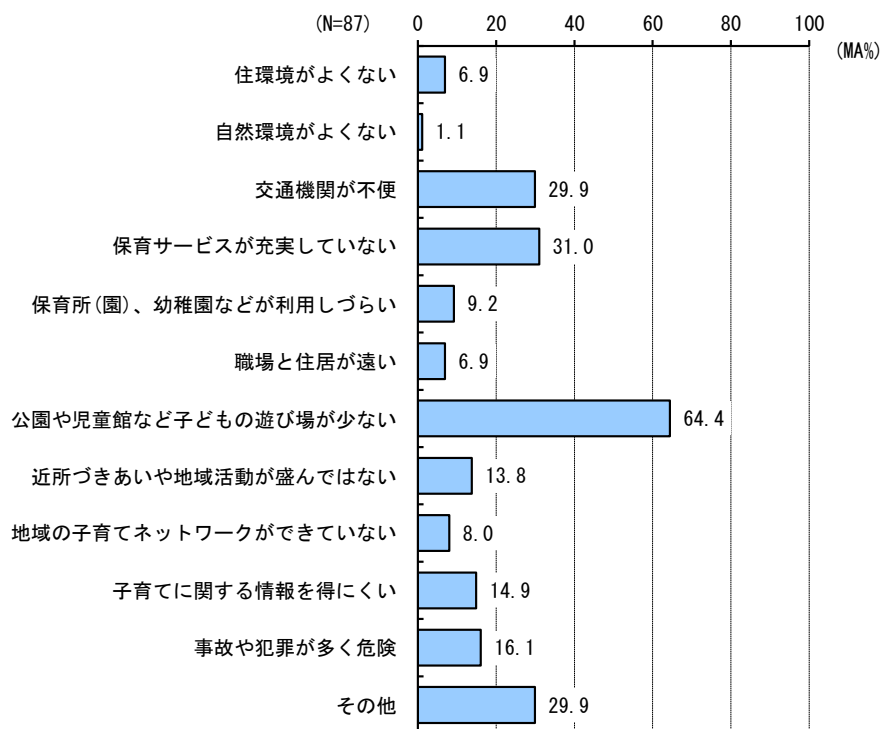
問26で「2.」に○をつけた方におうかがいします。

問26-1 子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

子育てしやすいまちだと思わないと回答した人の理由については、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が64.4%で最も多く、次いで「保育サービスが充実していない」31.0%、「交通機関が不便」29.9%となっている。なお、「その他」の回答は29.9%あるが、その内容では7割が「医療費が高い」ことをあげている。

区域別にみると、サンプル数(N)が少ない西中学校区を除くと、どの区域も「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が最も多いが、特に南中学校区と飯山中学校区で割合が高くなっている。

【図 子育てしやすいまちだと思わない理由(MA)】



【表 学年別・区域別・父母の就労タイプ別 子育てしやすいまちだと思わない理由(MA)】

(単位:Nは人、他は%)

		全 体 (N)	住 環 境 が よ く な い	自 然 環 境 が よ く な い	交 通 機 関 が 不 便	保 育 サ ー ビ ス が 充 実 し て い な い	保 育 所 (園)、 幼 稚 園 等 が 利 用 し づ ら い	職 場 と 住 居 が 遠 い	公 園 や 児 童 館 な ど 子 ど も の 遊 び 場 が 少 な い	近 所 づ き あ い や 地 域 活 動 が 盛 ん で は な い	地 域 の 子 育 て ネ ッ ト ワ ー ク が で き て い な い	子 育 て に 関 す る 情 報 を 得 に く い	事 故 や 犯 罪 が 多 く 危 険	そ の 他
全 体		87	6.9	1.1	29.9	31.0	9.2	6.9	64.4	13.8	8.0	14.9	16.1	29.9
学 年	1年生	10	20.0	10.0	30.0	40.0	20.0	10.0	80.0	30.0	10.0	20.0	20.0	10.0
	2年生	7	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6
	3年生	13	0.0	0.0	7.7	23.1	7.7	0.0	69.2	23.1	23.1	23.1	15.4	15.4
	4年生	19	10.5	0.0	26.3	15.8	0.0	0.0	47.4	5.3	0.0	15.8	15.8	57.9
	5年生	11	0.0	0.0	36.4	45.5	0.0	9.1	63.6	27.3	9.1	9.1	27.3	18.2
	6年生	21	9.5	0.0	42.9	42.9	19.0	19.0	66.7	9.5	4.8	9.5	14.3	38.1
区 域	東中学校区	10	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	40.0	20.0	10.0	40.0	10.0	30.0
	西中学校区	9	0.0	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	44.4	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1
	南中学校区	12	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	100.0	8.3	0.0	8.3	41.7	33.3
	綾歌中学校区	23	0.0	0.0	47.8	30.4	4.3	4.3	56.5	8.7	4.3	8.7	13.0	43.5
	飯山中学校区	31	16.1	3.2	35.5	35.5	6.5	16.1	71.0	19.4	6.5	12.9	12.9	25.8
就 労 父 母 の タ イ プ	ひとり親	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	フルタイム×フルタイム	29	6.9	0.0	41.4	41.4	17.2	3.4	69.0	10.3	3.4	13.8	24.1	20.7
	フルタイム×パートタイム	32	3.1	3.1	25.0	25.0	6.3	12.5	71.9	15.6	6.3	18.8	12.5	43.8
	専業主婦(夫)	16	18.8	0.0	6.3	25.0	6.3	0.0	50.0	18.8	18.8	12.5	6.3	31.3
	その他	6	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0

※一番多い項目に濃い網掛け、二番目に多い項目にうすい網掛けをしている。

V. 自由意見のまとめ

調査票に自由意見欄を設けたところ、就学前児童の保護者 1,232 人(全体の 38.1%)から 2,142 件、小学生の保護者 197 人(全体の 29.5%)から 413 件の意見が寄せられた。

意見を項目ごとに整理すると、以下の通りである。

1. 保健・医療について

内容	就学前	小学生	合計
医療費補助の充実(無料年齢の引き上げ、予防注射の助成、医療費がかかるので子どもが病気になっても我慢させてしまう)	153	56	209
母子健診の充実(無料、機会、場所)、健診実施の通知が来ない	9	0	9
小児科の充実(増設、夕方夜間休日の利用、病児保育の実施)	6	0	6
医療体制の充実(夜間・休日診療病院の増加、診療時間の延長)	4	0	4
乳児家庭全戸訪問の実施(出産後も定期的に)、保健師への相談会の開催・充実	3	0	3
その他	1	0	1
合計件数	176	56	232

2. 保育所について

内容	就学前	小学生	合計
保育料の見直し(無償化、値下げ、所得別料金の見直し、低所得者への手厚い支援)、働いた分をほとんど保育料にあてるため働く意味がない	142	2	144
入所条件の見直し(未就労時の受け入れ、就職活動中の受け入れ、就労時間などのハードルを下げてほしい、育児休暇中・出産中の受け入れ、兄弟姉妹同じ園に、1歳未満児の受け入れ)	47	2	49
時間延長(開始時間と終了時間)	46	2	48
一時・短期・夜間・休日保育の実施・充実、長期休暇中だけの受け入れ	46	0	46
職員の量質向上(信頼できる保育士を採用、保育士への指導)、教育内容の改善、公立と私立のレベルは同じに	35	4	39
希望の保育所に入りやすくしてほしい(希望の保育所に入れるか不安、年度途中に受け入れてほしい、入所決定時期の見直し、2歳児までの定員の増加)	37	1	38
保育所の増設(空きがない、近場にほしい)、保育所の統廃合をしないでほしい	24	0	24
設備の充実(遊具の充実、広い園庭、老朽施設の改修、耐震化、等)	13	0	13
待機児童の解消	13	0	13
警報時にも預かりをしてほしい	10	0	10
保育士の待遇改善	9	0	9
児童発病時の対応改善、病児の預かりをいつもの保育所でしてほしい	8	0	8
給食の改善(食育、食材の安全性、アレルギーの対応、栄養バランス)、弁当持参を可能にしてほしい	5	0	5
不正入園の是正(担当課の不正、園の不正、保護者の不正)、公平に入所できるようにする	5	0	5

V. 自由意見のまとめ

幼稚園との教育の差をなくしてほしい	4	0	4
入所申請の結果が分かるのが遅すぎる、入所審査を月1回ではなく随時してほしい	4	0	4
行事参加の見直し（負担軽減、休日実施など親も参加できるように）	4	0	4
障がい児を健常児と同様に受け入れてほしい	3	0	3
ならし保育中の仕事との両立が難しい	2	0	2
園庭の開放	2	0	2
保育所での様子を連絡してほしい	2	0	2
民営化反対	2	0	2
その他	4	0	4
合計件数	467	11	478

3. 幼稚園について

内容	就学前	小学生	合計
時間延長（午前9時より早く登園させてほしい、公立幼稚園の降園時間を延長してほしい）	52	3	55
給食の全園実施・改善（食育、アレルギーの対応、栄養バランス）、弁当持参を可能にしてほしい	55	0	55
一時預かり・土曜日や長期休暇中の受け入れ、預かり保育の廃止反対	45	2	47
職員の質の向上、教育内容の改善	18	2	20
幼稚園の利用料の見直し（無償化、値下げ、民間幼稚園が高い）	19	0	19
幼稚園の増設（近場にほしい、小学校区ごとにほしい）	10	0	10
施設・設備の充実（老朽施設の改修、広い園庭、駐車場の設置、通園バス、子ども用トイレ、玩具 等）	10	0	10
P T A活動や行事参加の負担軽減、親が行事に参加できない家庭の子が寂しそう	7	0	7
私立幼稚園への助成（利用料金の補助）	6	0	6
入園条件の見直し（就労していても預けられるように、兄弟姉妹同じ園に）	3	0	3
その他	5	0	5
合計件数	230	7	237

4. 認定こども園について

内容	就学前	小学生	合計
認定こども園を早くつくってほしい	22	0	22
何が変わるのかわからない（変わることに伴うメリットとデメリットを知りたい、情報がない）	14	0	14
飯山では幼稚園が預かり保育をすることで「こども園」的な機能を持っていたのに、これがなくなったのはおかしい	3	0	3
合計件数	39	0	39

5. 青い鳥教室について

内容	就学前	小学生	合計
対象年齢の引き上げ（すぐに小学6年生まで）	38	18	56
指導員の質的向上、内容の充実・勉強（宿題）の実施、給食の実施	19	6	25
増設・拡充（新設、保育所・幼稚園・中学校にも設置、定員増加、希望者全員の受け入れ）	16	9	25
休日、振替休暇、長期休暇中（お盆の間も）の実施	15	7	22
時間延長（開始時間と終了時間）	16	3	19
一時利用可能に（1日のみ、休日のみ、長期休暇のみ）	5	2	7
利用料の見直し（無償化、値下げ、1日単位料金、時間単位料金）	6	0	6
警報時の対応改善（時間まで学校で待機、警報がでて実施）	3	1	4
設備の充実	4	0	4
青い鳥教室での様子を連絡してほしい	2	0	2
その他	1	0	1
合計件数	125	46	171

6. 小学校について

内容	就学前	小学生	合計
教員の充実（人数・経験・資質・子どもへの配慮、民間企業経験者の採用、先生への研修・指導をしてほしい）	18	20	38
公立学校のレベルアップ・教育内容の充実と見直し	17	18	35
給食の改善（食育、食材の安全性、アレルギーの対応、栄養バランス）、弁当持参を可能にしてほしい	11	0	11
土曜日授業の復活	6	3	9
登下校の安全確保（集団登校、通学バス、スクールゾーンの導入、ボランティアによる見守り）	4	5	9
校庭・体育館・プール・図書室・教室の開放	1	8	9
警報時の対応改善（時間まで学校で待機）	2	3	5
障がい児への教職員の理解度向上と教育内容の充実	4	1	5
休日・放課後・長期休暇中にボランティアでスポーツや習い事等を実施してほしい	2	3	5
設備の充実（遊具の設置、プールの設置、校舎の耐震化）	2	3	5
PTA活動、学校行事参加の負担軽減、行事に親が参加しやすいように	3	1	4
校区にとらわれない学校選択制度の導入、近所の子どもは同じ学校に行けるようにしてほしい	3	0	3
保育所と小学校の連携の強化	3	0	3
制服を導入してほしい	2	0	2
その他	2	0	2
合計件数	80	65	145

7. 子育て支援について ①子育て支援事業等

内容	就学前	小学生	合計
病児・病後児保育事業の充実（人員の量質向上（信頼できる保育士・看護師を）、施設の増設、定員の増加、当日申し込みを可能に、利用時間の見直し（延長・休日）、利用料の見直し、送迎バス）	61	6	67
児童館、子育て支援センター事業の充実（講座やイベントの充実、定員の増加、夕方・休日・長期休暇中の利用など利用時間の見直しなど、衛生管理強化）	58	4	62
一時的な預け先の充実（夜間、休日、長期休暇中のみ、警報、病気、出産、私用、リフレッシュ、就職活動、等するとき）、事前登録なしの利用を可能に	44	10	54
障がい児への支援充実（社会の理解向上、経済的支援、教育支援、障がいの度合いに応じた支援、相談先の充実、預け先の充実）	24	2	26
ファミリー・サポート・センターの充実（利用場所・利用料・利用時間の見直し）	10	2	12
子育て支援事業の各種サービスの利用に不安がある（どんな人が担当するかわからない、担当者が子どもを雑に扱う）	7	0	7
ベビーシッター、ヘルパーなどの支援の充実	2	0	2
合計件数	206	24	230

7. 子育て支援について ②情報提供・相談支援

内容	就学前	小学生	合計
子育て支援に関する情報・手続きの仕方を各家庭に周知してほしい（郵便、メール、SNS）	102	9	111
子育てに関する相談先の充実（信頼できる頼りになる相談担当者、定期的な相談会、相談窓口の増設、相談できる時間の延長、気軽に相談できる場所、フリーダイヤル）	21	6	27
子育て支援や幼稚園入園・保育所入所に関する申請手続きを簡略化・迅速化・休日受付を可能にしてほしい	3	2	5
合計件数	126	17	143

7. 子育て支援について ③子育て支援施設等の施設整備、設備改善

内容	就学前	小学生	合計
児童館、子育て支援センター、保健福祉センター、コミュニティセンターの増設	27	8	35
児童館、子育て支援センター、保健福祉センター、コミュニティセンターの施設・設備の充実・改善（駐車場の設置、設備や遊具の充実、ベビーカー利用者への配慮）	9	2	11
いろいろなスポーツができる施設（野球・サッカー以外にも）がほしい、教えてくれる教室を増やしてほしい	0	7	7
子どもと一緒に気軽に利用できる施設の充実（遊び場所、食事できる所）	4	0	4
合計件数	40	17	57

7. 子育て支援について ④その他

内容	就学前	小学生	合計
児童手当の充実、教育費の支援、各種サービス利用料の見直し（無償化、値下げ、所得制限の見直し）	47	19	66
経済的な不安がある	18	7	25
母子家庭、父子家庭への支援充実	20	5	25
子ども（乳幼児、小学生）・親・お年寄り・地域の人たちとの交流の場をつくってほしい	15	6	21
イベント内容の充実（稲刈り、芋掘り 等）、イベントを利用しやすく（回数を増やす、平日にも休日にも実施する）	12	4	16
地域によって差がある支援の見直し	10	6	16
多子家庭、双子家庭への支援充実	11	4	15
より良い支援・助成があればもっと子どもを産みたい	13	1	14
子どもが安心して成長できるまちづくりの推進	6	4	10
母親が働かず子育てに専念できる環境にしてほしい	5	2	7
親と子どもの精神的ケアの充実	3	2	5
子育て世帯への社会の理解向上	2	2	4
助成を公平にしてほしい（働いた分だけ支援が減り働き損になるのを改善してほしい、所得制限の見直し、助成期間の見直し 等）	3	0	3
おむつやそのゴミ袋の支給、ベビー用品（チャイルドシート 等）の補助金を出してほしい	3	0	3
塾・習い事の補助金がほしい、習い事をボランティアで教えてほしい	2	1	3
児童虐待の防止対策	2	0	2
その他	3	0	3
合計件数	175	63	238

8. 遊び場、居場所づくり、生活環境整備について

内容	就学前	小学生	合計
公園の増設、ボール遊びができる広場・自転車練習ができる広場の増設	110	28	138
歩道・通学路の整備（道幅を広げる、カーブミラー、外灯、信号、横断歩道、防犯カメラ）	25	12	37
公園の改善（遊具の増設、衛生管理強化（犬のふん、タバコ、ゴミ、トイレを清潔に）、治安強化（不審者の対策）、駐車場の設置・拡大、子ども用トイレの設置）	29	5	34
子どもが安心して遊べる場所がほしい	13	12	25
天候（雨、暑い日、寒い日）に関係なく安心して遊べる施設がほしい	8	2	10
公共交通機関の充実（電車、バス）、料金の値下げ	2	4	6
公共施設、商業施設の改善（授乳場所、おむつ台、駐車場、ベビーカー利用者への配慮、子ども用トイレ、キッズスペース）	5	0	5
合計件数	192	63	255

9. 仕事との両立支援について

内容	就学前	小学生	合計
母親が育児しながら働きやすい環境にしてほしい	63	8	71
企業への子育て支援の啓発活動、企業による子育て世帯への取り組み充実	32	3	35
親が子どもと過ごせる時間が増えるようにしてほしい	17	5	22
育児休業制度の改善（利用しやすく、期間を長く、長期休暇後の復帰が不安）	16	1	17
短時間勤務制度の改善（利用しやすく、期間を長く）	16	1	17
母親の復職支援、就職支援の充実、ハローワークとの連携	17	0	17
その他	1	0	1
合計件数	162	18	180

10. その他

内容	就学前	小学生	合計
税金が高い、税金の使い方が適切でない・無駄が多い、社会保険料が高い、ボートに税金を使わないで	16	8	24
現状で満足している、充分である	24	3	27
職員の対応が悪い（傲慢、事務的、無気力な態度、不親切、たらいまわし、自分の担当課のサービスを理解していない）	18	2	20
民間企業で働く親の実情を理解してニーズにあった施策を実施してほしい	16	0	16
アンケートが分かりにくい、長い、中学生のアンケートはないのか、日本語が分からない人のことを考えていない、回答しても何も改善されるとは思わない	12	2	14
市民のマナー向上（運転マナー、夜間のバイクの騒音、モラルのない親がいる）	7	6	13
丸亀市では子育てしにくい、他の自治体より子育て支援が充実していない	10	2	12
アンケートが分かりにくい、長い、中学生のアンケートはないのか、日本語が分からない人のことを考えていない	7	1	8
子育ては祖父母の協力ありきという役所の考え方を改めてほしい	5	2	7
アンケートに回答しても何も改善されるとは思わない	5	1	6
公務員は民間企業に比べて子育て制度の利用が優遇されすぎている	4	0	4
市長は選挙公約（16歳未満の子どもの医療費無料化）を果たしていない	3	0	3
その他	9	1	10
合計件数	124	26	150

VI. 資料編（調査票）

